

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)

至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

## I 総括

大洋社は、創設者片山ハルエによる、母親の偉大さと海より深い寛容な子どもへの母の愛の必要性を説く『世界はひろし母の愛』の言葉を大切にしてきました。

片山ハルエの活動は1922(大正11)年に内職婦人同盟を設立したところから始まり、その後、財団法人日の丸厚生会として活躍し、1952(昭和27)年に社会福祉法人大洋社となりました。

現在は、大田区大森南 4-10-4 を本部とし、母子事業部と保育園事業部の2事業部、大田区と練馬区において、子ども家庭福祉領域の事業を行っております。

2023(令和5)年度は、

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、法人内の各事業所では行事等の開催方法を少しずつ従前の形に戻し、地域との交流も活発化しました。また、施設の中から外部へ出ていくことも多くなりました。

そのような中で、地域からは、生活困窮や育児不安などの相談が事業所に届き、改めて法人が担うべく児童福祉の方向性を認識し、今の事業の継続と地域支援への取り組みを強化した一年となりました。

ガバナンス強化とコンプライアンス遵守を念頭にした法人組織の見直しを図り、また、業務の改善や人事制度の見直しも図ってまいりましたが、これらについては今後も引き続き推進していきます。

2024(令和6)年3月31日

社会福祉法人 大洋社

理事長 片山 英樹

## II 社会福祉法人大洋社の理念

- (1) 社会福祉法人大洋社は「児童福祉法」及び「児童憲章」を理念として、「母と子の幸せを守る」事業を行います。
- (2) 「児童福祉の理念」(児童福祉法)  
第 1 条 全ての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。  
2 全ての児童は等しくその生活を保障され、愛護されなければならない。
- (3) 「児童憲章」  
児童は、人として尊ばれる。  
児童は、社会の一員として重んぜられる。  
児童は、よい環境のなかで育てられる。
- (4) 目的  
この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

## III 法人の概要

### (1) 法人の概要

法人名	社会福祉法人 大洋社
所在地	〒143-0013 東京都大田区大森南四丁目 10 番4号
認可年月日	昭和 17 年 11 月 9 日厚生省東<第 374 号
設立年月日	昭和 27 年 5 月 20 日厚生省東社第 356 号

### (2) 登記の状況

- ① 目的および業務  
ア 変更の有無 有り 令和5年3月、放課後児童健全育成事業の削除
- ② 名称  
ア 変更の有無 無し
- ③ 事務所  
ア 変更の有無 無し
- ④ 代表権を有する者の氏名、住所および資格(重任)  
ア 変更の有無 無し  
イ 内容 役員(理事長)に関する事項
- ⑤ 存立時期又は解散の事由を定めたときは、その時期および事由  
ア 変更の有無 無し
- ⑥ 代表権の範囲又は制限に関する定めがあるときは、その定め  
ア 変更の有無 無し
- ⑦ 資産の総額  
ア 変更の有無 有り  
イ 内容 資産の総額 493,701,132 円(令和 6 年 3 月 31 日現在)
- ⑧ その他  
ア 変更の有無 有り

(3) 法人の沿革

年	摘要
大正11年	内職婦人同盟各種相談事業開始
昭和11年	日の丸幼稚園開始
昭和17年11月9日	財団法人日の丸厚生会設立 理事長 片山ハルエ
昭和17年11月9日	財団法人日の丸厚生会母子寮開設
昭和25年5月20日	財団法人日の丸母子寮を社会福祉法人大洋社豊島寮に組織変更
昭和26年1月9日	生活保護法更生施設豊島寮認可を受ける
昭和27年1月1日	生活保護法更生施設大森更生寮開設
昭和27年3月27日	社会福祉法人設立登記 理事長 片山ハルエ
昭和27年5月20日	財団法人日の丸厚生会を社会福祉法人に組織改正し大洋社と改称
昭和29年12月2日	生活保護法による更生施設豊島寮を宿所提供施設に種類変更
昭和30年	大森支部に大洋診療所開設
昭和31年	アメリカ大使館婦人クラブの協力により大洋社子どもセンター開設
昭和34年6月	大洋社子どもセンターを大森保育園と改称し、児童福祉法保育所の認可を受ける(定員60名)
昭和35年1月1日	生活保護法更生施設を生活保護法宿所提供施設に種類変更 宿所提供施設大森寮となる
昭和38年3月31日	大洋社豊島寮を鉄筋コンクリート4階建に改築(定員20世帯)
昭和38年5月1日	生活保護法による宿所提供施設豊島寮を、児童福祉法による児童福祉施設母子寮に種類変更
昭和39年3月31日	大森寮を鉄筋コンクリート4階建に改築(定員20世帯)
昭和40年4月1日	生活保護法宿所提供施設大森寮を児童福祉法児童福祉施設母子寮大洋社大森寮として認可を受ける
昭和43年4月	大森保育園を重量鉄骨2階建に改築(定員95名)
昭和52年	大洋診療所閉鎖
昭和53年4月	飛行機騒音公害防止条例により園舎一部を取り壊す
昭和54年10月	小規模保育所、定員30名に内容変更
昭和57年3月20日	昭和57年3月20日創設者片山ハルエの死亡
平成5年4月1日	大田区立母子寮仲池上寮を運営受託する
平成6年1月15日	大田区立母子寮仲池上寮を移転改築して、大田区立母子寮久が原と名称変更し、引き続き運営受託する
平成8年11月20日	役員等改選により飯島益美に変更
平成10年1月31日	大洋社大森寮を廃止
平成10年2月1日	母子寮大田区立ひまわり苑を運営受託
平成10年4月1日	練馬区立母子生活支援施設( )を運営受託 大田区立母子寮久が原を大田区立コスモス苑に改称
平成11年4月1日	児童福祉法による大森保育園を改築(定員59名)
平成12年4月1日	大森保育園の定員を60名に変更

平成15年11月14日	社会福祉法人大洋社 法人分割により秋津町より大田区大森南へ主たる事務所の登記
平成16年 3月19日	第二種社会福祉事業大田区立ひまわり苑子育て短期支援事業追加申請
平成16年 4月 1日	第二種社会福祉事業練馬区立母子生活支援施設「 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 」子育て短期支援事業申請
平成17年 8月 1日	子育て短期支援事業(夜間養護等事業 練馬区立練馬子ども家庭支援センター)の受託開設
平成18年 1月 5日	第二種子育て短期事業(夜間養護等事業 練馬区立練馬子ども家庭支援センター)の定款変更を申請し、18年1月5日受理される
平成18年 1月27日	事業追加の登記
平成18年 9月1日	洗足池保育園を民立民営として開設
平成18年11月20日	役員等改選により理事長 飯島益美より片山英樹に変更
平成19年 4月 1日	大田区立ひまわり苑子育て支援分室をコスモス苑に設置
平成21年 6月 1日	大田区立コスモス苑子育て短期支援事業開設
平成24年 6月 1日	保育室サン御園を民立民営として開設 一時預かり事業・定期利用保育事業
平成25年 4月 1日	大田区子ども家庭支援センター一時保育室を委託事業として開設 一時預かり事業・定期利用保育事業
平成25年 4月 1日	ファミリー・サポート・センター事業を委託事業として開始
平成25年 4月 1日	「 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 」の子育て短期支援事業のトワイライト事業のみ、練馬区全体の事業統合にて廃止
平成28年 4月 1日	大田区立ひまわり苑および大田区立コスモス苑を指定管理制度にて再受託運営(5年間)
平成28年 4月 1日	大田区子ども家庭支援センター一時保育室の一時預かり事業の定員増(10名→12名)
平成28年 4月 1日	ファミリー・サポート・センター事業を法改正にて公益事業より第二種社会福祉事業へ変更(子育て援助活動支援事業)
令和 3年 3月31日	練馬区豊玉小ねりっこクラブ、練馬区立豊玉学童クラブの事業終了
令和 5年 4月 1日	大森保育園定員減(60名→56名)
令和 5年 4月 1日	大田区立コスモス苑と大田区立ひまわり苑で母子一体型ショートケア事業開始

## (4) 事業所の状況

施設名 法的根拠	所在地	種別	事業開始 年月日	定員	建物
大森保育園 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第39条	東京都大田区 大森南 4-10-4	保育所	S34.6.1	56名	敷地面積:467.72㎡ 建築面積:280.93㎡ 延床面積:707.39㎡ 構造:鉄筋コンクリート造3階建
洗足池保育園 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第39条	東京都大田区 南千束 3-24-15	保育所	H18.9.1	45名	敷地面積:453.06㎡ 建築面積:218.93㎡ 延床面積:388.20㎡
大田区立ひまわり苑 社会福祉法第2条第2項第2号 児童福祉法第38条  子育て短期支援事業 (ひまわり苑) 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第34条の九	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■	母子生活 支援施設	H10.2.1	20 世帯	敷地面積:1,914.40㎡ 建築面積:1,588.57㎡ 延床面積:1,552.77㎡ 構造:鉄筋コンクリート造3階建  緊急一時保護:1室
		短期入所 生活援助 事業	H15.4.1	4名	ひまわり苑内 ※注1:ショートステイ定員の 範囲内
		夜間養護 等事業	//	6名	※注2:母子生活支援施設の 空室利用 1世帯
		(休日デイ)	H24.12.5	4名	
		(要支援)	H30.4.1	※注1	
(母子ショー トケア)	R5.4.1	※注2			
大田区立コスモス苑 社会福祉法第2条第2項第2号 児童福祉法第38条  子育て短期支援事業コスモス苑 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第34条の九	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■	母子生活 支援施設	H5.4.1	20 世帯	敷地面積:1,678.90㎡ 建築面積:1,401.75㎡ 延床面積:1,309.62㎡ 構造:鉄筋コンクリート造4階建  緊急一時保護:1室
		短期入所 生活援助 事業	H19.4.1	3名	コスモス苑内 ※注1:母子生活支援施設の 空室利用 1世帯
		夜間養護 等事業		3名	
		(休日デ イ)	H24.12.5	3名	
(母子ショー トケア)	R5.4.1	※注1			

練馬区立母子生活支援施設 社会福祉法第2条第2項第2号 (児童福祉法第38条)	[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]	母子生活 支援施設	H10.4.1	20 世帯	敷地面積:1,332.72 m <sup>2</sup> 延床面積:1,594.49 m <sup>2</sup> 構造:鉄筋コンクリート造3階建 (一部鉄骨造)
					緊急一時保護:1室
子育て短期支援事業 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第34条の九	[REDACTED]	短期入所 生活援助 事業	H16.4.1	5名	[REDACTED]内
		(要支援)	H29.12.1		
保育室サン御園 社会福祉法第2条第3項第2号	東京都大田区 西蒲田7丁目 49番2号 大 田区社会福祉 センター1階	一時預か り事業	H24.6.1	10名	保育室・乳幼児室・事務室 117.74 m <sup>2</sup>
		定期利用 保育事業		6名	定期利用保育事業は一時預 かり事業に含んで事務対応
大田区子ども家庭支援センター 大森一時保育室 社会福祉法第2条第3項第2号	東京都大田区 大森北4丁目 16番5号 大田区子ども 家庭支援セン ター1階	一時預か り事業	H25.4.1	12名	保育室・乳幼児室・事務室 95.14 m <sup>2</sup>
		定期利用 保育事業		6名	定期利用保育事業は一時預 かり事業に含んで事務対応
ファミリー・サポート・センター事業 社会福祉法第2条第3項第2号 児童福祉法第6条の3第14項	東京都大田区 大森北4丁目 16番5号 大田区子ども 家庭支援セン ター1階	子育て援 助活動支 援事業	H25.4.1		事務室 延床面積 21.6 m <sup>2</sup>

## IV 組織運営

### 1. 定款(別添)

### 2. 理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員会、会長、顧問

#### (1) 定員および現況 令和6年3月31日現在

区分	定数	現員	欠員	摘要
理事	6名	6名	0名	
監事	2名	2名	0名	
評議員	7名	7名	0名	

評議員選任・解任委員	4名	4名	0名	外部2名、監事1名、事務局員1名
会長	1名	1名	0名	理事職
顧問	—	—	—	

(2) 理事および監事

役職名	氏名	当初就任年月日	役員就任区分	附記
理事	松寿 庶	平成4年11月20日	地域福祉関係者	会長
理事	片山 英樹	平成16年3月27日	学識経験者	理事長
理事	齋藤 弘美	平成20年11月20日	地域福祉関係者	常務理事
理事	穴倉 正光	平成20年11月20日	学識経験者	
理事	近藤 真弓	令和3年6月17日	施設経験者	
理事	阿部 雅子	令和5年6月20日	施設経験者	
監事	根本 道夫	平成28年4月1日	財務諸表読解者	
監事	宮沢 成美	平成28年11月20日	学識経験者	

(3) 評議員

役職名	氏名	当初就任年月日	役員就任区分
評議員	関谷 巖	平成16年3月27日	学識経験者
評議員	川端 法子	平成16年3月27日	地域福祉関係者
評議員	守安 富美子	平成20年11月20日	地域代表者
評議員	平林 茂	平成22年11月20日	地域代表者
評議員	平石 昭夫	平成22年11月20日	地域福祉関係者
評議員	川崎 清	令和3年6月17日	地域代表者
評議員	林 吉紀	令和3年6月17日	地域代表者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

役職名	氏名	当初就任年月日	役員就任区分
委員	宮沢 成美	平成29年2月15日	監事
委員	小林 セツ子	平成29年2月15日	地域
委員	板橋 晴美	令和3年1月6日	地域
委員	内藤 季代	令和5年6月5日	事務局員 委員長

(5) 会長

役職名	氏名	当初就任年月日	役員就任区分
会長	松寿 庶	平成29年1月12日	(福)大洋社理事

(6)顧問

役職名	氏名	当初就任年月日	役員就任区分
顧問	—	—	—

## V 理事会、評議員会、評議員選任解任委員会、監事監査会、およびその他の会の状況

(1) 理事会の開催状況

① 2023(令和5)年6月5日(月)

(1)趣旨(議題) 各種議案に関する審議・決議を行う。

(2)招集日 令和5年5月24日(水)

(3)開催日 令和5年6月5日(月) 14時00分~15時20分

(4)場所 ・法人本部および大田区立ひまわり苑、および各役員事務所。  
・オンライン会議システム(Zoom)を利用

(5)議案 第1号議案:2022(令和4)年度事業報告の件  
第2号議案:2022(令和4)年度決算(計算書類等および財産目録)の件  
監事監査結果報告を含む  
第3号議案:定款12条に基づく定時評議員会の招集等の件  
第4号議案:評議員会への理事選任候補の提出の件  
第5号議案:評議員会への監事選任候補の提出の件  
第6号議案:評議員選任・解任委員の選任の件  
第7号議案:役員賠償責任保険の件

(6)報告事項 ①経過報告  
②評議員選任・解任委員の辞任  
③理事長及び常務理事の職務執行状況  
④施設状況報告

(7)記事 すべての議題が決議される。

② 2023(令和5)年6月20日(火)

(1)趣旨(議題) 令和5年6月20日付社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人および一般財団法人に関する法律第96条の規定に基づき、理事会の決議の省略で審議を行うことを提案し、同年6月20日監事全員の異議がなかったことおよび理事全員の同意が得られた。

(2)提案日(送付日) 令和5年6月20日(火)

(3)理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容  
第1号議案 理事長1名選定の件  
理事長に片山 英樹 氏を再任すること。  
第2号議案 業務執行理事1名選定の件  
業務執行理事に齋藤 弘美 氏を再任すること。  
第3号議案 会長1名選定の件  
会長に松寿 庶 氏を再任すること。

(4)方法 配布した資料をもとに関係職員が説明し、書類の記名および捺印

(5)記事 同意(承認)日:2023(令和5)年6月20日

③ 2023(令和5)年11月14日(月)

(1)趣旨(議題) 各種議案に関する審議・決議を行う。

(2)招集日 令和5年10月18日(水)

(3)開催日 令和5年11月13日(月) 14時00分~15時04分

(4)場 所 ・法人本部および大田区立ひまわり苑、および各役員事務所。  
・オンライン会議システム(Zoom)を利用

(5)議案 第1号議案 令和5年度資金収支補正予算案(第1次)の件  
第2号議案 事業の廃止および定款の変更の件  
第3号議案 評議員会の招集等について  
第4号議案 規程の改正について

(6)報告事項 ①経過報告  
②理事長及び常務理事の職務執行状況  
③施設状況報告

(7)記事 すべての議題が決議される。

④ 2024(令和6)年3月25日(水)

(1)招集日 令和6年3月3日 金曜日

(2)開催日時 令和4年3月22日 水曜日 14時00分~15時40分

(3)開催場所 法人本部 および WEB 会議(Zoom による)

(4)議案 第1号議案 令和4年度 資金収支補正予算案の件  
第2号議案 大森保育園 設置認可変更について  
第3号議案 令和5年度 事業計画案の件  
第4号議案 規程の改正の件  
第5号議案 令和5年度 資金収支予算案の件  
第6号議案 管理職の人事の件

(5)報告事項 ①経過報告  
②理事長及び常務理事の職務執行状況  
③施設状況報告等

(6)記事 すべての議題が決議される。

(2) 評議員会の開催状況

① 2023(令和5)年6月20日(月)

(1)招集日 令和5年6月7日 水曜日

(2)開催日時 令和5年6月20日 月曜日 14時00分~15時30分

(3)開催場所 法人本部 および WEB 会議(Zoom による)

(4)報告事項 ①経過報告  
②2022(令和4)年度、事業報告  
③2023(令和5)年度、事業計画  
④2023(令和5)年度、資金収支予算書(当初)

(5)決議事項 第1号議案 2022(令和4)年度 決算(計算書類および財産目録)の件  
監事監査結果報告含む  
第2号議案 理事6名の選任について  
第3号議案 監事2名の選任について

(6)記事 すべての議題が決議される。

② 2023(令和5)年11月24日(金)

(1)趣旨(議題) 社会福祉法第45条の9第10項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び定款第13条の4の規定に基づき、評議員会の決議の省略を行いたく、評議員会の目的である事項について、理事長が提案し、全評議員の同意が得られた。

(2)提案日(送付日) 令和5年11月14日(火)

(3)理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容

第1号議案 定款の変更 定款第1章 総則(目的)

第1条 (2)第二種社会福祉事業のうち

ハ 放課後児童健全育成事業を削除すること。

(4)方法 配布した資料をもとに関係職員が説明し、書類の記名および捺印

(5)記事 同意(承認)日:令和5年11月24日(金)

(3) 評議員選任・解任委員会

開催なし

(4) 監事監査会

① 令和4年5月19日 木曜日

ア 会場 法人本部

イ 監事出席者 根本 道夫、宮沢 成実

ウ 理事出席者 齋藤 弘美

エ 内容 2021(令和3)年度分

② 令和5年5月23日 火曜日

ア 会場 法人本部

イ 監事出席者 根本 道夫、宮沢 成実

ウ 理事出席者 齋藤 弘美、近藤真弓

エ 内容 2022(令和4)年度分

(5) 法人連絡会

法人連絡会は理事会や評議員会での決議を受けて、法人運営や事業展開の報告を確認および検討することを目的として会を開催する。

① 令和5年4月

(1)開催日 令和5年4月14日(金)12時~13時

(2)会場 オンラインによる開催

(3)内容(主)、方向性、および結果

① 基本の条件は特になし

② 新型コロナウイルス感染症について

③ 施設状況報告

④ 今後の監事監査会、理事会、定時評議員会について

⑤ 理事長及び常務理事の職務執行状況

⑥ 理事候補者について

⑦ 評議員選任・解任委員の辞任と選任について

② 令和5年5月

(1)開催日 令和5年5月15日(月)12時15分~13時

(2)会場 オンラインによる開催

(3)内容(主)、方向性、および結果

- ① 決算状況と監事監査会について
- ② 法人の登記について
- ③ 理事会、評議員選任・解任委員会、定時評議員会について
- ④ 法人・各施設(事業所)の状況
- ⑤ 理事長及び常務理事の職務執行状況

③ 令和5年6月

(1)開催日 令和5年6月20日(火)15時45分~16時30分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 定時評議員会を終了して
- ② 議事録と登記について
- ③ 次回理事会開催について

④ 令和5年7月

(1)開催日 令和5年7月28日(金)12時00分~13時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の専決業務(職務)執行状況
- ② 感染症等についての状況施設状況
- ③ 11月理事会について
- ④ 理事長または常務理事の職務執行状況

⑤ 令和5年9月

(1)開催日 令和5年9月11日(月)12時00分~12時40分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の専決業務(職務)執行状況
- ② 東京都の指導検査の結果について
- ③ 施設状況
- ④ 11月の理事会について
- ⑤ 理事長 または常務理事の職務執行状況

⑥ 令和5年10月

(1)開催日 令和5年10月10日(火)12時30分~13時20分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の職務執行状況
- ② 施設状況報告
- ③ 11月理事会の議案について
- ④ 100周年の記念行事について

⑦ 令和5年11月

(1)開催日 令和5年11月13日(月)15時30分~16時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 次回理事会を含む今後の予定について

⑧ 令和5年12月

(1)開催日 令和5年12月18日(月)12時30分~13時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の職務執行状況
- ② 施設状況報告
- ③ 令和6年に向けて
- ④ 3月理事会について

⑨ 令和6年1月

(1)開催日 令和6年1月23日(火)12時30分~13時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の職務執行状況
- ② 施設状況報告
- ③ 3月の理事会について
- ④ 100周年記念誌について

⑩ 令和6年2月

(1)開催日 令和6年2月26日(月)12時30分~13時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 理事長及び常務理事の職務執行状況
- ② 施設状況報告
- ③ 3月の理事会最終確認
- ④ 100周年記念誌について

⑩ 令和6年3月

(1)開催日 令和6年3月25日(月)15時30分~16時00分

(2)会場 オンライン会議

(3)内容(主)、方向性および結果

- ① 4月以降の予定について
- ② 監事監査会・理事会・評議員会について
- ③ 100周年を祝う会について

## VI その他

(1) 理事長及び常務理事等の職務執行状況

- ① 理事会にて報告および承認(了承)
- ② 法人連絡会にて報告

(2) 情報開示

① ホームページ

ア アドレス <http://www.taiyosha.or.jp/>

イ メールアドレス Mail:taiosha@gamma.ocn.ne.jp

ウ 開示内容

- ・ 定款
- ・ 役員名簿
- ・ 役員報酬規程
- ・ 事業報告および計算書類・財産目録
- ・ 含む 公益的取組内容

- ・ 監事監査報告書
- ・ その他 行政や業界団体から指示・要望があった内容

② 業界

ア 社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会福祉法人経営者協議会

イ 開示内容

- ・ 法人概要
- ・ 事業報告および計算書類・財産目録
- ・ 公益的取組内容

③ 法人内事業所

ア 開示

イ 開示内容

- ・ 法人の基本的な内容の規定
- ・ 事業報告および計算書類・財産目録
- ・ 公益的取組内容
- ・ 実施している施設の第三者評価報告書

(3) 保険

- ① 法人において、役員等に関する役員賠償責任保険に加入
- ② 施設において、施設賠償責任保険に加入
- ③ 施設において、行事等の賠償責任保険に加入

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)

至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

母子事業部

# I 母子事業部 共通

## i 総括

令和5年度も引き続き、経営の健全性を確保するため、総務部・人材育成部・業務管理部の各委員会活動を実施し、適切な人事管理、的確な財務管理、適正な情報管理を確立することができました。その中で見えてきた課題については、次年度に向けての計画の中に取り込みました。

母子生活支援施設においては、退所後を見据えた自立支援提供のありかたを確立するとともに、地域の社会的養護の中核施設としての役割を果たすための公益的な取り組みにも注力してきました。さらに、地域行政の長期基本計画を積極的に取り入れ、地域の「福祉ニーズ」の総合的な把握に努め、ニーズに応じた事業として、大田区の2つの母子生活支援施設にて「母子一体型ショートケア」の事業を開始しました。

在宅サービスにおいては、虐待予防や育児不安などに寄り添うための職員の専門性を育成に重点を置き、利用要件の弾力化を図るなどのサービスを積極的に提供しました。

### (重点事項実施状況)

#### ① ガバナンス体制の強化

組織強化については、連絡調整会議および職員会議等を通じて、法人理念の浸透および法令順守の徹底を図りました。

・連絡調整会議や委員会活動は、ii、iiiにて報告。

#### ② 人材育成体制の強化

職員育成のための取組として、キャリア段位の活用や専門性向上のための事例検討などを活用したOJTを実施しました。また、外部の学会等へ以下の通り、参加して発表を行いました。

・法人研修実施。

・「日本子ども虐待防止学会」の滋賀大会参加。：主査が他法人と共同で「母子生活支援施設を活用した親子関係再構築支援について～大洋社における取組～」発表。

・FLEC(すべての子どもたちに家庭での生活を：FamilyLifeForEveryChild)フォーラム第3分科会「子ども支援、親支援、親子関係支援を包括する親子包括支援に向けて」にて、「大洋社のこれまでの実践と、全国母子生活支援施設協議会のこれから」を発表。

#### ③ 業務効率化とSDGsの推進

人材育成プロジェクトの取組を、委員会活動や職員会議などを通して、取組みました。

・各委員会において、業務効率化を検討。

・人材育成プロジェクトにおいて、企画・提案を策定。2月に各事業所の取組発表を参集型で実施。

## ii 連絡調整会議

### (1) 会議目的と実施状況

母子事業部で実施している連絡調整会議は理事会や評議員会等、また法人連絡会での決議や検討内容を受け、母子事業部における運営や施設運営の展開状況の報告、確認および検討することを目的として会を開催しています。

### (2) 会議の開催状況

#### ① 4月開催

ア 開催日時 令和5年4月11日 火曜日 10時00分～

会場 オンライン会議

#### イ 内容

##### ・伝達事項

感染症等について

本年度事業開始について

本部及び母子事業部より

理事会、監事監査、定時評議員会について

総務日程について

4,5月の給与、副業について

母子事業部内総務、人材育成PJ、内部監査、法人内研修について

##### ・施設(事業所)報告事項

各施設(事業所)報告

利用者状況、プログラム等状況

危機管理事項

危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理

新型コロナウイルス

総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況

施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容

支援 業務管理部

その他

##### ・委員会

総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会

危機管理委員会(危機管理、要望等解決、情報管理)

業務向上委員会

(家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

#### ウ 今後の予定

#### ② 5月開催

ア 開催日時 令和5年5月16日 火曜日 10時30分～

会場 オンライン会議

#### イ 内容

##### ・伝達事項

感染症等について

本部及び母子事業部より

理事会、監事監査、定時評議員会について  
労務関係について  
母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修、内部監査について  
小さな貝の家委員会について

- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
    - 新型コロナウイルス 5 類移行
  - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
  - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他

ウ 今後の予定

### ③ 6 月開催

ア 開催日時 令和 5 年 6 月 7 日 火曜日 10 時 30 分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より
  - 理事会、定時評議員会について
  - 賞与支給について
  - 母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修について
  - 人事考課について
  - 小さな貝の家委員会について
- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
    - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
    - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他

ウ 今後の予定

### ④ 7 月開催

ア 開催日時 令和 5 年 7 月 12 日 火曜日 10 時 30 分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より
  - 理事会・評議員会について

母子事業部内総務、人材育成 PJ 進捗状況報告、法人内研修について  
3施設合同林間保育について

- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
  - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
  - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
- 支援 業務管理部
- その他
- ・委員会
  - 総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会
  - 危機管理委員会 (危機管理、要望等解決、情報管理)
  - 業務向上委員会
  - (家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

## ⑤ 8月開催

ア 開催日時 令和5年8月8日 火曜日 10時30分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より
  - 理事会・評議員会について
  - 社会保険関係条件の変更について
  - 母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修について
  - マスク使用について
- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
  - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
  - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
- 支援 業務管理部
- その他

ウ 今後の予定

## ⑥ 9月開催

ア 開催日時 令和4年9月12日 火曜日 10時30分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より

理事会・評議員会について  
母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修、  
後期内部監査について

- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
  - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
  - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他
- ・委員会
  - 総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会
  - 危機管理委員会 (危機管理、要望等解決、情報管理)
  - 業務向上委員会  
(家族、乳幼児、母児童、母子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

## ⑦ 10月開催

ア 開催日時 令和5年10月10日 火曜日 15時00分～  
会場 ノール大森

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より
  - 理事会・評議員会について
  - 母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修
  - 後期内部監査について
- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
  - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
  - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他

ウ 今後の予定

## ⑧ 11月開催

ア 開催日時 令和5年11月9日 火曜日 10時30分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より

理事会・評議員会について  
賞与支給について  
母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修  
管理職面接について  
年末年始について

- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
    - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
    - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他
- ・委員会
  - 総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会
  - 危機管理委員会 (危機管理、要望等解決、情報管理)
  - 業務向上委員会
  - (家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

#### ⑨ 12月開催

ア 開催日時 令和5年12月12日 火曜日 10時30分～

会場 オンライン会議

イ 内容

- ・伝達事項
  - 感染症等について
  - 本部及び母子事業部より
  - 理事会・評議員会について
  - 定款変更について
  - 母子事業部内総務、人材育成 PJ 発表会について、法人内研修について
  - 後期内部監査結果報告について
  - 人事考課ファイル提出について
- ・施設(事業所)報告事項
  - 各施設(事業所)報告
  - 利用者状況、プログラム等状況
  - 危機管理事項
    - 危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理
    - 総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況
    - 施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容
  - 支援 業務管理部
  - その他

ウ 今後の予定

#### ⑩ 1月開催

ア 開催日時 令和6年1月16日 火曜日 10時30分～

会場 オンライン会議

イ 内容

・伝達事項

感染症等について

本部及び母子事業部より

理事会・評議員会について

母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修について

・施設(事業所)報告事項

各施設(事業所)報告

利用者状況、プログラム等状況

危機管理事項

危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理

総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況

施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容

支援 業務管理部

その他

・委員会

総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会

危機管理委員会 (危機管理、要望等解決、情報管理)

業務向上委員会

(家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

① 2月開催

ア 開催日時 令和6年2月13日 火曜日 10時30分～

会場 オンライン会議

イ 内容

・伝達事項

感染症等について

本部及び母子事業部より

理事会、評議員会について

事業計画・事業報告について

母子事業部内総務、人材育成 PJ、法人内研修について

・施設(事業所)報告事項

各施設(事業所)報告

利用者状況、プログラム等状況

危機管理事項

危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理

総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況

施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容

支援 業務管理部

その他

・委員会

総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会

危機管理委員会 (危機管理、要望等解決、情報管理)

業務向上委員会

(家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

⑫ 3月開催

ア 開催日時 令和6年3月12日 火曜日 10時30分～  
会場 オンライン会議

イ 内容

・伝達事項

感染症等について

本部及び母子事業部より

理事会・評議員会について

母子事業部内総務、人材育成PJ、法人内研修について

新年度に向けた準備について

・施設(事業所)報告事項

各施設(事業所)報告

利用者状況、プログラム等状況

危機管理事項

危機管理(事故・インシデント・アクシデント)、要望・苦情等、情報管理

総務的運営(労務・関係・庶務・行政関係)状況

施設(事業所)の特筆すべき事項、日程およびその内容

支援 業務管理部

その他

・委員会

総務委員会、制度企画委員会、人材育成委員会、地域福祉委員会

危機管理委員会(危機管理、要望等解決、情報管理)

業務向上委員会

(家族、乳幼児、児童、子育て、一時預かり、QOL、公益)

ウ 今後の予定

### iii 委員会活動

#### (1) 委員会の目的と実施状況

母子事業部の委員会は、課題別の検討委員会に各施設の職員がそれぞれ所属し、実施事業の基本課題に対して、人材育成も兼ねながら広い視野の取り組みを行っています。取り組み方法としては、施設で事前検討された内容を委員会で検討・審議し、母子事業部による決定事項は速やかに施設へフィードバックして職員全体に周知し、基本情報の効率的な伝達を図ります。

2023(令和 5)年度は、オンラインを活用し予定した内容の遂行に努めました。人材育成発表会はコロナ禍前の開催方法に戻し、ひまわり苑に発表者・職員が集まり、お互いの親交を深めながら、他事業所の取組を学ぶことができました。

#### (2) 委員会の内容

部	委員会	内容	開催
本部機能	総務委員会	①経営・運営企画 ・経営方針立案および事業デザインを行い、事業計画の策定や事業計画、諸規定の検討。 ・理事会・評議員会、法人連絡会、運営会議、連絡調整会議準備。 ・ガバナンス(会計・労務・庶務等) ・広報誌・ホームページ ・採用 ・事業計画 ・事業報告 ・会議等実施	原則 週1回  年35回
	制度企画委員会	第三者評価・指定管理等審査	適宜
	人材育成部	人材育成委員会 ・人材育成プロジェクトとして、各事業所にて業務改善提案と、SDGsに関する取り組みを行った。 ・人材育成プロジェクト発表会を参集型で実施 ・研修については、法人内研修に力を入れ、階級別、担当別、心理専門研修等を実施。	各月1回  2月に実施
	地域福祉委員会	ゆうわ会・家庭福祉研究会等 青少年応援事業	適宜
支援	業務管理部 危機管理委員会 危機管理	・危機管理マニュアルの理解の学習を行った。BCP、BCM、BCMS についての一般的な学習と、法人で作成している BCP の内容について学習を行い、理解を深耕。 ・虐待が生じるリスク要因について学習し、事例検討を通じて理解を深め、虐待の発生予防の対応について学び。 ・アクシデント、インシデントに加え、事業所で生じたヒヤリハットと再発防止対策について検討。 ・施設に求められている安全計画について、学習を行い、安全計画に関するファイルの取りまとめ。 ・大災害発生時の利用者の安全管理について具体的な学習を検討。	年5回 各事業所は毎月
	支業	危機管理委員会	・要望等解決制度に関する理解を深めた上で、利用者からの要

援	務 管 理 部	要望等解決	望・苦情の対応や、意見の汲み取り方について学習。 ・子どもの権利の重要性と、子どもからの要望等の汲取り方学習。 ・各事業所の傾向を分析し、それらを基に事例検討・ロールプレイ。	各事業所 は毎月
		危機管理委員会 情報管理	・利用開始時の個人情報の取り扱いについての同意事項を周知。 ・個人情報保護法改正について整理・学習。 ・人権尊重・情報開示を意識した文章表現を学習。 ・情報管理に関する規定、個人情報保護マニュアルの理解と浸透のための学習。	
		業務向上委員会 家族	・親子関係再構築支援の理解を深め、支援の質の向上。 ・改訂したアセスメントシートの周知・活用方法の統一を行い、資料を活用してアセスメント力向上のための学習。 ・母子生活支援施設の社会的養護施設としての位置づけや期待される役割について学習。	
		業務向上委員会 乳幼児	・教材や事例検討集を用いてアセスメント力、支援・対応スキルの専門性の向上。 ・産前産後支援マニュアルや事例を用いて、周産期支援・ケア方法の学習と実践を行った。 ・保育日誌の適切な記録方法について学習。	
		業務向上委員会 児童	・母子への支援の連動性が高まるように自立支援計画票作成の実践的学習。 ・アセスメントシート作成に向けた検討を行った。・虐待防止マニュアルを活用した虐待防止と虐待発見時の対応の学習。	
		業務向上委員会 子育て	・教材や事例検討集を用いて、アセスメント力・支援力・対応スキルの学習を行う専門性の向上。 ・要支援児童のマニュアルを理解し、要支援児童・被虐待児童の支援方法についての理解 ・教材を活用し、発達障害（神経発達症）の種類や各障害の特性の学習を行い、支援方法についての理解深耕。 ・子どもの安全確保に関して、計画の策定方法や取組方法学習。	
		業務向上委員会 一時預かり	・こどもの障がい特性に合わせた関わり方の学習、理解を深めた。 ・成長発達に合わせた環境構成について学習し、保育室の環境構成へ反映。 ・保護者対応の方法についての学習。	
		QOL	・すこやかだより年 4 回の発行 ・感染症マニュアルの見直しを行い、追記事項の確認と訂正。 ・職員のストレスに繋がる原因の学習とメンタル、免疫力が向上する方法についての学習。 ・規則正しい食生活とメンタルケアの学習・冬の感染症予防学習。	
		公益	・各公益的取り組みの現在のプログラムについて学習を行い、目的に合わせた新規プログラムの検討。 ・特に相談が多い子育てに関する相談先の学習や、相談を受ける際の注意点についての学習。 ・マニュアルなどを通して公益的取り組みの目的を振り返り、実施の意義についての再確認。	

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)  
至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

ひまわり苑

## Ⅱ 事業別サービス実施報告

### i 母子生活支援施設 (第1種社会福祉事業)

大田区立ひまわり苑

#### 【事業概要】

施設名	大田区立 ひまわり苑	
事業開始	平成10年2月1日	
事業内容	18歳未満の子どもを養育している母子家庭、または何らかの事情で離婚の届出ができないなど、母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。 緊急一時保護事業(1世帯)、子育て支援事業を付帯事業で行っています。	
世帯数	20世帯	
入退所	入所世帯	4世帯
	退所世帯	5世帯
	平均世帯構成	2.3人
	母親平均年齢	33.4歳
	平均在籍年数	29か月
建物状況	構造	鉄筋コンクリート 地上3階建, 588.57㎡
	内訳	母子室20室 緊急一時室1室 ショート・トワイライト室 事務室・医務室・相談室・静養室・宿直室・警備員室・ 保育室兼多目的室・ 学習室・ オープンスペース・ 談話コーナー・屋上

## 1 総括

母子生活支援施設ひまわり苑は、発達障害や被虐待児、親子再統合支援が必要な世帯や、メンタルケアが必要な母親、外国籍世帯と様々な課題を抱えた世帯が入所しています。その為、母親・子ども・心理の担当者が連携し、世帯の状況や課題に応じて、利用者・児が自身の課題に向き合えるよう、スモールステップを意識した支援を行いました。母子関係調整を行うケースも多く、母子それぞれにアプローチし関係構築を図り、それぞれの課題解決支援を行い、母親の負担軽減や虐待防止に努めました。

危機管理体制の強化では、防災訓練をより実践に近い形で実施し、また不審者対応訓練や応急救護など実践的な取り組みも行い、職員の危機管理意識の向上を図りました。

### （重点事項実施状況）

各職員がアセスメント力、支援の専門性の向上を目指し、事例検討やロールプレイ、心理士によるコンサルテーションによって利用者理解を深め、日々の支援に落とし込み利用者支援を行いました。

親子支援では、被虐待児や障害児、母子関係に課題を持つ世帯が多く入所していたため、子育ての悩みや育児疲れの相談に対し、虐待予防やメンタルの安定の目的で世帯の状況に合わせた支援を心理士と連携して行いました。チーム力や専門性の向上を目的として、家族支援担当職員と子ども支援担当職員それぞれでチームコンサルテーションを行いました。アフターケアを含む地域支援として、地域公益活動では、「コロナウイルスが5類移行は、以前のような取り組みに変更し、参加者が多くの体験ができるようにプログラムを実施しました。「子ども虹の架け橋プロジェクト」も継続しており、食材配布を通して子育てや生活に関する相談先として機能しました。

## 2 良質なサービスの提供

### （1）利用者状況

ひまわり苑の利用者状況として、被虐待児や障がいの疑いがあるなど、子の精神的なケアが必要とされる世帯からは、子どもの成長を促す声掛けや関わり方についての相談が多くあり、子育ての知識の助言、マザリング、母子関係調整、見守りを中心とする対応を行いました。必要に応じて、居室介入、補助保育を行いながら、母親の負担軽減や虐待防止に努めました。また、心理相談を行い、子育ての相談や育児に対する不安の軽減、助言を実施しました。また、心理士と連携し心理相談や生活場面面接等心理支援を行いました。各世帯の状況に応じて考え、利用者が自身の課題に向き合えるよう、スモールステップを意識した支援を行いました。退所に向けては、アフターケア計画を作成し、計画に沿って支援が行えるように体制を整えました。必要に応じて、関係機関とはアフターケアの方向性や役割分担を決め支援を行い、退所者が安心して地域で生活できるよう努めました。

## (2) 自立支援への取り組み

### ① 母親支援

日々の関わりの中から、利用者自身の気持ちを汲み取ることが出来るように丁寧に話を伺い、寄り添い、利用者自身が選択・決断出来るように支援しました。また、関係機関と、日々の利用者の状況や支援の方向性を情報共有し、役割分担をしながら支援を行いました。職員間でもこまめに利用者に関する情報を共有し、迅速かつ専門性の高い対応が出来るように支援計画を組み立て、実践しました。

#### (子育て支援)

今年度は、子どもの成長を促す声掛けや関わり方についての相談が多くあり、子育ての知識の助言、マザリング、母子関係調整、見守りを中心とする対応を行いました。必要に応じて、居室介入、補助保育を行いながら、母親の負担軽減や虐待防止に努めました。また、心理相談を行い、子育ての相談や育児に対する不安の軽減、助言を実施しました。

#### (親子支援)

母親の不安や虐待防止に努めるべく、母子関係調整を中心に支援を実施し、子への個別支援の中で、関係を構築しながら気持ちを引き出すことができるような関わりを行いました。また、病院等の専門機関に繋ぐための支援や、死別を経験した母子に対するグリーフケアの支援を行いました。

#### (生活支援)

生活支援は、日常生活の中での悩み、相談や体調不良、通院、経済、人間関係のトラブル、関係機関との調整等多岐に渡っています。経済面では、金銭面で支援が必要な世帯も多く、経済的自立を目指した家計簿管理を行いました。健康面で、定期的な受診や急な体調不良時には、医療機関の情報提供や通院同行を行いました。また、子の成長発達に伴う住環境の整備や安全性についての助言を行い、居室の整備を行いました。

#### (その他の支援・夫関係等)

外国籍世帯の入所が多くあり、書類の記入介助や通院同行を行いました。また、面談では通訳士を交え、細かなニュアンスが伝わるように意識しながら行いました。離婚の手続きを進めている世帯については、利用者の意向の聞き取りを丁寧に行い、利用者が自己決定出来るように支援を行いました。

#### (就労支援)

自立の基盤となる就労が出来るように支援を実施しました。継続して就労が行えるよう、就労状況の確認や、必要に応じて補助保育や病後見保育の提案を行いました。就労に関する悩みや

相談を受けた際には、お話を伺い、必要に応じて関係調整についての助言を行いました。またママれいんぼう（体験型就労支援）では、長期的な就労の安定を目指し、資格取得やスキルアップの為の学習や、職業適性検査等の就労に関するプログラムを実施しました。

### 入所状況

	ひまわり苑
住宅困窮	2世帯
生活困難	0世帯
夫の暴力等	1世帯
生活環境の不良	1世帯
その他	0世帯
計	4世帯

### 退所状況

	ひまわり苑
公営住宅入居	0世帯
民間住宅入居	5世帯
他福祉施設	0世帯
実家	0世帯
その他	0世帯
計	5世帯

### 母親支援状況

	ひまわり苑
子育て支援	2,393件
就労支援	76件
生活支援	11,272件
夫等との関係調整	13件
家族等との関係調整	252件
他機関との関係調整	212件
その他の対人関係	133件
入退所時の支援	93件
上記に含まれない支援	1,710件
計	16,154件

## 世帯状況

		ひまわり苑
世帯	平均世帯人数	2.3 人
	母親平均年齢	33.4 歳
	子ども平均年齢	5.3 歳
令和 5 年度退所世帯平均在籍年数		29 月
令和 5 年度平均充足率		55.0%

## 生活保護受給状況(令和 6 年 3 月 31 日)

受給の有無		ひまわり苑	
無		6 人	
有	一部	2 人	5 人
	全部	3 人	
合計		11 人	

## 雇用形態(令和 6 年 3 月 31 日)

		ひまわり苑	
就 労	正社員	2 人	7 人
	パート・アルバイト	5 人	
未 就 労	学生	1 人	4 人
	未就労	3 人	
合計		11 人	

## 職種(令和 6 年 3 月 31 日)

	ひまわり苑
専門・技術	1 人
事務	2 人
販売	0 人
軽作業	1 人
サービス	2 人
その他	1 人
合計	7 人

## ②児童支援

今年度は、自立支援計画の策定に当たっては、家族支援担当と情報共有をしたうえで児童面談での聞き取りを行い、母子の連動性を意識して目標設定を行いました。また、目標については日々の関わりの中で児童と確認をし、目標が達成できるよう声掛けを行いました。学童保育に参加していない児童に対しては、個別支援や個別学習会を実施し、職員とコミュニケーションを図りながら、学校や生活、母子関係の様子の見守りや介入を行うとともに、個々に合わせた学習支援が出来るようにしました。退所児童の支援については、行事や公益活動への参加の声掛けを行いながら、子どもの様子や近況を確認し、丁寧に子ども話を聞くことで、子どもたちが退所後もいつでも訪れられる場所になっています。

### （学童保育）

今年度は、新型コロナウイルスが 5 類に移行したことで、集団での学習会を再開し、児童同士が声を掛け合いながら、協力して意欲的に学習を行うことができました。また、学習以外にも、学校や家族との関係性の中で不安に感じていることを聞き取り、日々の支援に繋げました。他者との関わり方や自身の気持ちの適切な表現を促すべく、学童保育内で他者と関わる際の約束を、児童が主体となって決め、視覚化して定着を図りました。その結果、他者を慮る言動が増え、全体が過ごしやすい環境への見直しにつながりました。

### （児童・補助保育）

昨年度に比べ補助保育件数は減少し、家族関係調整の為の夕食や入浴の補助を含む補助保育の受け入れや登校介助を行いました。

### （子ども会活動・児童健全育成活動）

今年度は 3 施設集まっての入会式の実施、林間保育として、三浦市の宿泊施設で 1 泊 2 日のキャンプを行いました。子ども会ハイキングでは科学技術館に行きました。活動を通して、子ども会活動の意識を高め、他施設の児童と親睦を深めながら、集団行動を意識した社会性を養いました。

### （児童会）

児童会では、児童が発信内容や目標を考え作成した「ともだち新聞」の読み合わせを行いました。また、ひまわり祭りやハロウィン、クリスマス会での出し物内容や園芸教室の取り組み内容について話し合い、主体的かつ責任を持って、実施できるように促しました。さらに学童保育内でのルールに反した行動とはどんなものかを話し合うことで、規範意識や他者への思いやりを育みました。

## （施設行事）

月1回、乳幼児と合同で誕生会を実施し、異年齢の子ども同士の交流を深めることができました。食事は QOL を考慮し、四季の食材を使ったメニューを選定し、温かく楽しい雰囲気作りなどの工夫を行いました。準備の際には、生活能力の向上を目指し、食事の盛り付けおよび配膳を行いました。役割を決め、作業する中で協力する為の声掛けが自然と出てくる姿が見られました。

春と秋に行った園芸教室では、自分たちで決めた野菜や花を決め、苗から育てました。学童保育内での水やりを通して成長の様子を学び、食材を作ることの楽しさと大変さ、収穫した食材を頂くということへの理解を深める事ができました。

## （児童・個別支援）

学童保育内の集団保育での対応が難しい個々の課題に対し、個別の時間を取り、児童と対話をする機会を設けました。自分の気持ちを適切に表現する事が難しい児童に対して、感情理解、感情表出の方法の習得支援を行いました。楽しみながら習得できるように、ゲーム性を取り入れたり、さりげなく感情を表す言葉の意味を修正したりしながら、感情を表す言葉の意味と、それが起こりうる状況を一緒に考え、整理しました。

## （学習指導）

今年度は、個々の学習状況に応じ、授業の補完としての学習支援を行い、宿題や個別学習支援計画に基づいた自主学習を促しました。また、火曜日と木曜日の週 2 回、学習会を開催し、学習指導を行いました。個別学習を希望する児童には、面談を通して伸ばしたい部分や学習したい部分をアセスメントし、学習内容や日程、時間を児童と共に決めました。自分で決めることで、自分自身の意識を高め、児童も意欲的に参加する事ができました。

## 児童支援状況

		ひまわり苑
令和 5 年度 延在籍数	学童保育	6 人
	学童保育 (地域児童)	448 人 (0 人)
支援 延 人数	補助保育	5 人
	学習指導	445 人
	学習会(個別)	221 人
	児童会	22 人
	誕生会	22 人
	その他行事	0 人
	計	1,163 人

## 子ども会実施状況

月日	活動名	目的及び内容	参加人数
5月13日	子ども会 入会式	ひまわり苑にて、他施設の子ども会メンバーと交流し、共同作業を通して、子ども会への意識や参加意欲を高めることができた。	8名
7月15日	子ども会 キャンプ集会	コスモス苑にて、他施設のメンバーと交流し、子ども会林間保育の意識づけやメンバーシップの強化を行った。	4名
8月1日～ 2日	子ども会 林間保育	宿泊を通して、3施設の児童間交流と親睦を深め、身近な自然の学びや関心を深めるとともに、子ども会活動の意識の向上、集団行動を意識した社会性を養った。	5名
2月3日	子ども会 ハイキング	科学技術館にて身の回りの道具や自然現象などの科学的知識を学び、関心を深めた。また、3施設の児童間交流と関係性を深め、集団行動を意識した社会性の習得を図った。	9名

### ③乳幼児支援

令和5年度の乳幼児支援として、子どもの意見表明権を重視し、幼児の意見を取り入れながら自立支援計画の作成を行いました。言葉で表現することが難しいお子さんには、専門的な視点からお母さんへ助言を行いました。乳児がいる世帯の入所が多くあり、0歳児は、毎日の目視による体調確認を行いました。また、昨年度に引き続き「おやこひろば」を開催しました。母から育児相談などの話しがあった際には、その都度、傾聴や助言を行い育児不安の解消を目指しました。

#### （未入所児保育）

今年度は未入所児保育の受け入れはありませんでした。その為、日常の関りの中で保育園での様子を母や幼児から伺い、必要に応じて助言を行いました。また、日常の関りの中で成長発達を促すため、帰所後に一緒に絵本を読み発語の促しを行ったり、スキンシップを多く取ることで信頼関係の構築を行いました。

#### （乳幼児・補助保育）

補助保育の利用要件は、通院や母の体調不良、行政手続きや心理相談、行事参加、母子関係調整での利用でした。要件の中で母の体調不良による登園、降園介助の補助保育受け入れが多い傾向にありました。また、集団性を意識した保育プログラムを実施することで、自由遊び時に子ども同士が関りを持ちながら遊びを展開させていくこともありました。

## （病後児保育）

病後児保育の利用要件は主に、母の体調不良や就労、通院での利用が見られました。保育受け入れ時には、通院結果や昨日からの子どもの様子の聞き取りを詳細に行いました。引き渡し時には、子どもの様子を詳細に伝え、母と情報共有を行いました。

## （誕生会）

今年度から、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したので、保育室で会食を行いました。自ら進んで保育室へ入室し、他児との会話を楽しみながら食事を行うなど、室内に活気が溢れていました。誕生会後の乳幼児会では季節の制作やダンスを行いました。

### 乳幼児支援状況

		ひまわり苑
未入所児保育		0 人
補助保育	日中保育	144 人
	（内 緊急）	（13 人）
	時間外保育	104 人
	（内 緊急）	（3 人）
	日曜祝日保育	7 人
	（内 緊急）	（0 人）
計		255 人
病後児保育		3 人
（内 緊急）		（0 人）
誕生会		64 人
保育延数		322 人

### 乳幼児保育入園状況

		ひまわり苑
令和 5 年度 延べ在籍数 (月平均)	未入所(未就園)児	0.3 人
	未入所児保育	0 人
保育園 入所状況 (月平均)	男	2.3 人
	女	8.1 人
保育園 入所者内訳 (令和 6 年 3 月 31 日)	私立保育園	4 人
	公立保育園	5 人
	認証保育園	0 人
	計	9 人

## ④アフターケア

### 大田区立ひまわり苑

退所後も継続的に関わることが出来るように、アフターケア計画に基づきアフターケアを実施しました。関係機関とも連携し、退所後の役割分担を明確にし、地域での暮らしが安定するようサポートを行いました。公益的取り組みについては、区外から参加する方も複数おり、退所後も切れ目のない支援を継続しました。

#### (相談支援)

退所者の相談を来所や電話で随時受け付けました。家族関係、体調、こどもの発達や就学、就労等生活といった多岐にわたる相談がありました。こどもからの相談も増え、学校生活や進学について話を伺い助言を行いました。また、「子ども虹の架け橋プロジェクト」を通じて、これまで疎遠になっていた退所者と再び繋がり、相談先として関わる事が出来ました。

#### (施設行事招待)

今年度は、ひまわり祭りや新年お楽しみ会等の地域交流行事や、クリスマス会といった施設内の行事にご招待することができました。退所者同士や、退所者と入所者の積極的な交流が見られました。

### アフターケア

		ひまわり苑
母親	電話	133人
	来所	64人
	訪問	1人
	心理相談	1人
	その他行事	77人
子ども	学童保育	0人
	学習会	0人
	子ども会	3人
	心理相談	1人
	その他行事	133人
計		413人

## ⑤心理

入所時に心理検査と成育歴の聞き取りを併せて実施し、それを基に心理的視点からアセスメントを行いました。

母に対しては心理相談を行い、母の不安の傾聴やストレスコーピング、心理教育など、利用者に合わせた内容を提供しました。子どもに対しては、安心できる空間で自己表現ができるようプレイセラピーを継続して行いました。また、ソーシャルスキルトレーニングでは、聞き取りスキルなど学習態勢の獲得に努めました。家族支援担当職員や子ども支援担当職員の打合せに出席し、連携して支援を行いました。

精神科医によるケースカンファレンスや、外部心理士によるコンサルテーションを行い専門的支援力の向上を目指しました。

### 心理支援利用状況

		ひまわり苑
母親	心理療法	16人
	心理検査	8人
	生活場面面接	351人
	施設職員等への助言・指導	138人
	支援検討会議への出席	35人
	クラブ等グループワーク	0人
	SST	0人
	その他(同行など)	2人
	アフターケア	47人
子ども	心理療法	39人
	心理検査	0人
	生活場面面接	400人
	施設職員への助言・指導	212人
	支援検討会への出席	35人
	クラブ等グループワーク	0人
	SST	17人
	その他(同行など)	1人
	アフターケア	78人
計		1,379人

## ⑥危機管理（事故・災害等）

今年度より、アクシデントに対して複数職員で要因分析の話し合いを行い再発防止に努めました。昨年度と同様、子育てサービスに関するアクシデントが多く発生した為、荷物の取り扱いや、引き渡し時のチェックの仕方等具体的な対策を講じました。インシデントは部屋を使用した後の片付けの中で失念しやすい事柄が多く挙がっていましたので、片付け作業の際の注意点について共通認識が持てるように職員間で共有を行いました。

### ○災害対策（防災訓練）

実施日 時間	訓練内容						場所／実施方法	参加人数
	初期 消 火	通 報	避 難	総 合	B C P	その他		
4月25日 13:00～13:30	○	○	○	○			施設内/避難経路・場所の確認、 火災発生を想定した訓練	利用者 3人 職員 13人
5月30日 15:00～15:30	○	○	○	○			施設内/火災発生を想定した訓練 地震発生を想定した訓練	利用者 4人 職員 9人
6月11日 6:00～7:00						○	緊急連絡網通報訓練施設内	利用者 0人 職員 12人
6月27日 15:00～15:30	○	○	○	○	○		施設内/水害を想定した訓練 (BCP) 施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 2人 職員 9人
7月25日 13:30～14:00	○	○	○	○			施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 2人 職員 11人
8月23日 21:30～21:45	○	○	○	○			夜間の施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 20人 職員 3人 その他 1人
9月27日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/地震発生後に火災発生を想定した訓練	利用者 4人 職員 9人
10月25日 14:00～14:30	○	○	○	○			施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 2人 職員 7人
11月30日 15:10～15:35	○	○	○	○			施設内/ガス漏れを想定した訓練	利用者 4人 職員 5人
12月3日 20:30～21:00						○	緊急連絡網通報訓練施設内	職員 13人
12月20日 15:00～16:00		○				○	応急救護訓練	職員 5人
12月21日 15:00～15:35	○	○	○	○	○		施設内/地震発生後、火災、津波を想定した訓練(BCP)	利用者 7人 職員 5人

1月31日 21:00~21:15	○	○	○	○		夜間の施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 23人 職員 1人 その他 1人
2月15日 15:00~15:30					○	不審者対応訓練	利用者 0人 職員 9人 その他 0人
3月27日 15:00~15:30	○	○	○	○		施設内/地震発生後、火災発生を想定した訓練	利用者 5人 職員 6人

## ⑦要望等解決(苦情解決)

令和5年度は合計24件の要望等を受け付けました。内訳は相談が7件、要望が15件、苦情が2件でした。昨年度に引き続き、委員会で事例検討やロールプレイでの実践的な学習を行いました。特に、例年子どもからの要望等が少ないため、子どもの意見の汲み取りに力を入れました。その結果、後期には、子どもからの要望等も増え、今年度は7件受け付けました。内容としては、学童保育の内容や学習室の環境への要望、保育室の玩具についての要望などでした。その他にも、居室の環境についての希望や、子育てサービスの内容についての要望等を受け付けました。

## ⑧情報管理(個人情報保護・情報開示・セキュリティ)

個人情報保護法の改正について学習を行い、自分たちの業務にどのような影響が生じるのかを学びました。また、大田区の情報セキュリティと法人の情報取り扱い規定を確認し、改めて区の方針に沿って規定が作成されていることを理解しました。人権尊重や情報開示を意識した文章表現について、ロールプレイや事例を通じて学習の強化に努めました。

## (3) 総務委員会

### ○建物・設備維持管理(保守・点検)

実施日	項目	点検の種類
4月04日 11日 12日 18日 21日	建物管理 電気設備 自動ドア 建物設備 エレベータ	定期保守点検・加圧給水ポンプ点検 定期保守点検 定期保守点検 居室内安全点検 定期保守点検
5月08日 12日 18日	建物設備 エレベータ 建物設備	害虫駆除 定期保守点検 居室内安全点検
6月14日 14日 15日 22日 28日 29日	消防設備 エレベータ 建物設備 水道設備 電気設備 エレベータ	定期保守点検 定期保守点検 居室内安全点検 定期保守点検 定期保守点検 法定点検

7月04日	施設設備	定期保守点検
05日	エレベータ	定期保守点検
20日	自動ドア	定期保守点検
20日	建物設備	居室内安全点検
8月10日	建物設備	植木剪定消毒
15日	電気設備	定期保守点検
15日	エレベータ	定期保守点検
17日	建物設備	居室内安全点検
9月19日	エレベータ	定期保守点検
21日	建物設備	居室内安全点検
10月03日	自動ドア	定期保守点検
06日	防火扉	定期保守点検
17日	エレベータ	定期保守点検
19日	建物設備	居室内安全点検
20日	電気設備	定期保守点検・年次点検
11月16日	建物設備	居室内安全点検
20日	建物設備	害虫駆除
21日	エレベータ	定期保守点検
12月05日	エレベータ	定期保守点検
14日	建物設備	居室内安全点検
19日	消防用設備	定期保守点検
19日	防火設備	定期保守点検
21日	電気工作物設備	定期保守点検
01月09日	自動ドア	定期保守点検
17日	自動ドア	定期保守点検
18日	建物設備	居室内安全点検
25日	エレベータ	定期保守点検
2月02日	建物設備	貯水槽点検
15日	建物設備	居室内安全点検
16日	エレベータ	定期保守点検
3月06日	建物設備	定期保守点検・加圧給水ポンプ点検
11日	エレベータ	定期保守点検
14日	建物設備	居室内安全点検

## ○修繕

ひまわり苑は築 20 年を過ぎ、各居室や共用部分の修理を始め、年数経過による修繕箇所が増えました。大規模修繕としては大田区の施設整備課により、ポンプの交換、自動ドアの装置交換、防犯カメラ交換および追加設置工事が実施されました。

## ○保健衛生

新型コロナウイルスが 5 類へ移行後に関しても、感染症が発生した場合には、感染症マニュアルに基づいた迅速な対応を行い、適切な情報を周知し感染防止に努めました。また、利用者とは日々関わる中で体調確認を行い、必要に応じて情報提供や通院を促し、早期発見・治療を促しました。経過についてもこまめに体調確認を行いました。

① 健康管理（母親・児童・乳幼児）

月 日	内 容	参 加 人 数
4月24日	歯科検診	1人(母)
4月25日	歯科検診	1人(母)
4月28日	健康診断	1名(母)
6月27日	施設内健康診断	23人(母10・子13)
7月15日	健康診断	1名(母)
7月22日	歯科検診	1名(母)
7月31日	健康診断、歯科検診	1人(母)
8月30日	健康診断、歯科検診	1人(母)
9月5日	健康診断	1人(母)
10月26日	健康診断	1人(母)
10月27日	歯科検診	1人(母)
11月7日	健康診断、歯科検診	1人(母)
11月21日	施設内健康診断	24人(母10・子14)
12月8日	健康診断、歯科検診	1人(母)
1月12日	健康診断、歯科検診	1人(母)
3月8日	健康診断	1人(母)

② 乳幼児の健康管理

区 分	説 明
健 康 診 断	① のとおり 保育園にて実施 未入所児：嘱託医により実施 または各病院で実施
歯 科 検 診	保育園にて実施

## (4) 地域活動

### ① 地域交流事業

#### ○ 地域交流行事

#### ○ 自治会活動・地域行事

職員が自治会会合や祭事、新年会等の活動にも参加し、相互の協力を得ることが出来ました。利用者の退所後の地域生活における基盤作りの一環となっています。

施設	行事名	実施日	実施内容	参加者
ひまわり苑	ひまわり祭	令和5年 8月26日	今年度からは地域の自治会や大田区の関係機関の方々、退所者等をご招待し、コロナ以前に戻した形式で実施しました。「忍者の里ひまわり城～あたらしい夏が始まる!の巻～」をテーマとし、忍者に扮した児童、乳幼児、母親がそれぞれ出し物を披露しました。地域の方々にひまわり苑について知っていただくと共に、日ごろの感謝を伝える機会となりました。	来賓 25名 母親 9名 児童 5名 乳幼児 9名
	新年お楽しみ会	令和5年 1月28日	今年度は、新年お楽しみ会としてクラシックコンサートとお楽しみ会の2部制で実施しました。クラシックコンサートは、入所者親子で楽しみましたが、新年お楽しみ会は、すぐろくや福笑い、めんこなど「お正月遊び」を体験できるブースをつくり、地域の親子や子どもたちが季節の遊びを通して、交流できる場としました。また、エントランスホールには「ひまわり神社」を設置し、参加した方々それぞれが絵馬に新年の抱負や願いを込めました。	母 8名 児童 3名 乳幼児 9名 地域 117名

## ○ボランティアの受入

状況に合わせて受け入れを行いました。

## ○ボランティア受け入れ状況

	ひまわり苑
保育	0人
学童保育	7人
学習支援	0人
子育て支援	0人
行事	0人
子ども会	0人
クラブ	0人
その他	0人
計	7人
1か月平均	0.58人

## ②次世代育成

### ○実習生の受入

福祉施設現場を理解する福祉人材育成のため、保育コース・社会福祉コースを設けています。保育士コースは19校から、社会福祉コースは8校から実習生の受け入れを行いました。

## (5) 関係機関との連携

### ①行政機関

#### ○実施状況(回数)

	ひまわり苑
入所面談	3回
退所面談	4回
定期面談	13回
サービス調整会議	12回
ネットワーク会議	1回
要保護児童	2回
配偶者等暴力	0回
関係機関行事 (入卒園式等)	0回
計	35回

### ②地域団体

#### 大田区社会福祉協議会

児童贈物事業(クリスマスプレゼント)を申請し、クリスマス会の際に子どもたちにプレゼントを贈りました。また、企業からの寄贈品等を仲介していただき、「子ども虹の架け橋プロジェクト」では、利用者や地域の登録者の方へ多くの物資を頂きました。そして、「おおたスマイルプロジェクト」にご尽力いただき、れいんぼう活動においては、活動費や関係機関との仲介等の協力をいただきました。

### ③法人サポート組織

#### ゆうわ会

昭和40年代から、大洋社大森寮に協力してくださっている個人のボランティアが集まって出来

た、ゆうわ会（友輪会）ボランティア団体は、二代目ゆうわ会会長の須佐知行先生（密乗院住職）が引き継ぎ、また、平成 20 年度よりはじめた施設の退所児童の受け皿として青少年健全育成の目的で、活動会員の育成を始めましたが、施設の行事や特にハイキング・夏のキャンプへの協力を頂いています。

## 家庭福祉研究会

地域交流事業等、家庭福祉研究会会員の方達のお力添えがあって多くの施設行事を行うことができました。今後も法人を支えて下さり、ご理解して下さいの会員の方達との交流を大切にしていきたいと考えています。

月 日	活 動 人	目 的 及 び 内 容	参加人数
5月13日	座禅会	座禅・紙芝居	5人
8月26日	ひまわり苑 ひまわり祭り	施設行事を通じて、施設との連携を図る	5人
10月28日	陽だまり荘 陽だまり祭り	施設行事を通じて、施設との連携を図る	3人
10月28日	コスモス苑 ハロウィン	施設行事を通じて、施設との連携を図る	4人
12月23日	ひまわり苑 クリスマス会	行事協力	2人
12月23日	コスモス苑 クリスマス会	行事協力	2人
1月28日	ひまわり苑 新年お楽しみ会	行事協力	3人
2月10日	報告会 (ゆうわ会合同行事)	令和5年度事業計画 令和6年度事業報告 活動状況報告	9人

## (6) 施設機能強化推進事業

### ① 社会復帰等自立促進事業

#### ○ 心身機能低下防止研究事業

施設	実施時期	内 容
ひまわり苑	令和5年 8月26日	ひまわり祭り(地域交流事業)は今年度からは地域の自治会や大田区の関係機関の方々、退所者等をご招待し、コロナ以前に戻した形式で実施しました。「忍者の里ひまわり城～あたらしい夏が始まる!の巻～」をテーマとし、忍者に関して児童、乳幼児、母親がそれぞれ出し物を披露しました。大勢の方の前で出し物を披露したことで、利用者にとって良い達成感を得られる場となりました。
	令和5年 1月28日	今年度は、新年お楽しみ会としてクラシックコンサートとお楽しみ会の2部制で実施しました。クラシックコンサートは、入所者親子で楽しみましたが、新年お楽しみ会は、すごろくや福笑い、めんこなど「お正月遊び」を体験できるブースをつくり、地域の親子や子どもたちが季節の遊びを通して、交流できる場としました。

#### ○ 処遇困難事例研究事業

施設	実施時期	内 容
ひまわり苑	令和5年 10月26日	精神疾患を持つ母親への支援については、支援者と利用者共に常に自己覚知を行い続けることの大切さを学びました。DV・被虐待経験を持つ世帯については、支援者側の意見を率直に伝え、その上で相手の反応を確かめることを助言して頂きました。また、具体的な児童へのアプローチ方法を教えていただいたおかげで支援に活かすことが出来ました。
ひまわり苑	令和5年 12月16日	精神科医を招き、統合失調症に関する講義と事例検討を実施しました。統合失調症に関する医学的根拠に基づく学びの機会となり、客観的かつ専門的に利用者を理解する事に繋がりました。
ひまわり苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	外部心理士による、定期的なコンサルテーションを実施し、ケースについて検討しました。母との関係構築のためのアプローチや、子の特性への支援、母子関係やきょうだい関係でのトラブルへの介入方法等について、心理的視点から助言をいただきました。世帯としてのアセスメントを深め、支援の方向性を見つめ直す機会となりました。 また、ケースについてだけでなく、職員に対してのコンサルテーションも定期的にも実施し、支援についての幅広い悩みを扱っていただき、専門性の向上だけでなく、モチベーション向上につながりました。

## ○施設入所児等社会（家庭）復帰促進事業

施設	実施時期	内 容
ひまわり苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	公益事業（JOY）地域児童（退所児童）、入所児童を対象に、子どもの貧困防止を目的として、体験型学習支援を実施しました。コロナ禍の5類移行後は、一緒に調理を行い、会食をしました。各種検定などのサポートもしました。
		公益事業（ママれいんぼう）母親を対象に、体験型就労支援）として、長期的な就労の安定を目指し、資格取得やスキルアップの為の学習や、職業適性検査等の就労に関するプログラムを実施しました。

## ②総合防災対策強化事業

### ○総合防災強化事業

施設	実施時期	内 容
ひまわり苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	危機管理委員会の中で BCM、BCMS の学習や、災害時の BCP を用いて各フェーズに沿った机上訓練を行いました。昨年度と同様、実践に近い形で、毎月一回自衛消防訓練を実施しました。また、非常時に備え、防災備品や非常食の購入を行いました。

## ii 緊急一時保護事業

施設名	大田区立ひまわり苑
定数	1世帯
利用世帯	9世帯
母子	1世帯
单身	8世帯
利用総数	11人
大人	10人
子ども	1人
滞在延べ日数	113日
対象	緊急に保護を要する母子または单身女性に対し、 適当な施設に入所させる事が出来ない場合、一時的に入所させ必要な保護、相談および支援を行い、応急的支援を図ります。
利用条件	○利用期間 概ね2週間(14日) ○利用料金 無料

### I 総括

例年に比べて利用世帯が減少し、高齢の单身女性の利用が半数を占めた。また、緊急一時保護室で安心して過ごすことが出来るよう環境整備を行い、関係機関と連携し、退所に向けての支援を行いました。

#### (重点事項実施状況)

##### ・緊急対応の確保

関係機関と連携を図り利用者の共有を図り、緊急時の対応を適切に行うことが出来るよう取り組みました。また、危機管理の視点から不審者対応、虐待対応、災害時の緊急対応、個人情報保護を意識した対応を適切に行うことが出来るよう努めました。

##### ・安全で安心な場の提供

利用者が安心して過ごすことが出来るような環境を提供し、落ち着ける空間の整備を行いました。また、関係機関と連携し、利用者の状況に応じて配慮が必要な場合は対応を職員間で統一しました。

## 2 良質なサービスの提供（支援状況）

今年度は入所者のほとんどは単身世帯で、20代から60代と幅広い年齢層の方が入所しています。夫やその他の家族から暴力を受けて避難先として利用される方が多く、日常的な見守りや声掛けを行うことで心身の状況の把握に努めました。

### 利用状況

区分	項目	ひまわり苑
世帯	単身	8世帯
	家族	1世帯
	合計	9世帯
人数	大人	10人
	子ども	1人
	合計	11人
滞在延日数		113日

### 入所状況

区分	項目	ひまわり苑
入所理由	夫からの暴力	4世帯
	その他家族からの暴力	2世帯
	借金	0世帯
	失業	0世帯
	住宅困窮	0世帯
	その他	3世帯
	計	9世帯
入所前の居所	自宅	3世帯
	親せき宅	0世帯
	友人宅	2世帯
	宿泊所	0世帯
	社会福祉施設	0世帯
	その他	4世帯
	計	9世帯

## 退所状況

区分	項目	ひまわり苑
退所先	自宅	0世帯
	親せき宅	0世帯
	母子生活支援施設	1世帯
	他社会福祉施設	8世帯
	アパート	0世帯
	その他	0世帯
	計	9世帯

### iii 子育て短期支援事業 (第2種社会福祉事業)

#### 【事業概要】

施設名	大田区立ひまわり苑	
事業開始	平成10年2月1日	
ショート ステイ	定員	4人
	延べ	436人
トワイライト ステイ	定員	6人
	延べ	938人
休日 デイ	定員	4人
	延べ	288人
対象者	大田区内在住 2歳以上15歳(中学生)以下	

# 1 総括

今年度の子育て短期支援事業は、「残業」「育児疲れ」での要件が多数を占めました。利用児の保護者に対して、家庭での状況を伺い、育児の不安などを傾聴し、保育中の利用児の様子を専門的な視点からお伝えしました。また、育児不安のある世帯やレスパイトで利用される世帯については、子ども家庭支援センターと連携し、対応しました。また、社会的養護の一環として要支援児童の受け入れ体制もあります。

## （重点事項実施状況）

年少児から高学年児までの幅広い年齢の利用があり、家庭的な雰囲気づくりを意識し、安心安全な環境設定・保育を行いました。また、特性のある子どもについての対応スキルの学習を行い、子どもの様子を職員間で共有し、個々に適した関わりができるようにしました。保護者に対して、お迎え時や電話で家庭での様子や育児不安や悩みなどを傾聴し、必要に応じて関係機関と情報共有を行いました。

# 2 良質なサービスの提供

## （1）サービス内容

- ①食事の提供および身の回りの世話
- ②学習の援助および遊びの指導
- ③通園または通学の援助
- ④その他

## （2）利用状況

### ①利用の要件

ショートステイでは、昨年度と同様に「育児疲れ」の要件が大半でした。その他の要件も「入院」「介護」等、様々な要件での利用がありました。休日デイは、「残業」「育児疲れ」での利用がありました。要件を聞く際には、家庭状況も伺うようにしました。

## ②利用状況

昨年度からの継続利用の方に加え、新規で登録し定期的に利用する方がいましたが、体調不良等で当日キャンセルされる方が多くいました。ショートステイでは件数が前年度比 140%増加しました。定期的に「育児疲れ」で利用される方が増加しています。トワイライトは、「残業等」で定期的に利用される方が多くいました。休日デイは、「残業等」と「育児疲れ」で利用される方がほとんどで、キャンセル待ちの状況がありました。

## ○利用児童の傾向

いずれのサービスとも 2 歳児から小学校高学年までの利用が約 9 割を占め、発達障がいなどで専門的な対応が必要な子どもの利用もありました。また、定期的に利用する子どもたちがおり、子ども同士関係を築き、遊びあう様子がありました。

休日デイ、トワイライトステイではきょうだいで利用が多く、家庭での様子が窺えました。

## ○家庭状況

ショートステイでは、ひとり親家庭の方が育児負担軽減のために利用されることが多く、専門的な視点から利用児の保育中の様子をお伝えし、育児不安の軽減に努めました。トワイライトステイでは、残業の要件のご家庭の定期利用が多くありました。休日デイも、ひとり親家庭の利用がほとんどで、子ども家庭支援センターなどの関係機関と情報共有を行いました。

### 利用要件別利用人数(ショートステイ)

	ひまわり苑
残業等	54 人
出張	0 人
出産	6 人
疾病	0 人
入院	44 人
公的行事	0 人
冠婚葬祭	11 人
介護	4 人
その他	317 人
計	436 人

利用要件別利用人数(トワイライトステイ)

	ひまわり苑
残業等	804人
出張	0人
出産	0人
疾病	8人
入院	0人
看護	0人
冠婚葬祭	2人
介護	0人
その他	124人
計	938人

利用要件別利用人数(休日デイサービス)

	ひまわり苑
残業等	127人
出張	0人
出産	0人
疾病	4人
入院	0人
看護	0人
冠婚葬祭	0人
介護	0人
その他	157人
計	288人

## 家庭状況

		ひまわり苑
ステイ ショート	父母世帯	161人
	母子世帯	252人
	父子世帯	23人
	計	436人
ステイ トワイライト	父母世帯	135人
	母子世帯	120人
	父子世帯	683人
	計	938人
サービス 休日デイ	父母世帯	75人
	母子世帯	125人
	父子世帯	88人
	計	288人
延べ数		1,662人

## 行事の実施状況

	ひまわり苑
4月	こいのぼり工作
5月	親へのプレゼント工作
6月	虫歯予防学習
7月	七夕短冊製作
8月	ひまわり祭り
9月	お月見工作
10月	ハロウィンゲーム
11月	避難訓練
12月	クリスマス工作
1月	お正月遊び
2月	節分体験
3月	お楽しみ会

## Ⅳ 母子一体型ショートケア事業

施設名	大田区立ひまわり苑
定数	1世帯
利用世帯	1世帯
利用総数	2人
大人	1人
子ども	1人
滞在延べ日数	17日
対象	生活基盤が脆弱であったり、育児疲れや事故に遭遇した事により精神的に不安定な状態になった母と生後6カ月以上かつ未就学の児童。
利用条件	○利用期間 概ね1週間(7日) (行政判断で延長可) ○利用料金 無料

### (1) 総括

母子一体型ショートケア事業は1世帯(延べ2人)の利用がありました。入所理由は、「夫からのDV」「療養」でした。入所期間中は、安心した住環境の提供を行い、子の補助保育を通じ、母の療養に努めました。入所前から関係機関との連携や受け入れの体制を構築し、作成した支援計画に基づき支援を行いました。

#### (重点事項実施状況)

##### ・緊急対応の確保

子ども家庭支援センターと連携し、利用者状況の共有を図り、緊急時の対応が適切に行える体制を整えました。また、危機管理の観点から、不審者対応、虐待対応、災害対応、個人情報保護を意識し、適切な対応が行えるように努めました。

##### ・安全で安心な場の提供

利用者が安心して過ごすことが出来るように安心安全で、落ち着ける空間の整備を行いました。また、感染症対策も意識し、日々の体調把握と衛生面の整備も行いました。利用者の状況に応じて、配慮が必要な場合は、関係機関とも連携し、職員間で統一した対応を行いました。

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)  
至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

コスモス苑

## Ⅱ 事業別サービス実施報告

### ⅰ 母子生活支援施設（第Ⅰ種社会福祉事業）

#### 大田区立コスモス苑

#### 【事業概要】

施設名	大田区立コスモス苑	
事業開始	平成5年4月1日	
事業内容	18歳未満の子どもを養育している母子家庭、または何らかの事情で離婚の届出ができないなど、母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。 緊急一時保護事業（1世帯）、子育て支援事業を付帯事業で行っています。	
世帯数	20世帯	
入退所	入所世帯	7世帯
	退所世帯	4世帯
	平均世帯構成	2.4人
	母親平均年齢	32.6歳
	平均在籍年数	14.2か月
建物状況	構造	鉄筋コンクリート 地上4階建,689.50㎡
	内訳	母子室20室 緊急一時室1室 事務室兼医務室 応接室・静養室 宿直室・警備員室 保育室 学習室

## 1 総括

母子生活支援施設コスモス苑は、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行された事で、徐々にコロナ以前の運営や支援に戻し、より充実した施設運営を行えるように尽力しました。利用者に対しては個別性の高い支援を提供し、母と子、一人ひとりの思いをよく聞いて、自己実現出来るように支援を行いました。職員と利用者の関わりにおいては、子どもの意見表明権を意識して関わるように努めました。継続して行っている「虹の架け橋プロジェクト(利用者、退所者への食配布)」を行うことで、アフターケア件数が増加しました。

### (重点事項実施状況)

今年度もコスモス苑はインケアの充実、関係機関との連携強化、支援の専門性向上、公益的取り組みによる地域との連携強化を掲げて取り組みました。インケアの充実を目指して、権利擁護に関する学習や、家計改善支援研修を学びながら、母親に関しての支援を行いました。関係機関との連携については、担当行政課、子ども家庭支援センター等と密にやり取りをし、利用者状況などの情報共有を行いました。支援の専門性の向上に関しては、母親のアセスメントシートの変更を行いました。各種プログラムや施設行事は利用者主体を意識し、一緒に作り上げる意識を持って展開することが出来ました。

公益的取り組みにおいては、れいんぼう・JOY・ママれいんぼう開催時に、食事作りを再開したり、体験プログラムで外部に出かける事ができ、様々な経験の機会が増えた 1 年となりました。

## 2 良質なサービスの提供

### (1) 利用者状況

令和 5 年度利用者の入所理由は、DV 避難、住宅経済困窮、養育困難等様々で広域利用の受入れも 1 世帯ありました。入所前から丁寧な聞き取りを行い、母親と職員の関係構築に努めました。離婚調停、家族関係不和、母親のトラウマ体験による生活不安等様々な課題を抱えた世帯に対して、心理士や関係機関と連携し利用者の個々の課題をひとつひとつ解決していきながら安定した生活が営めるよう、生活支援や子育て支援を行いました。

退所世帯には、退所前に職員と利用者でアフターケア計画を策定し支援を行いました。特に退所した子ども達が施設の学童保育や心理支援に繋がり地域生活での安定を見守ることができました。近況報告や相談、必要に応じて関係機関に繋げる支援を行い、利用者の退所後の地域生活に対する不安軽減を図りました。

## (2) 自立支援への取り組み

### ① 母親支援

利用者と日々の会話を中心に関わりを積み重ねて信頼関係構築に努めました。様々な事情を抱えて入所する利用者と同じ目線に立ち、気持ちに寄り添ったり、利用者が自身の課題と向き合えるよう、時には厳しく接しながら母子ともに安定した生活が営めるよう支援を行いました。

#### (子育て支援)

母親の成育歴やひとり親になった背景を理解し、子育てと家事や就労が両立して行えるよう日々支援に取り組んできました。乳幼児を抱えた世帯に対しては、子の成長発達について母親と一緒に共有した上で、助言を行ったり、子の健康状態の把握のために通院同行を行うなどの支援を行いました。子育てに疲弊している母親には、回復をする為の補助保育提案を行いました。小学生以上の子を抱えた世帯に対しては、学童保育や心理支援、登校支援を行いました。

また、子の成長発達と安定した生活リズムを保障するために、未入所児保育の提供を積極的に行いました。

#### (親子支援)

母子関係の安定を念頭に置き、各世帯の課題について職員間で検討を重ね、関係調整を行いました。母親に対しては、日々の生活の中での親子関係に対しての困りごとを共有し、対応策と一緒に考えながら親子支援を行いました。

ネグレクトや虐待の傾向が見られる世帯に対しては、職員が日々の関わりを強化するとともに、子の保育時に衣服や身体の状態確認を行いながら、関係機関と密に連絡を取り対応にあたりました。

#### (生活支援)

生活支援は、日常生活の相談、体調管理、家事、経済、人間関係、関係機関との調整など多岐にわたり、各世帯の意向や状況、課題に合わせた支援を展開しました。具体的には、定期的に居室介入を行い片付け・掃除・洗濯などに共に取り組みながら、子の成長に合わせた生活リズムや住環境を整えられるよう、子どもとの生活の送り方について助言を行いました。今年度は希望する母親に家計改善支援を行いました。

#### (その他の支援・夫関係等)

再統合世帯や精神科通院を行っている世帯には、母子関係等を配慮しながら、状況に合った支援を積極的に行いました。母自身の成育歴や心の傷付きの影響で、生活面や母子関係に支

障をきたしている世帯に関して関係機関と連携しつつ、子どもの心身の安定ができるように支援を行いました。

### (就労支援)

母親の就労や就職活動に伴い未入所児保育や補助保育の受け入れを行い、意欲的に就労や就職活動が出来るように配慮しました。仕事に悩みを抱えている母親には面談を行い、働き方や就労継続方法、転職について一緒に考えました。就労と子育てが両立できるよう、各世帯の状況と母親の意向を踏まえて就職活動から就労継続まで幅広い支援を行いました。

### 入所状況

	コスモス苑
住宅困窮	9世帯
生活困難	0世帯
夫の暴力等	9世帯
生活環境の不良	0世帯
その他	0世帯
計	18世帯

### 退所状況

	コスモス苑
公営住宅入居	3世帯
民間住宅入居	1世帯
他福祉施設	0世帯
実家	0世帯
その他	0世帯
計	4世帯

## 母親支援状況

	コスモス苑
子育て支援	4,452 件
就労支援	231 件
生活支援	4,537 件
夫等との関係調整	21 件
家族等との関係調整	471 件
他機関との関係調整	197 件
その他の対人関係	85 件
入退所時の支援	116 件
上記に含まれない支援	1,557 件
計	11,677 件

## 世帯状況

		コスモス苑
世帯	平均世帯人数	2.4 人
	母親平均年齢	32.6 歳
	子ども平均年齢	5.7 歳
令和 5 年度退所世帯平均在籍年数		14.2 月
令和 5 年度平均充足率		54.2%

## 生活保護受給状況(令和 6 年 3 月 31 日)

受給の有無		コスモス苑	
無		4 人	
有	一部	6 人	10 人
	全部	4 人	
合計		14 人	

## 雇用形態(令和6年3月31日)

		コスモス苑	
就 労	正社員	2人	10人
	パート・アルバイト	8人	
未 就 労	職業訓練校	0人	4人
	未就労	4人	
合計		14人	

## 職種(令和6年3月31日)

	コスモス苑
専門・技術	2人
事務	1人
販売	0人
軽作業	1人
サービス	3人
その他	3人
合計	10人

## ②児童支援

日々の児童支援では、個々のニーズに寄り添った自立支援計画と個別学習支援計画を作成し、それを基に、相談、家族関係調整、学習支援を行いました。グループ支援としては、学童保育、誕生会・児童会などの施設行事を行いました。

これらの支援を行う中で、児童会では、「同意」の大切さや、自分らしさを尊重し合うことの大切さについて定期的に話し合いを行いました。また、ソーシャルスキルトレーニングを行い、児童の社会的スキルの向上につなげられるよう支援を行いました。

### (学童保育)

色々な辛い思いを経験して施設にたどり着いた状況があるので、まずは児童が安心・安全の下で過ごせるよう配慮しながら学童保育を行いました。ルールを明確にした上で子どもたちが安心できる生活空間、環境作りを行い、基本的な生活習慣の習得や学習の習慣づけ、自己肯定感の向上に努めました。職員や他児との関わり合いの中で、コミュニケーションの基礎を学び、自分の気持ちを言葉で伝えることができるよう支援を行いました。

## （児童・補助保育）

今年度は、母親の仕事が忙しい中、夜遅くまで、居室内で一人で過ごす児童に対しての補助保育が中心でした。お留守番練習や生活面（食事介助等）の支援も行いました。

## （子ども会活動・児童健全育成活動）

コスモス苑はワラビーズ子ども会として活動を進め、3施設合同の1泊2日の林間保育やハイキングを行いました。三施設合同ということで、初対面の人と交流してお友達ができたり、初めての場所に訪れ、社会性を育む体験を積むことが出来ました。

## （児童会）

月に1回、児童会を行い、「児童会だより」と「予定表」を読み合わせし、翌月の生活目標の確認を行いました。また、日々の支援の中で汲み取った暴言等の課題を児童会で取り上げ、一緒に考える機会を作りました。

## （施設行事）

月に1度、乳幼児と児童合同で誕生会を行いました。誕生者のお祝い、制作やレクリエーションを楽しみました。また、食育を目的として旬の食材を意識したメニューを提供しました。会の中では、日々の関わりだけでは把握できない成長発達面の様子や、兄弟間の様子等を確認することができました。

## （児童・個別支援）

個別支援として、児童面談、学習指導、母子関係調整、職員との関係構築、登校支援を行いました。自立支援計画をもとに、被虐の経験から大人への不信感を感じている児童に対して、個別的な関わりの中で丁寧に気持ちの聞き取りを行い、受容を繰り返し行っていくことで信頼関係の構築を目指しました。

## （学習指導）

学童保育の際の学習時間や週に2回の学習会を通して、子どもの学習に対する理解具合を把握し、学力の維持向上と学習意欲を持ち自ら進んで学びに向かう力を育むための学習環境づくりを基本に心掛けました。

各々の学習進度に寄り添いながら教材を用意し、定着が図れるよう反復練習を意識しながら

学習支援を行いました。退所児童の受け入れも行き、入所児童と同様に学習会の中で支援を行いました。

### 児童支援状況

		コスモス苑
令和5年度 延在籍数	学童保育	2人
支援 延 人数	学童保育	146人
	(地域児童)	(78人)
	補助保育	18人
	学習指導	316人
	学習会 (個別)	170人
	児童会	27人
	誕生会	32人
	その他行事	0人
	計	709人

### 子ども会実施状況

月日	活動名	目的及び内容	参加人数
5月13日	子ども会 合同入会式	他施設の子ども会メンバーと交流しながら、子ども会活動についての説明を聞いて活動内容の理解を行った。	3名
7月15日	キャンプ集会	8月に実施する、キャンプに関しての内容を理解し、班分けを行い交流した。	5名
8月 1～2日	林間保育	3施設の児童館交流や集団で色々な経験を通して、社会性を養い生活訓練を行った。	7名
2月3日	子ども会 ハイキング	身近な自然や化学について、学びや関心を深めるとともに、3施設の児童館交流と親睦を深め、子ども会活動の意識の向上、集団行動を意識した社会性を養った。	4名

### ③乳幼児支援

母親から育児に関する相談があった際には、その都度傾聴や助言を行い、育児不安の解消を目指しました。また、未入所児保育や補助保育を実施する中で、子どもたちの遊びや行動の様子について観察を行い、必要に応じて保育園、保健師等の関係機関や施設内心理士と連携をとり、関係調整を行いました。

#### （未入所児保育）

今年度は母の就労活動、生活リズム構築に合わせて未入所児保育を行い、必要に応じて早朝保育、延長保育を行いました。生活リズムの安定を図るため外遊びや散歩、発達段階に合わせた遊びを行い、保育所保育指針に基づいた保育計画の作成を行いました。子どもたちが安全に過ごすことできるように保育室の環境整備にも積極的に取り組みました。

#### （乳幼児・補助保育）

母の会、就労活動、面談、家族関係調整、家族の通院、家族の体調不良、役所手続きによる保育受入を行いました。また自立支援計画に沿って保育受入し、就労や母子関係調整が必要な世帯はその都度個別に声掛けを行い、個々に合わせた補助保育受け入れを行いました。また生活リズムに課題を抱える世帯に関して、子の生活リズムを整え、成長発達を確保する目的で、子の様子を共有しながら母の声掛けの仕方について助言をし、状況に合わせた補助保育の実施方法を母と検討していきました。

#### （病後児保育）

病気の症状を詳しく把握した上で病後児保育受け入れを行い、保育受け入れ時はこまめな水分補給と検温による体調確認を行いました。また、早めの通院促しや時には医療機関の情報提供を行うことで病後児保育の受け入れもスムーズにできました。

#### （誕生会）

誕生者のお祝い、読み聞かせ、製作活動を行いました。製作活動では季節に合わせた製作を行い、完成した作品を施設内に飾りました。完成した作品や子どもたちの写真を掲示することで、母親たちも季節感を感じたり、誕生会の内容を知ることができていました。食育に関しては旬の食材を使い食事提供を行い、皆で楽しく会食を行う事ができました。

## 乳幼児支援状況

		コスモス苑
未入所児保育		306 人
補助保育	日中保育	275 人
	(内 緊急)	(83 人)
	時間外保育	163 人
	(内 緊急)	(23 人)
	日曜祝日保育	20 人
	(内 緊急)	(1 人)
	計	458 人
病後児保育		6 人
(内 緊急)		(1 人)
誕生会		123 人
保育延数		893 人

## 乳幼児保育入園状況

		コスモス苑
令和 5 年度 延在籍数 (月平均)	未入所(未就園)児	3.6 人
	未入所児保育	2.3 人
保育園 入所状況 (月平均)	男	3.1 人
	女	6.2 人
保育園 入所者内訳 (令和 5 年 3 月 31 日)	私立保育園	7 人
	公立保育園	4 人
	認証保育園	0 人
	計	11 人

## ④アフターケア

退所後も継続的に関わることができるよう、退所前にアフターケア計画を作成し、それに基づきアフターケアを実施しました。「子ども虹の架け橋プロジェクト」では、引き続き多くの退所者が来所し、退所世帯の状況把握や相談支援を行いました。

「れいんぼう」「JOY」等の公益的取り組みでは、施設内行事では3年ぶりに屋外にて地域の方も交えて行い、多くの退所者が参加することができました。退所後も何かあれば気軽に相談できる場として、アフターケアの更なる強化と定着を図りました。

### （相談支援）

退所者の相談を来所や電話にて随時受け付け、社会資源の情報提供などの支援を行いました。子どもの不登校や学習の遅れ、ステップファミリーの問題など、退所した後にライフステージの中で様々な課題が生じており、その身近な相談先としてコスモス苑が機能している状況がありました。育児疲れでの子育てサービス利用者に対しては、必要に応じて関係者会議を行う等、関係機関と連携しながらサポートを行いました。

その他、退所児童の学童保育受け入れや学習支援、プレイセラピーやソーシャルスキルトレーニングを継続し、退所後も母子ともに地域での生活を安定していけるような関わりを行いました。

### （訪問支援）

退所後も電話連絡や来所の際に退所者の近況について確認し、必要に応じて家庭訪問を実施し、母子関係調整や生活の見守りを行いました。必要な場合は関係機関へ連絡をし、情報共有に努めました。

### （施設行事招待）

徐々にコロナ禍前に近い形での行事実施が可能となりつつあり、ハロウィンイベントは屋外で実施をすることができました。退所者へ案内を送付し、行事へ招待したことで多くの退所者が参加しました。施設内で行ったクリスマス会やクラシックコンサートも退所世帯にも参加促しを行い、楽しい時間を共有し、退所者同士また退所者と入所者の交流が見受けられました。

## アフターケア

		コスモス苑
母親	電話	247 人
	来所	204 人
	訪問	0 人
	心理相談	1 人
	その他行事	10 人
子ども	学童保育	306 人
	学習会	96 人
	子ども会	21 人
	心理相談	87 人
	その他行事	131 人
計		1,103 人

### ⑤心理

入所者の初回心理アセスメントを実施し、施設が利用者の状態の把握を行うと共に、入所者自身の自己理解や今後の生活に役立つ情報提供を意識して検査のフィードバックを行いました。心理検査時に支援職員が同席する事で、アセスメント面談から得た情報をその後の支援につなげ、連携していくことが出来ました。必要な方にはその後の定期的な心理相談やペアレントトレーニングを個別で実施しました。児童に対しては、安心できる空間で自己表現ができるようプレイセラピーを継続して行いました。ソーシャルスキルトレーニングを行いました。

チーム力や専門性の向上を目的として、家族支援担当職員や子ども支援担当職員毎に定期的なチームコンサルテーションも行いました。その他、精神科医によるケースカンファレンスや、外部心理士によるコンサルテーションを行い専門的支援力の向上を目指しました。

## 心理支援利用状況

		コスモス苑
母親	心理療法	13人
	心理検査	3人
	生活場面面接	571人
	施設職員等への助言・指導	177人
	支援検討会議への出席	65人
	クラブ等グループワーク	2人
	SST	0人
	その他(同行など)	120人
	アフターケア	78人
子ども	心理療法	37人
	心理検査	1人
	生活場面面接	581人
	施設職員への助言・指導	190人
	支援検討会への出席	64人
	クラブ等グループワーク	0人
	SST	33人
	その他(同行など)	78人
	アフターケア	101人
計		2,114人

## ⑥危機管理（事故・災害等）

### ○災害対策（防災訓練）

実施日 時間	訓練内容						場所／実施方法	参加人数
	初 期 消 火	通 報	避 難	総 合	B C P	そ の 他		
4月26日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/火災発生を想定した訓練	利用者 7人 職員 8人
5月24日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/地震、火災発生を想定した訓練	利用者 7人 職員 10人
6月11日 6:30～7:30						○	施設内/早朝継走訓練	職員 14人
6月28日 15:30～16:00	○	○	○	○			施設内/地震、津波、火災発生を想定した訓練	利用者 5人 職員 6人
7月25日 16:00～16:30	○	○	○	○	○		施設内/地震、火災発生を想定した訓練、BCP訓練	利用者 7人 職員 8人
8月30日 16:00～16:30	○	○	○	○	○		施設内/火災発生を想定した訓練、風水害BCP訓練	利用者 7人 職員 6人
9月29日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/地震発生後にガス漏れ火災発生を想定した訓練	利用者 5人 職員 6人
10月24日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/地震発生後に火災発生を想定した訓練	利用者 8人 職員 6人
11月28日 16:00～16:30	○	○	○	○			施設内/地震発生後に火災発生を想定した訓練	利用者 8人 職員 6人
12月26日 16:00～16:30	○	○	○	○		○	施設内/地震発生後に火災発生を想定した訓練（夜間想定）	利用者 11人 職員 6人
1月23日 13:00～13:30	○	○	○	○			施設内/地震発生後に火災発生を想定した訓練	利用者 11人 職員 8人
2月22日 15:00～15:30	○	○	○	○			施設内/火災発生を想定した訓練/不審者対応訓練	利用者 4人 職員 7人
3月26日 16:00～16:30	○	○	○	○		○	施設内/大規模災害（地震）発生後に火災を想定した訓練	利用者 16人 職員 8人

## ⑦要望等解決（苦情解決）

令和5年度は相談が9件、要望が8件、苦情が6件ありました。

今年度も引き続き、各人の意向の聞き取りと調整といった対応の質の向上を委員会活動の中

で定期的に学習し実践を繰り返したことで、子育て支援サービスでの要望を 9 件受けることが出来ました。また、今年度も子どものアドボケイトや意見表明についての学習を委員会で取り扱い、子どもからの要望も 3 件受け付けています。

## ⑧情報管理（個人情報保護・情報開示・セキュリティ）

個人情報保護マニュアルや情報管理に関する規定の確認を行い、情報取り扱いのルールを理解と浸透に努め、日々の業務で個人情報保護への意識を高める学習を行いました。

自事業所に収まらず、他事業所の情報管理に関する事例を用いて、情報管理に関する具体的な取り組みについて学習を行いました。

### （3）総務委員会

#### ○建物・設備維持管理（保守・点検）

実施日	項目	点検の種類
4月18日	建物設備	居室内安全点検
24日	エレベーター	定期保守点検
24日	建物設備	防災設備点検
5月23日	建物設備	植木剪定消毒
17日	建物設備	定期清掃
18日	建物設備	居室内安全点検
18日	自動ドア	定期保守点検
18日	エレベーター	定期保守点検
6月15日	建物設備	居室内安全点検
20日	エレベーター	定期保守点検
7月20日	建物設備	居室内安全点検
6日	建物設備	定期清掃
19日	エレベーター	定期保守点検
8月22日	自動ドア	定期保守点検
17日	建物設備	居室内安全点検
28日	エレベーター	定期保守点検
9月12日	建物設備	定期清掃
20日	エレベーター	定期保守点検
21日	建物設備	居室内安全点検

10月5日	エレベーター	定期保守点検
19日	建物設備	居室内安全点検
11月21日	建物設備	防災設備点検
3日	建物設備	定期保守点検
24日	エレベーター	定期保守点検
16日	建物設備	居室内安全点検
12月14日	建物設備	居室内安全点検
15日	エレベーター	定期保守点検
1月16日	建物設備	定期清掃
15日	エレベーター	定期保守点検
18日	建物設備	居室内安全点検
2月9日	自動ドア	定期保守点検
15日	建物設備	居室内安全点検
22日	エレベーター	定期保守点検
27日	建物設備	排水管清掃点検
3月3日	建物設備	定期清掃
14日	建物設備	居室内安全点検
19日	エレベーター	定期保守点検

## ○修繕

今年度も利用者退所後の居室修繕整備として、畳替え、ふすまの張替え、壁、床等を行いました。玄関ロビーの下駄箱が経年劣化で故障が多発したため、修繕を行いました。

## ○保健衛生

すこやかだよりの発行を通し、利用者の健康意識の向上を図りました。施設内健康診断の結果を把握するとともに、外部での健康診断の結果についても把握を行い、必要に応じて医療機関の情報提供や通院の促しを行いました。また、感染症が発生した場合には感染症マニュアルに基づき迅速な対応を行うように心がけました。

### ① 健康管理（母親・児童・乳幼児）

月 日	内 容	参 加 人 数
4月28日	未入所時検診	1人(乳幼児1)
5月31日	未入所児健診	1人(乳幼児1)

6月6日	施設内健康診断	21人(母9・児童3・乳幼児9) ※その他の利用者は会社・保健所にて実施
6月6日	歯科検診	20人(母10・児童3・乳幼児12) ※その他の利用者は会社・保健所にて実施
6月30日	未入所児健診	2人(乳幼児2)
7月26日	未入所児健診	2人(乳幼児2)
8月30日	未入所児健診	1人(乳幼児1)
9月25日	未入所児健診	3人(乳幼児3)
10月30日	未入所児健診	3人(乳幼児3)
11月30日	施設内健康診断	29人(母12・児童3・乳幼児14) ※その他の利用者は会社・保健所にて実施
12月20日	未入所児健診	4人(乳幼児4)
1月31日	未入所児健診	4人(乳幼児4)
2月6日	歯科検診	21人(母8・児童3・乳幼児10) ※その他の利用者は会社・保健所にて実施
2月26日	未入所児健診	4人(乳幼児4)

② 乳幼児の健康管理

区 分	説 明
健 康 診 断	① のとおり 保育園にて実施 未入所児：嘱託医により実施
歯 科 検 診	① のとおり 保育園にて実施

## (4) 地域活動

### ①地域交流事業

#### ○地域交流行事

##### ○自治会活動・地域行事

地域の自治会に加入している中で、「わがまち久が原連絡協議会いしかし、個別で自治会の方々とお話するなど繋がりが切れない活動を行い、利用者の退所後の地域生活における基盤作りを継続しました。

施設	行事名	実施日	実施内容	参加者
コスモス苑	コスモスハロウィン	令和5年10月28日	地域に対しコスモス苑の運営理解や交流を目的としてハロウィン行事を行いました。地域の方にも参加できる企画内容として、仮装してのフォトコーナーやゲームコーナーを設け、大好評でした。 日ごろサポートをいただいている、地域の方へ向け、利用者母親には、コーナーのお手伝い、児童はダンス披露等で、の感謝の思いをお伝えしました。	153名
	新年お楽しみ会	令和6年1月13日	おもちつき大会（地域交流事業）→新年お楽しみ会に変更。 利用者と日本の季節感や伝統を感じられる遊びで楽しい時間を過ごしました。また、母同士で羽子板の勝負をする等、様々な形で世帯間交流が見られました。会食も再開して、職員手作りのお雑煮を食べました	35名

#### ○ボランティアの受入

今年度は、コロナ禍以前に定期的にお願ひしていた、母の会の保育ボランティア受入れを再開しました。その他にも状況に合わせて受入れを行いました。

#### ○ボランティア受け入れ状況

	コスモス苑
保育	9人
学童保育	23人
学習支援	0人
子育て支援	0人

行事	0人
子ども会	0人
クラブ	0人
その他	0人
計	32人
1か月平均	2.67人

## ②次世代育成

### ○実習生の受入

福祉施設現場を理解する福祉人材育成のため、保育コース・社会福祉コースを設けています。保育士コースは 21 校、社会福祉コースは 4 校から、実習生の受け入れを行いました。

## (5) 関係機関との連携

### ①行政機関

#### ○実施状況(回数)

	コスモス苑
入所面談	7回
退所面談	4回
定期面談	19回
サービス調整会議	12回
ネットワーク会議	0回
要保護児童	4回
配偶者等暴力	0回
関係機関行事 (入卒園式等)	4回
計	50回

## ②地域団体

### 大田区社会福祉協議会

児童贈物事業(クリスマスプレゼント)を申請し、クリスマス会の際に子どもたちにプレゼントを贈りました。また、企業からの寄贈品等を仲介していただき、「子ども虹の架け橋プロジェクト」で

は、利用者や地域の登録者の方へ多くの物資を頂きました。

### ③法人サポート組織

#### ゆうわ会

昭和 40 年代から、大洋社大森寮に協力してくださっている個人のボランティアが集まって出来た、ゆうわ会（友輪会）ボランティア団体は、二代目ゆうわ会会長の須佐知行先生（密乗院住職）が引き継ぎ、また、平成 20 年度よりはじめた施設の退所児童の受け皿として青少年健全育成の目的で、活動会員の育成を始めましたが、施設の行事や特にハイキング・夏のキャンプへの協力を頂いています。

#### 家庭福祉研究会

地域交流事業等、家庭福祉研究会会員の方達のお力添えがあって多くの施設行事を行うことができました。今後も法人を支えて下さり、ご理解して下さいの会員の方達との交流を大切にしていきたいと考えています。

月日	活動人	目的及び内容	参加人数
5月13日	座禅会	座禅・紙芝居	1人
12月23日	コスモス苑 クリスマス会	行事協力	0人
1月28日	コスモス苑 新年おたのしみ会	行事協力	0人
2月日	報告会（ゆうわ会合同 行事）	令和5年度事業計画 令和4年度事業報告 活動状況報告	9人

## (6) 施設機能強化推進事業

### ① 社会復帰等自立促進事業

#### ○心身機能低下防止研究事業

施設	実施時期	内 容
コスモス苑	令和5年 ① 10月29日 ② 12月23日	<p>ミニ運動会（地域交流事業）→ハロウィン、クリスマスお楽しみ会に変更し行いました。</p> <p>ハロウィンでは、地域の方にも参加できる企画内容として、仮装してのフォトコーナーやゲームコーナーを設け、大好評でした。</p> <p>クリスマスお楽しみ会は、利用者と職員と地域関係者の交流を目的に行いました。児童のハンドベルや、乳幼児のダンス、母たちのペープサートを披露して、楽しい時間を過ごしました。</p>
	令和5年 1月13日	<p>おもちつき大会（地域交流事業）→新年お楽しみ会に変更。</p> <p>利用者と日本の季節感や伝統を感じられる遊びで楽しい時間を過ごしました。また、母同士で羽子板の勝負をする等、様々な形で世帯間交流が見られました。会食も再開して、職員手作りのお雑煮を食べました</p>

#### ○処遇困難事例事業

施設	実施時期	内 容
コスモス苑	令和5年 11月29日	精神科医を招き、統合失調症に関する講義と事例検討を実施しました。統合失調症に関する医学的根拠に基づく学びの機会となり、客観的かつ専門的に利用者を理解する事に繋がりました。
コスモス苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	心理士による、母親・児童・乳幼児・子育ての各担当職員へのコンサルテーションを実施しました。支援の専門性向上と共に、支援者の抱える悩みや喜びを共有する機会、自己点検の機会にもなりました。また、再統合世帯の関わり方について心理士の視点から助言を頂き支援の検討を行いました。

## ○施設入所見等社会（家庭）復帰促進事業

施設	実施時期	内 容
コスモス苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	公益事業（JOY）地域児童（退所児童）、入所児童を対象に、子どもの貧困防止を目的として、体験型学習支援を実施しました。コロナ禍の5類移行後は、一緒に調理を行い、会食をしました。各種検定などのサポートもしました。
		公益事業（ママれいんぼう）母親を対象に、体験型就労支援）として、長期的な就労の安定を目指し、資格取得やスキルアップの為の学習や、職業適性検査等の就労に関するプログラムを実施しました。

## ②総合防災対策強化事業

### ○総合防災強化事業

施設	実施時期	内 容
コスモス苑	令和5年 4月 より 令和6年 3月	BCP、BCM、BCMS の学習を行い、様々な状況を想定して自衛消防訓練を行いました。より訓練を充実させるために自衛消防訓練以外にも緊急時を想定した意見交換や防災機器の確認作業を行いました。

## ii 緊急一時保護事業

施設名	大田区立コスモス苑
定数	1世帯
利用世帯	10世帯
母子	1世帯
単身	9世帯
利用総数	11人
大人	10人
子ども	1人
滞在延べ日数	105日
対象	緊急に保護を要する母子または単身女性に対し、 適当な施設に入所させる事が出来ない場合、一時的に入所させ必要な保護、相談および支援を行い、応急的支援を図ります。
利用条件	○利用期間 概ね2週間(14日) ○利用料金 無料

### I 総括

住宅困窮や夫または親族による暴力から避難する単身女性や世帯の受け入れを行いました。心身ともに安心して過ごすことができるよう、環境を整備し、傾聴や寄り添いを意識した関わりを行いました。また、必要に応じて行政機関へ情報共有をし、退所に向けた支援を行いました。

#### (重点事項実施状況)

##### ・緊急対応の確保

関係機関と連携し、正確に利用者の状況を把握するとともに、利用者が安心して過ごせるように事前に居室内の整備や清掃、備品の準備を行いました。

##### ・安全で安心な場の提供

不安などを感じている利用者に対して、声掛けやお話の傾聴をすることで安心感を得られるよう配慮しました。

## 2 良質なサービスの提供（支援状況）

緊急一時保護入所理由は「住宅困窮」「夫・家族からの暴力」等でした。利用者の安全・安心を念頭に置きながら日々の生活を見守りました。必要に応じて利用者の気持ちに寄り添い、傾聴する等の支援を行いました。

### 利用状況

区分	項目	コスモス苑
世帯	単身	9世帯
	家族	1世帯
	合計	10世帯
人数	大人	10人
	子ども	1人
	合計	11人
滞在延日数		105日

### 入所状況

区分	項目	コスモス苑
入所理由	夫からの暴力	1世帯
	その他家族からの暴力	6世帯
	借金	0世帯
	失業	0世帯
	住宅困窮	3世帯
	その他	0世帯
	計	10世帯
入所前の居所	自宅	8世帯
	親せき宅	1世帯
	友人宅	0世帯
	宿泊所	0世帯
	社会福祉施設	0世帯
	その他	1世帯
	計	10世帯

## 退所状況

区分	項目	コスモス苑
退所先	自宅	1世帯
	親せき宅	0世帯
	母子生活支援施設	2世帯
	他社会福祉施設	6世帯
	アパート	0世帯
	その他	1世帯
	計	10世帯

### iii 子育て短期支援事業 (第2種社会福祉事業)

#### 【事業概要】

施設名	大田区立コスモス苑	
事業開始	平成19年4月1日	
ショート ステイ	定員	3人
	延べ	449人
トワイライト ステイ	定員	5人
	延べ	292人
休日 デイ	定員	5人
	延べ	147人
対象者	大田区内在住 2歳以上15歳(中学生)以下	

## 1 総括

今年度の子育て短期支援事業では、「育児疲れ」の要件が最も多く全体の約半数を占め、次いで「残業等」の利用が多く見られました。また、出張や冠婚葬祭といった要件の利用が増加したのは、コロナウイルスが5類に移行され、以前と同様に実施されるようになったことが一因と思われます。

利用者に対する丁寧なサービス説明や対応を行い、安心して利用出来るよう努めました。

### （重点事項実施状況）

利用者に対する丁寧な対応や安心・安全に配慮した支援を行いました。アレルギー食対応など、子どもの特性・発達・宗教、家庭の思想などに配慮をした保育を提供しました。

当事業所のサービス利用者の傾向を考慮に入れ、「育児疲れ」を要件とした定期的な利用の増加に伴い、保護者が来所された際の声掛けの方法や、子どもの様子に関する専門的視点を踏まえた伝え方など、保護者対応の学習・実践に取り組みました。

## 2 良質なサービスの提供

### （1）サービス内容

- ①食事の提供および身の回りの世話
- ②学習の援助および遊びの指導
- ③通園または通学の援助
- ④その他

### （2）利用状況

#### ①利用の要件

「残業等」や「出張」の要件が昨年度より増加しました。休日デイに於いては「育児疲れ」で利用が習慣化している家庭の利用及び直前でのキャンセルが多くありました。また、土日でのショートステイ利用も多くありました。

## ②利用状況

今年度、ショートステイでは117%、トワイライトステイでは130%、延べ利用件数が増加しました。また、ショートステイにおいては、週末に利用が集中する傾向にありました。休日デイでは「育児疲れ」で利用が習慣化している家庭の利用がある一方で、直前でのキャンセルが多くありました。

## ○利用児童の傾向

ショートステイや休日デイでは、「育児疲れ」の要件で、定期的に利用する未就学児が多くいました。また、特性の見られる児童が大田区子ども家庭支援センターや児童相談所、スクールソーシャルワーカー等の紹介を受けて新規の登録を行い、定期利用に繋がるケースもありました。

## ○家庭状況

母子世帯の母親は疾病を抱えている方が多く、育児への疲弊も見られた為、複数の関係機関と繋がりながら育児の負担軽減に努めました。必要に応じて子ども家庭支援センターの担当者と情報共有を行いました。ショートステイは母子世帯の利用が多く、他のサービスは二人親世帯の利用が多くありました。

利用要件別利用人数（ショートステイ）

	コスモス苑
残業等	74人
出張	34人
出産	4人
疾病	0人
入院	38人
公的行事	8人
冠婚葬祭	35人
介護	0人
その他	256人
計	449人

利用要件別利用人数(トワイライトステイ)

	コスモス苑
残業等	176人
出張	1人
出産	0人
疾病	18人
入院	0人
看護	0人
冠婚葬祭	2人
介護	0人
その他	95人
計	292人

利用要件別利用人数(休日デイサービス)

	コスモス苑
残業等	48人
出張	0人
出産	0人
疾病	0人
入院	0人
看護	0人
冠婚葬祭	2人
介護	0人
その他	97人
計	147人

## 家庭状況

		コスモス苑
ステイ ショート	父母世帯	209人
	母子世帯	230人
	父子世帯	10人
	計	449人
ステイ トワイライト	父母世帯	174人
	母子世帯	118人
	父子世帯	0人
	計	292人
サービス 休日デイ	父母世帯	107人
	母子世帯	40人
	父子世帯	0人
	計	147人
延べ数		888人

## 行事の実施状況

	コスモス苑
4月	さくら製作
5月	こいのぼり製作
6月	かたつむり製作
7月	ひまわり製作
8月	すいか製作
9月	栗製作
10月	きのこ製作
11月	ぶどう製作
12月	雪だるま製作
1月	鏡餅製作
2月	ハートのチョコレート 製作
3月	たんぼぼ製作

## IV 母子一体型ショートケア事業

施設名	大田区立コスモス苑
定数	1世帯
利用世帯	2世帯
利用総数	4人
大人	2人
子ども	2人
滞在延べ日数	312日
対象	生活基盤が脆弱であったり、産前産後において、安全安心の確保が難しい妊婦及び生後6か月未満の乳児
利用条件	○利用時間 概ね1週間(7日) (行政判断で延長可) ○利用料金 無料

### (1) 総括

母子一体型ショートケア事業は特定妊婦2世帯(述べ4名)の利用がありました。入所理由は「住宅困難」「出産後の育児不安」でした。安定した住環境の提供を行いながら、出産準備や通院同行、産後は授乳、沐浴等の育児補助や、心理相談によるメンタルケアを行いました。入所前から関係機関との連携を行い、支援計画に基づいた支援を行いました。

#### (重点事項実施状況)

##### ・緊急対応の確保

子ども家庭支援センターと利用者状況の共有を行い、緊急時の対応が適切に行えるように体制を整えました。特に新生児に関しては色々なリスクを想定し、こまめな安否確認の体制を構築して対応しました。

##### ・安全で安心な場の提供

居室環境を整え、利用者のニーズに合わせて支援計画を立て、同意を得る中で、食事提供、育児支援、生活支援、心理支援等を行いました。

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)

至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

練馬区立母子生活支援施設

## Ⅱ 事業別サービス実施報告

### i 母子生活支援施設 (第1種社会福祉事業)

#### 練馬区立母子生活支援施設

##### 【事業概要】

施設名	練馬区立 母子生活支援施設	
事業開始	平成10年4月1日	
事業内容	18歳未満の子どもを養育している母子家庭、または何らかの事情で離婚の届出ができないなど、母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。 緊急一時保護事業(1世帯)、子育て支援事業を付帯事業で行っています。	
世帯数	20世帯	
入退所	入所世帯	8世帯
	退所世帯	6世帯
	平均世帯構成	2.5人
	母親平均年齢	33歳
	平均在籍年数	14月
建物状況	構造	鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 地上3階建,796.98㎡
	内訳	母子室20室 緊急一時室1室・シャワー室 事務室・医務室・相談室・静養室・ 宿直室・警備員室・保育室・多目的室・ プレイルーム・オープンスペース・学習室・学童室・ 談話コーナー・和室

# 1 総括

乳幼児を抱える世帯では 0 歳児の入所が多く、日々の親子への働きかけの中で養育不安の軽減を図り、育児支援を行いました。学齢児の入所も増え、こどもと母の意見を聞き取りしながら学童保育・学習会を実施しました。母子関係調整および学校関係調整を含む登校支援や心理支援などの個別対応を行いました。

コロナ禍で縮小していた行事は、感染症に留意しながらも徐々に本来の形に戻すことができました。

## （重点事項実施状況）

指定管理 5 年目の年であり、次期に向けて自治体と連携しながら事業の展開を検討しました。アフターケアでは、食支援として子ども虹の架け橋プロジェクトを軌道にのせ、退所後も相談できる場、つながり続けられる場となることができました。公益的取り組みとしては、ねりま社会福祉法人等のネットにて他法人と連携した事業を行いました。地域との連携においては、防犯パトロールをはじめ、地元町会の活動に積極的に参加し、感謝状を受賞しました。

# 2 良質なサービスの提供

## （1）利用者状況

入所理由は、住宅困窮、生活環境不良等でした。令和 5 年度も広域利用で他区からの受入れが 1 世帯ありました。また、慈愛寮からの入所が 3 世帯ありました。利用期間に関しては、新入学等各世帯の節目を考えながら退所時期を一緒に考えていきました。感染症対策を継続しながらも、行事や日々の関りの中で利用者同士、利用者と職員の交流がより活発になりました。

## （2）自立支援への取り組み

### ①母親支援

入所面談を通して本人の意向を確認し支援を行いました。日々の対話を通して信頼関係の構築に努めました。関係機関と連携し、利用者状況や支援の方向性を共有し、役割を決めながら支援を行いました。職員同士も日々の利用者状況を共有し、迅速かつ専門性を活かした支援を行いました。

## （子育て支援）

乳幼児世帯に対しては、こどもの成長発達について母親と共有し、こどもにあわせた離乳食の進め方や体調管理についてアドバイスを行いました。母やきょうだいの体調不良の世帯には送迎を伴う補助保育を行いました。発達に課題があるこどもにはこども発達支援センターや保健相談所へ同行し、こどもの成長をサポートしました。

学齢児の母親には、個々の状況に合わせて学童保育、学習支援、登校支援、関係機関との連絡調整を行いました。

## （親子支援）

養育不安や育児疲れがみられる世帯にレスパイトの為の補助保育を行い母子関係調整を行いました。また、こどもと母と一緒に楽しむことを目的とした行事を行い、親子の時間も大切にできる支援を行いました。高齢児世帯においては、こどもと母に話をきき、親子関係が安定するよう支援しました。

## （生活支援）

日々の荷物の運搬介助や低月齢時を居室まで連れて行く介助、ベビーカーの運搬介助等を継続して行いました。日々健康状態を丁寧に把握し、感染症に罹患した世帯に対し、医療機関の情報提供を行い職員が代わって買物やゴミ捨てを行いました。居室の環境整備が困難な世帯には、清掃介助を行いました。日本語を母語としない世帯へは書類記入や各種手続きのサポートを行いました。

## （その他の支援・夫関係等）

こどもと父親の交流がある世帯に対して、継続的な見守りや面会交流のサポートを行いました。離婚手続きのサポートとして、DV世帯の裁判所への同行を行い福祉事務所と情報共有しながら安全面に配慮しました。

## （就労支援）

面談で就労の意向を確認し、履歴書の記入方法や就労面接についてアドバイスしました。母の状況に応じて就労開始時期を一緒に考え、生活や育児とバランスを取って仕事に就けるよう支援しました。

求人情報の提供や育児休業からの仕事復帰をサポートしました。また、就労世帯へは、補助保育や病後児保育を行う事で、安定して仕事を継続できるよう支援しました。

## 入所状況

	練馬
住宅困窮	3世帯
生活困難	0世帯
夫の暴力等	1世帯
生活環境の不良	1世帯
その他	3世帯
計	8世帯

## 退所状況

	練馬
公営住宅入居	1世帯
民間住宅入居	5世帯
他福祉施設	0世帯
実家	0世帯
その他	0世帯
計	6世帯

## 母親支援状況

	練馬
子育て支援	2,282件
就労支援	454件
生活支援	4,973件
夫等との関係調整	27件
家族等との関係調整	88件
他機関との関係調整	279件
その他の対人関係	37件
入退所時の支援	152件
上記に含まれない支援	1,508件
計	9,800件

## 世帯状況

		練馬
世帯	平均世帯人数	2.5人
	母親平均年齢	33歳
	子ども平均年齢	5.5歳
令和5年度退所世帯平均在籍年数		14月
令和5年度平均充足率		48.8%

## 生活保護受給状況(令和6年3月31日)

受給の有無		練馬	
無		6人	
有	一部	2人	4人
	全部	2人	
合計		10人	

## 雇用形態(令和6年3月31日)

		練馬	
就労	正社員	1人	7人
	パート・アルバイト	6人	
未就労	職業訓練校	0人	3人
	未就労	3人	
合計		10人	

## 職種(令和6年3月31日)

	練馬
専門・技術	0人
事務	2人
販売	0人
軽作業	0人
サービス	1人
その他	4人
合計	7人

## ②児童支援

令和5年度の入所児童状況は、延べ人数62名で月平均人数は5.16名でした。親子関係再構築を目標に、家族との関係性を深める支援を行いました。自立目標を児童自身が考えることを大切にし、家族との関係について「喧嘩を減らしたい」「お手伝いをしたい」などの目標がきかれ、きょうだい喧嘩を減らしたい児童には別々の活動をする時間を提案し、お手伝いをしたい児童には学童保育でお手伝いの体験を設けるなど、児童が家族を思う気持ちに沿った支援を行いました。

### （学童保育）

家族以外の人とも触れ合い関係を築く場となることと、学習習慣の定着を大切に学童保育を行いました。学習支援では入室したら宿題をする、宿題がない日は苦手科目などの補強を行う、自分で間違いを直す、ということが定着するよう支援しました。学習以外の時間では児童の自由な発想を伸ばすことを意識し、児童の提案を取り入れた活動を行いました。また時間を意識して行動できるよう、ホワイトボードにタイムスケジュールを記入して視覚化しました。

### （児童・補助保育）

母の就労や試験などの間、留守番に不安のある児童に対しては、見守り支援を行いました。病児に対しては、体調を確認しながら療養を促す支援を行いました。いずれも居室で過ごす児童を定期的に職員が訪室し、様子の確認と必要な支援を行いました。

### （子ども会活動・児童健全育成活動）

こども会入会式、座禅会、キャンプ集会、林間保育、ハイキングを実施しました。コロナ禍で中止していた林間保育を再開し、親元を離れての宿泊体験は児童の成長の機会となりました。子ども会での他施設の児童や退所児童との活動を通して、これまでと違った視点でものごとを捉える様子も見られました。

### （児童会）

児童の健全な発達を目的として、手指を使う制作活動、調理、なかよし新聞の音読を行いました。制作活動では児童の自由な発想を取り込み、ユニークな作品が制作されました。調理では衛生面の意識を高められるよう声かけを行いながら安全面に配慮しながら包丁や火を使った調理も体験する機会となりました。

## （施設行事）

誕生会では会食を再開することができ、児童の食事の様子を職員が把握する機会になるとともに異年齢の交流を深めるなかで、年上の児童の活躍も見られました。防災訓練では施設での避難方法を知ることにより、防災の意識を高めることが出来ました。

## （児童・個別支援）

個別支援として定期面談、プレイセラピー、登下校時等日々の声かけ・働きかけを行いました。職員と児童との信頼関係構築に重きを置き、職員から積極的にアプローチを試みる中で、コミュニケーションが苦手な児童の様子を把握することができ、次年度の課題にもつながりました。

## （学習支援）

学習会とびーのびーの教室では、苦手な問題に取り組む姿勢を育み、間違いに自ら気づきどう改善したらよいか考えられるよう支援を行いました。また長時間の集中が難しい児童に対して、短時間集中し短い休憩をはさむ工夫を行い、課題に最後まで取り組むという経験を積み重ねました。

### 児童支援状況

		練馬
令5年度 延在籍数	学童保育	14人
支援 延 人数	学童保育	91人
	（地域児童）	(0人)
	補助保育	9人
	学習指導	267人
	学習会 （個別）	146人
	児童会	33人
	誕生会	32人
	その他行事	85人
	計	663人

### 子ども会実施状況

月日	活動名	目的及び内容	参加人数
5月13日	子ども会 合同入会式	他施設との親睦を深め、子ども会活動の意識を高める。	2名
6月17日	座禅会	他施設との親睦を深め、子ども会活動の意識を高める。	5名

7月15日	キャンプ集会	他施設との親睦を深め、子ども会活動の意識を高める。	7名
8月1日 ～8月2日	林間保育	自然とのふれ合いを通して自然の尊さや強さを体感するとともに、他者とのコミュニケーションや生活スキルについて学ぶ。また夏の子ども会活動として楽しい思い出を作る。	3名
2月3日	子ども会 ハイキング	他施設との交流を深める。身近な科学の原理から応用までさまざまな展示を見て、その不思議を体感する。	8名

### ③乳幼児支援

0歳児の未入所児保育を開始するにあたっては、離乳食の進み具合の聞き取りを行い、こどもの成長に合わせた支援を行いました。補助保育では、母の休養を目的とした定期的な受入れを行いました。リフレッシュ保育は、コロナ禍では少人数での分散実施としていましたが、従来の形で実施することができました。

#### （未入所児保育）

今年度は2名を受け入れました。2歳児1名は、母の就労継続にあたり、5月中旬より母の就労日に受け入れました。0歳児1名は、母の就労活動に伴い7月より週2日のペースで受け入れました。いずれも保育園への入所が決まるまでの期間、保育を実施しました。

#### （乳幼児・補助保育）

補助保育受け入れの主な理由は、母の通院、母やきょうだいの体調不良、施設内カウンセリングでした。また、今年度は子育てへの疲れによる母からの補助保育相談も多く、母の休養のための受け入れが増えました。

#### （病後児保育）

新型コロナウイルスが5類になったことから、以前の受け入れ体制に戻すことができました。冬頃からはインフルエンザも流行ったため、保育中の体調や加湿・換気など保育環境にも留意して保育を行いました。

#### （誕生会）

今年度は、新型コロナウイルスの流行が落ち着いたことにより、従来のように乳幼児と児童が

集合して会食をすることができました。会食を通して、子ども同士の関係性や喫食状況を確認することもできました。

### 乳幼児支援状況

		練馬
未入所児保育		16人
補助保育	日中保育	199人
	(内 緊急)	(20人)
	時間外保育	85人
	(内 緊急)	(21人)
	日曜祝日保育	22人
	(内 緊急)	(0人)
計		306人
病後児保育		17人
(内 緊急)		(0人)
誕生会		98人
保育延数		437人

### 乳幼児保育入園状況

		練馬
令和5年度 延在籍数 (月平均)	未入所(未就園)児	0.5人
	未入所児保育	0.17人
保育園 入所状況 (月平均)	男	6人
	女	3.8人
保育園 入所者内訳 (令和6年3月31日)	私立保育園	8人
	公立保育園	0人
	認証保育園	0人
	幼稚園	1人
	計	9人

## ④アフターケア

退所後も継続的に電話でのカウンセリングや状況確認を行い、退所者をサポートしました。退所後にレスパイトとして定期的にショートステイを利用している世帯も複数あり、ショートステイ申込み時の母からの聞き取りや利用中のこどもの様子の把握や聞き取りを通して母子関係調整に努めました。「子ども虹の架け橋プロジェクト」が定着化し、食支援を通して連絡時や受け渡し時に近況を聞き取り、様子を把握し、必要な支援に繋がりました。行事への声かけや季節の便りを通して、遠方への退所者も含めた支援を行いました。

### （相談支援）

退所者の相談を来所や電話にて随時受け付けました。家族関係や体調、仕事、生活、子どもの発達や就学に関する相談がありました。関東圏外の遠方からの電話相談もありました。心理相談の継続的な利用もあり、職員間で連携しながら関わりました。育児疲れでの子育てサービス利用者も多く、保護者の不安に寄り添いつつ地域で安心して生活できるように支援を行いました。

退所後も電話連絡や来所の際に退所者の近況について確認し、必要に応じて家庭訪問を行い、母子関係調整や生活の見守りを行いました。

### （施設行事招待）

秋祭りを実施し、退所者を招待しました。多くの親子が参加し、楽しい時間を共有することが出来ました。退所者同士の交流もみられ、退所者からは「次の機会にも声をかけて欲しい」との声が聞かれました。

### アフターケア

		練馬
母親	電話	89人
	来所	26人
	訪問	1人
	心理相談	70人
	その他行事	11人
子ども	学童保育	0人
	学習会	116人
	子ども会	27人
	心理相談	13人
	その他行事	30人
計		383人

## ⑤心理

母親への心理支援では、虐待やDVの体験による心的外傷を抱えている利用者への継続的な心理支援によって精神の安定を図るよう努めました。利用者の状況について各担当職員と情報共有し、連携して支援にあたりました。

児童・幼児への心理支援では、プレイセラピーを中心に、安心・安全に自己を表現できる場を提供しました。

### 心理支援利用状況

		練馬
母親	心理療法	84人
	心理検査	3人
	生活場面面接	299人
	施設職員等への助言・指導	19人
	支援検討会議への出席	56人
	クラブ等グループワーク	1人
	SST	0人
	その他(同行など)	27人
	アフターケア	137人
子ども	心理療法	47人
	心理検査	1人
	生活場面面接	165人
	施設職員への助言・指導	18人
	支援検討会への出席	89人
	クラブ等グループワーク	0人
	SST	0人
	その他(同行など)	80人
	アフターケア	89人
計		1,115人

## ⑥危機管理（事故・災害等）

アクシデント13件、インシデント31件の報告がありました。アクシデントは、ショートステイ利用者の荷物の渡し忘れ等職員要因のものが多くありました。荷物の取り扱いについては昨年度も課題となっていました。さらなる対策を立て再発防止に取り組みました。さすまたを使った防犯訓練を行い不審者対応ができるよう警察署から指導を受けました。

### ○災害対策（防災訓練）

実施日 時間	訓練内容						場所/実施方法	参加人数
	初期 消火	通報	避難	総合	BCP	そ の 他		
4月18日 15:00 ~ 15:35	○	○	○	○		○	施設内/火災発生を想定した 訓練 防災教育	利用者 8人 職員 11人
5月18日 15:00 ~ 15:35	○	○	○	○		○	施設内/火災発生を想定した 訓練 避難梯子の訓練	利用者 10人 職員 9人
6月15日 16:15 ~ 16:30	○		○		○		風水害による浸水を想定した 訓練（BCP） 初期消火訓練	利用者 10人 職員 7人
7月20日 15:15 ~ 15:45	○	○	○		○		地震による大規模災害を想定 した訓練 初期消火訓練 通報訓練 BCP机上訓練	利用者 3人 職員 8人
8月23日 17:00 ~ 17:14	○	○	○	○		○	施設内/火災発生を想定した 訓練（不審火を想定）	利用者 1人 職員 4人
9月1日 14:15 ~ 16:30	○		○		○	○	大規模災害（地震）を想定し た訓練 BCP訓練 初期消火訓練 災害用伝言ダイヤル訓練	利用者 7人 職員 8人
10月31日 15:30 ~ 15:45	○	○	○			○	施設内/ガス漏れを想定した 訓練 初期消火訓練	利用者 2人 職員 8人

11月16日 14:15 ~ 14:55	○	○	○	○	○	施設内/火災発生を想定した訓練 起震車体験(豊玉学童クラブ合同) 避難梯子の訓練	利用者10人 職員11人
11月27日 14:30 ~ 14:50							利用者0人 職員3人
12月17日 16:30 ~ 16:50	○	○	○	○	○	施設内/火災発生を想定した訓練 夜間想定訓練	利用者10人 職員5人 その他1人
1月16日 15:30 ~ 16:00	○	○	○	○		地震を想定した訓練 豊玉学童クラブと合同訓練	利用者6人 職員7人
2月28日 15:00 ~ 16:00	○	○	○	○	○	施設内/火災発生を想定した訓練 消防署員による応急救護訓練	利用者3人 職員6人 その他0人
3月10日 11:15 ~ 11:30	○	○	○	○		施設内/地震・火災発生を想定した訓練 休日訓練	利用者13人 職員7人 その他1人

## ⑦要望等解決(苦情解決)

令和4年度は相談が5件、要望が7件、苦情が4件ありました。

令和5年度は相談が4件、要望が14件、苦情が10件ありました。保育に関することなど具体的な支援内容についての要望がきかれました。また居室の不具合についての相談も多く、早急な対応を心がけ必要に応じて修繕を行いました。

## ⑧情報管理(個人情報保護・情報開示・セキュリティ)

全職員が個人情報の重要性を理解するため、マニュアルを通して適切な管理と、保護について意識の向上を図りました。感染症の影響によりオンラインでの会議や研修が増えたこともあり、オンライン特有の注意点などについても理解を深めました。新たな取組として、利用開始時の個人情報の取り扱いについて説明と同意についての学習を行いました。また、外部からの問い合わせに対する受け答え方法については、ロールプレイングを行うなど、実践的な方法で理解を深めました。情報セキュリティ教材の読み合わせや、穴埋め問題を利用して理解度の確認をしました。

## (3) 総務委員会

### ○建物・設備維持管理(保守・点検)

実施日	項目	点検の種類
4月11日 11日	電気設備 建物設備	自家用電気工作物点検 自主点検

26日	建物設備	居室内安全点検
5月19日 25日	消防設備 建物設備	消防設備点検 居室内安全点検
6月05日 13日 23日	電気設備 自動扉 建物設備	自家用電気工作物点検 定期保守点検 居室内安全点検
7月10日 14日 26日	水質検査 建物設備 建物設備	定期保守点検 居室内安全点検 自主点検
8月16日 23日 25日	電気設備 空気環境測定 建物設備	自家用電気工作物点検 定期保守点検 居室内安全点検
9月08日 12日 16日	建物設備 自動扉 建物設備	建築設備点検 定期保守点検 居室内安全点検
10月10日 13日 13日	建物設備 電気設備 建物設備	居室内安全点検 自主点検 自家用電気工作物点検
11月09日 27日	建物設備 消防設備	居室内安全点検 法定点検
12月06日 07日 22日	自動扉 建物設備 電気設備	定期保守点検 居室内安全点検 自家用電気工作物点検
1月09日 13日	建物設備 建物設備	居室内安全点検 自主点検
2月7日 13日 20日	電気設備 建物設備 空気環境測定	自家用電気工作物点検 居室内安全点検 定期保守点検
3月12日 22日	建築設備 自動扉	居室内安全点検 定期保守点検

## ○修繕

各居室や共用部分に年数経過による修繕箇所が複数みられました。取替期限となったガスメーターやガス漏れ検知器、自動ドアの部品の交換等を行いました。また、外壁排気口清掃(57カ所)も行いました。他には保育室・プレイルームの壁面防音工事やショート室のキッチン柵取り付け工事、浴室カーテンレール交換、ドア鍵取り付け、室内物干し取付を行いました。

## ○保健衛生

すこやかだよりの発行を通し、利用者の健康意識の向上を図りました。毎月の嘱託医による健康相談、10月と2月に歯科検診を行いました。健康診断の結果を把握するとともに、必要に応じて医療機関の情報提供や通院の促しを行いました。また、感染症が発生した時には感染症マニュアルに基づき迅速な対応を行い、事業所内で感染症が発生した事を知らせるポスターを貼り出し利用者へ周知することで感染防止を図りました。

① 健康管理（母親・児童・乳幼児）

月日	内容	参加人数
4月12日	施設内健康診断	20人(母親7・児童4・乳幼児9)
5月10日	施設内健康診断	20人(母親7・児童4・乳幼児9)
6月21日	施設内健康診断	16人(母親7・児童2・乳幼児7)
7月27日 ~8月17日	前期健康診断	6人(母親) ※その他の利用者は職場で実施。
7月12日	施設内健康診断	15人(母親6・児童2・乳幼児7)
8月9日	施設内健康診断	13人(母親5・児童2・乳幼児4)
9月13日	施設内健康診断	17人(母親7・児童2・乳幼児8)
10月11日	施設内健康診断	16人(母親6・児童2・乳幼児8)
10月2日	歯科健診(1回目)	22人(母親9・児童3・乳幼児10)
11月8日	施設内健康診断	23人(母親9・児童5・乳幼児9)
12月13日	施設内健康診断	20人(母親7・児童8・乳幼児5)
1月10日	施設内健康診断	23人(母親9・児童5・乳幼児9)
3月12日 ~3月29日	後期健康診断	9人(母親) ※その他の利用者は職場で実施。
2月14日	施設内健康診断	18人(母親6・児童5・乳幼児7)
2月21日	歯科健診(2回目)	15人(母6・児童2・乳幼児7)
3月13日	施設内健康診断	13人(母親4・児童4・乳幼児5)

② 乳幼児の健康管理

乳幼児の健康管理	
区分	説明
健康診断	① のとおり 保育園にて実施 未入所児：嘱託医により実施 または各病院で実施
歯科健診	① のとおり 保育園にて実施

## (4) 地域活動

### ①地域交流事業

#### ○地域交流行事

##### ○自治会活動・地域行事

施設は地域の自治会に加入し、交流を深めています。今年度は新型コロナウイルスも落ち着き地域行事も再開したため、参加する機会が多くなりました。また、陽だまり祭りにも地域の方を招くことができました。

施設	行事名	実施日	実施内容	参加者
■	■ 祭り	令和5年 10月28日	今年度の■祭りは、感染症流行の動向に注視しながら、秋祭りとして10月に開催しました。従来の規模での実施は見送ることとなりましたが、利用者、退所者、そしてお世話になっている関係機関、町会の皆様を招いて行いました。ハロウィンをイメージした出し物やフォトスポットを用意し、保育室とオープンスペースを飲食スペースとして交流を深めました。	58人

#### ○ボランティアの受入

今年度も、新型コロナウイルス蔓延防止のため、各事業へのボランティアの受入れを中止することが多くありましたが、状況に合わせて受け入れを行いました。

#### ○ボランティア受け入れ状況

	練馬
保育	0人
学童保育	0人
学習支援	0人
子育て支援	0人
行事	15人
子ども会	0人
クラブ	0人
その他	0人
計	16人
1か月平均	1.33人

## ②次世代育成

### ○実習生の受入

今年度も、積極的に実習性を受け入れ福祉人材育成を行いました。  
保育士コースは15校から、社会福祉士コースは4校からを受け入れました。

## (5) 関係機関との連携

### ①行政機関

#### ○実施状況(回数)

	練馬
入所面談	8回
退所面談	6回
定期面談	11回
サービス調整会議	11回
ネットワーク会議	9回
要保護児童	5回
配偶者等暴力	2回
関係機関行事 (入卒園式等)	1回
計	53回

## ②地域団体

### 練馬区ひとり親福祉連合会

8月5日(土)に、東京練馬ライオンズクラブ主催のデイキャンプにご招待いただき、練馬区ひとり親福祉連合会との交流を深めました。当日は3世帯がアメリカキャンプ村にてデイキャンプを楽しみました。参加した世帯からは練馬区ひとり親福祉連合会への加入の相談があり案内することが出来ました。

## (6) 施設機能強化推進事業

### ① 社会復帰等自立促進事業

#### ○ 心身機能低下防止研究事業

施設	実施時期	内容
■■■■■	令和5年4月 より 令和6年3月	<p>今年度の■■■■■祭りは、感染症流行の動向に注視しながら、秋祭りとして10月に開催しました。従来の規模での実施は見送ることとなりましたが、利用者、退所者、そしてお世話になっている関係機関、町会の皆様を招いて行いました。ハロウィンをイメージした出し物やフォトスポットを用意し、保育室とオープンスペースを飲食スペースとして交流を深めました。(58名参加)</p> <p>ベビーマッサージ</p> <p>地域交流活動として、地域で子育てをしている世帯へ交流の場を設け親子でスキンシップをとり、親子関係を深めることを目的として外部講師を招いてベビーマッサージを教室を開催しました。子の体調不良でキャンセルが出ることもありましたが、ほぼ毎回満員となり好評でした。リピーターも多く終了後も参加者同士で談笑する様子が見られました。</p>

#### ○ 処遇困難事例研究事業

施設	実施期間	内容
■■■■■	令和5年 8月7日 12月13日 令和6年 1月18日	精神科医、臨床心理士を招いて事例検討をしました。また、講師から精神や心理分野についての知識のレクチャーも受け、支援技術の体得につながりました。入所世帯の事例を取り上げ、本質的な理解とそれらに対する対応について学習しました。

### ○施設入所見等社会（家庭）復帰促進事業

施設	実施期間	内容
■■■■■	令和5年4月 より 令和6年3月	入所者同士、退所者との交流の場を設け、外部講師を交えた会話や音楽を通して社会性の向上を図りました。

### ②専門機能強化事業

#### ○養育機能等強化事業

施設	実施時期	内容
■■■■■	令和5年4月 より 令和6年3月	外部講師を招いての退所者のグループワークを通して、養育や課題解決の力を向上させました。

### ③総合防災対策強化事業

#### ○総合防災強化事業

施設	実施時期	内容
■■■■■	令和5年4月 より 令和6年3月	食品、飲料を中心に計画的に備蓄を行いました。防災食に関しては、低年齢児やアレルギーに配慮した防災食のストックも行いました。

## ii 緊急一時保護事業

施設名	練馬区立母子生活支援施設
定数	1世帯
利用世帯	12世帯
母子	7世帯
单身	5世帯
利用総数	22人
大人	12人
子ども	10人
滞在延べ日数	267日
対象	緊急に保護を要する母子または单身女性に対し、 適当な施設に入所させる事が出来ない場合、一時的に入所させ必要な保護、相談および支援を行い、 応急的支援を図ります。
利用条件	○利用期間 概ね2週間(14日) ○利用料金 無料

### I 総括

緊急一時保護事業は、单身者よりも母子世帯の利用が多くありました。また、手続きの都合により1か月以上の利用もありました。緊急一時保護利用後、母子生活支援施設入所につながった母子世帯もありました。

#### (重点事項実施状況)

##### ・緊急対応の確保

関係機関と連携して正確に利用者状況を共有し、適切な対応ができるよう努めました。迅速に緊急対応できるように常に居室内の整備や清掃、備品の準備を行いました。

##### ・安全で安心な場の提供

利用者の安全を確保し、安心して過ごすことができるよう関係機関との連携を図り情報共有しながら職員間で対応を統一して支援しました。

## 2 良質なサービスの提供（支援状況）

入所理由では、「夫の暴力」、「住宅困窮」が多く、その他「その他の家族の暴力」、「住宅環境不良（火災）」、「交際相手の暴力」、「知人とのトラブル」がありました。受入れに際しては、安心して入所できるよう居室の清掃や整備を行い、心身の安定を図れる環境整備に努めました。

### 利用状況

区分	項目	練馬
世帯	単身	5世帯
	家族	7世帯
	合計	12世帯
人数	大人	12人
	子ども	10人
	合計	22人
滞在延日数		267日

### 入所状況

区分	項目	練馬
入所理由	夫からの暴力	4世帯
	その他家族からの暴力	1世帯
	借金	0世帯
	失業	0世帯
	住宅困窮	4世帯
	その他	3世帯
	計	12世帯
入所前の居所	自宅	7世帯
	親せき宅	1世帯
	友人宅	2世帯
	宿泊所	0世帯
	社会福祉施設	0世帯
	その他	2世帯
	計	12世帯

## 退所状況

区分	項目	練馬
退所先	自宅	1世帯
	親せき宅	1世帯
	母子生活支援施設	0世帯
	他社会福祉施設	6世帯
	アパート	1世帯
	その他	3世帯
	計	12世帯

### iii 子育て短期支援事業 (第2種社会福祉事業)

#### 【事業概要】

施設名		■■■■■
事業開始		平成10年11月1日
ショート ステイ	定員	5人
	延べ	1,016人 (内要支援323人)
トワイライト ステイ	定員	
	延べ	
休日 デイ	定員	
	延べ	
対象者		練馬区内在住 2歳以上12歳 (小学生)以下

## 1 総括

今年度の子育て短期支援事業は、継続世帯、新規世帯ともに「レスパイト」要件での利用が多くありました。特に 11 月以降の利用日数は昨年度と比べ増加傾向にあり、週末に利用が集中してありました。要支援ショートステイにおいても、昨年度からの継続世帯に加えて新規利用のケースが増え、利用日数は増加しました。

要支援ショートステイを含め、背景を異にする児童の生活の丁寧なケアと保護者への支援、利用による家族間の関係調整に努めました。

### （重点事項実施状況）

様々な背景から利用する児童・保護者に対して、関係機関と連携を保ちながら支援を行いました。要支援ショートステイにおいては保護者や子ども家庭支援センターとの連携を密にとり、利用目的や支援の方向性について都度確認を行いました。

日常の支援では、毎月の██████クラブを通じて日本の伝統文化に触れるなど、こどもが安定した環境を基盤に豊かな体験を得られるような機会を設けました。

## 2 良質なサービスの提供

### （1）サービス内容

- ①食事の提供および身の回りの世話
- ②学習の援助および遊びの指導
- ③通園または通学の援助
- ④その他

### （2）利用状況

#### ①利用の要件

「疾病」や「レスパイト」を要件とする世帯は、毎月複数回の利用があるケースが多く、利用日数の増加につながりました。また、母子世帯における「出張」や「夜間勤務」での利用も定期的に行いまし

た。「その他」に分類されるものとして、昨年度に引き続き「虐待防止」や「生活リズム構築」のための利用がありました。

## ②利用状況

昨年度に引き続き、ショートステイ・要支援ショートステイともに利用は増加傾向で要支援は120%の件数増加がありました。11月以降は特に件数が増加しました。「レスパイト」「疾病」要件での利用は、週末に利用が集中する傾向にありました。また、きょうだいの同時利用も多く、利用日数の増加につながっています。

## ○利用児童の傾向

今年度は「レスパイト」要件での未就学児の利用が多くありました。また、「レスパイト」要件ではきょうだい児の利用も数件ありました。

また、不登校児の受け入れも複数件あり、発達や特性に応じた支援に努めました。施設の退所児童も多く利用し、アフターケアの役割も果たしています。

## ○家庭状況

昨年と比べ、両親世帯の利用が多くありました。特に要支援ショートステイでは両親世帯における家族関係調整が望まれるケースが多くありました。母子世帯では「レスパイト」「疾病」に加え、「就労」要件での利用が目立ちました。また、父子家庭や養育者が父母以外である家庭のレスパイトも受け入れました。

利用要件別利用人数(ショートステイ)

残業等	44人 (夜勤)
出張	67人
出産	0人
疾病	183人
入院	0人
公的行事	0人
冠婚葬祭	0人
介護	9人 (看護)
その他	390人
計	693人

利用要件別利用人数(要支援)

残業等	0人
出張	0人
出産	0人
疾病	46人
入院	0人
看護	0人
冠婚葬祭	0人
介護	0人
その他	277人
計	323人

## 家庭状況

		■■■■■
シヨートステイ	父母世帯	233人/ 要支援: 271人
	母子世帯	451人/ 要支援:52人
	父子世帯	9人/(うちその 他3人) 要支援:0人
	計	693人/ 要支援:323人
延べ数		693(323)人

## 行事の実施状況

	練馬
4月	イースター製作
5月	母の日カード製作
6月	歯磨き指導
7月	七夕飾り作り
8月	縁日ごっこ
9月	お月見体験
10月	ハロウィン製作
11月	クリスマス製作
12月	お正月製作
1月	お正月遊び
2月	バレンタイン調理
3月	一年お疲れ様会

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)

至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

一時預かり事業

# V 一時預かり事業 (第2種社会福祉事業)

## 【事業概要】

施設名	保育室サン御園	大田区立子ども家庭支援センター大森 一時保育室	
事業開始	平成 24 年 6 月 1 日	平成 25 年 3 月 1 日	
所在地	大田区西蒲田 7-49-2 大田区社会福祉センター1階	大田区大森北 4-16-5	
連絡先	Tel 03-6424-5088	Tel 03-5753-0805	
	Fax 03-6424-4933	Fax 035753-0806	
一時預かり	定員	10 人	12 人
	延べ	3,577 人	3,391 人
定期利用	定員	6 人	6 人
	延べ	1,018 人	1,017 人
対象者	一時預かり事業	生後 5 か月から就学時前の児童	
	定期利用型事業	大田区在住の 1 歳児および 2 歳児	

# Ⅰ 総括

## 保育室サン御園

「一時預かり事業」は、前年度 3,558 人を少し上回る利用がありました。傾向として、就労での利用は短時間利用が多くなり、リフレッシュ利用は 0 歳児の保護者の利用が増えており、長時間でのお預かりの希望者も増えました。保育要件は、子育て疲れや子どもと離れる時間が欲しい等、自分の時間を作りリフレッシュされる等の理由が増えてきています。

「定期利用保育」は常時 5 名から 6 名は在籍していました。利用要件は就労が 2 名で、他は介護や求職、育休等といった理由での利用がありました。

### (重点事項実施状況)

安全安心な環境整備を行いながら、子ども達が心豊かな時間が過ごせるように一人ひとりの発達や興味に合った様々な遊びを展開できるように、保育を行いました。保護者の方々には何気ない会話の中から相談を引き出せるように関わりました。人材育成 PJ の取り組みによる業務改善や環境整備を行い、丁寧な利用者支援に繋げることが出来ました。

## 大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

「一時預かり事業」は、前年度 3,340 人を少し上回る利用がありました。傾向として、主に保護者のリフレッシュを目的とした利用が多く、一年を通してニーズが高く、例年同様 10~15 時頃が定員に達することが多くありました。月の予約開始日に定員数に達する日もあり、一時預かり事業のニーズの高まりを感じました。当日キャンセルが発生する可能性を案内する等、可能な限りの利用を目指して業務に取り組みました。

保育内容としては、「一時預かり保育」「定期利用保育」共に、様々な遊びや生活を通して「できた」が増える保育を目指しました。こども達のペースで取り組めるように見守り、楽しく安心して過ごせる保育環境を心掛け、丁寧な声掛けと働き掛けを行いました。

### (重点事項実施状況)

令和 5 年度は、より安全な事業所となるように体制の見直しや安全点検の見直しを行いました。危機管理に関する取り組みとしては、災害や虐待、安全計画についての学習を行いました。要望や相談に関しては、こどもの権利擁護について学習しました。保育の専門性については、成長発達に合わせた環境構成を職員全体で検討する等、実際の保育に直結した学びを深めました。また、安全計画や不適切保育に関する学習を行い、日々の点検等の安全対策の重要性や、こどもへの関わり方の注意点等を改めて意識する機会となりました。日々の保育で実践することで成果を感じることができました。

## 2 良質なサービスの提供

### (1) サービス内容

- ①保育の質の向上を目指して、「定期利用保育」の子どもに対しては、一人ひとりの成長発達に合った保育カリキュラムを作成し、保育を行いました。
- ②子供が愛情に満ちた、安心できる環境の中で成長していけるように、保護者と協力し、子どもの健全な心身の育成・発達を目指しました。

#### 主な年間行事

	保育室サン御園	大森 一時保育室
4月	お花見	お花見
5月	母の日	母の日
6月	父の日	父の日
7月	七夕飾り	七夕飾り
8月	うちわ作り	うちわ作り
9月	敬老の日、夏の思い出製作	敬老の日、夏の思い出製作
10月	ハロウィン	ハロウィン
11月	勤労感謝の日	勤労感謝の日
12月	クリスマス会	クリスマス会
1月	新年のお祝い	新年のお祝い
2月	豆まき	豆まき
3月	お雛様	お雛様

### (2) 利用状況

#### ① 利用の提供と利用者状況

##### 保育室サン御園

令和5年度の利用者人数はほぼ例年通りでした。体調不良等による当日キャンセルもありますが、常時予約はいっぱい、特に土曜日は就労やリフレッシュの方でリピーターが多く、予約がすぐに埋まる傾向がありました。

#### ○ 利用児童の傾向

「一時預かり」は0歳児1歳児が全体の6割を占めており、兄弟や双子、3人兄弟を預ける家庭もありました。

集団生活に慣れるために定期的に利用する子や周りに同い年のこどもがいない為、こどもを遊ばせたいという利用もありました。

「定期利用保育」は昨年の 1 歳児男児 3 名がそのまま持ち上がり、毎日パワー全開で公園ではいつも走り回っていました。2 歳児の女児も 2 名と 1 歳児男児もおりましたが、皆で遊びとても賑やかでした。玩具の取り合いや戦いごっこ等で泣くこともありましたが、互いを意識し、真似る場面も多く、トイレトレーニングが早く出来るような様子も見られました。

## ○家庭状況

「一時預かり」は二人親世帯が大半を占めておりますが、離婚調停中や別居中等保育園が決まるまで一時的に預けるケースも多くありました。また、大田区に実家があり祖父母にこどもの送り迎えを頼んでいる方もおりました。「定期利用」は全員二人親世帯でした。

### 利用要件

一時預かり		定期利用	
就労	982 人	就労	755 人
介護	155 人	求職	29 人
冠婚葬祭	0 人	介護	216 人
通院	387 人	その他	18 人
リフレッシュ	1,105 人	計	1,018 人
その他(※)	948 人		
計	3,577 人		

※兄弟姉妹の行事参加など

### 利用年齢

一時預かり		定期利用	
0 歳児	805 人	0 歳児	805 人
1 歳児	1,402 人	1 歳児	1,402 人
2 歳児	775 人	2 歳児	775 人
3 歳児	225 人	3 歳児	225 人
4 歳児	215 人	4 歳児	215 人
5 歳児	155 人	5 歳児	155 人
計	3,577 人	計	3,577 人

## 利用時間

一時預かり		定期利用	
4 時間以内	1,055 人	4 時間以内	26 人
4 時間以上	2,522 人	4 時間以上	992 人
計	3,577 人	計	1,018 人

### 大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

「一時預かり」の傾向としては、主に保護者のリフレッシュを目的とした利用が多く、また保育園の入園後の慣らし保育期間中の利用や、資格取得の勉強のための利用もありました。利用時間に関しては、4 時間以上継続して利用を希望される方が多くいましたが、例年よりも 4 時間未満の割合が増えていました。

定期利用保育は「就労」と「求職」と「その他」があり、「その他」は慣らし保育での利用でした。年度当初は 4 名で始まり、定員に 2 名の空きがある状態でした。その後 2 名の入園があり、6 名の在籍となりました。就労に合わせて登園日を調整される家庭や 1 回の病欠が長引くこともあり、昨年度と比較して減少傾向になりました。

### ○利用児童の傾向

「一時預かり」は、例年同様、0～2 歳児の利用が多くを占めていました。今年度は双子の利用者が増加したことが特徴として挙げられます。また、兄弟の同時利用も多くあり、11 月以降は受け入れ年齢前に新規登録をされる方が増加し、生後 5 か月直後から利用される方も多くいました。夏休みを中心に 4・5 歳児の利用が前年度に比べると増加傾向にありました。

「定期利用保育」は昨年度から保育室を利用しているこどもが多く、保育者や保育室に慣れており、個々の遊びに集中して取り組む姿が多く見られました。徐々に名前を呼び合う姿や散歩時に手を積極的に繋ごうとする姿が増え、年度末には友だちと玩具を共有して一緒に遊んだり誘ったりする姿がありました。戸外活動では、探索活動を多く取り入れたことでこども達の気付きや自然への興味が増え、生き物図鑑を見せて「この虫見たよ」等保育者や保護者に報告することもありました。

### ○家庭状況

「一時預かり」は、二人親世帯が大半を占めていました。リフレッシュで利用する世帯が多くを占めていました。第 2 子、第 3 子を妊娠による通院などで利用する方もいました。子ども家庭支援センターが見守りを行っている家庭の利用が数件あり、情報共有を行いながら受け入れを行いました。

「定期利用保育」はすべての利用者が二人親世帯でした。受け入れ・引き渡し時や連絡帳でコミュニケーションをとり、こどもの日々の姿や成長した点等を伝えることで、家庭での様子を聞き取りながら働き掛けの方法を一緒に考えることができ、家庭と連携した促しができました。

## 利用年齢

一時預かり		定期利用	
0歳児	666人	1歳児クラス	502人
1歳児	1,348人	2歳児クラス	515人
2歳児	796人	計	1,017人
3歳児	294人		
4歳児	140人		
5歳児	106人		
6歳児	41人		
計	3,391人		

## 利用年齢

一時預かり		定期利用	
0歳児	666人	1歳児クラス	502人
1歳児	1,348人	2歳児クラス	515人
2歳児	796人	計	1,017人
3歳児	294人		
4歳児	140人		
5歳児	106人		
6歳児	41人		
計	3,391人		

## 利用時間

一時預かり		定期利用	
4時間以内	1,115人	4時間以内	21人
4時間以上	2,276人	4時間以上	1,012人
計	3,391人	計	10,147人

### ③危機管理(事故・災害等)

#### 保育室サン御園

今年度はアクシデント7件、インシデント18件の報告がありました。7カ月の乳児がひきつけを起こし救急搬送となった件と1歳の児童が転倒した際、目尻横を切る怪我をし、通院対応を行いました。保育環境の

見直しや一時預かり児の予約注意事項・対応方法を改めて確認しました。また、緊急時の対応訓練を行うことで、大きな事故が起きた際の対応に備えました。インシデントではこどもの怪我、事故に繋がるケースが多く見られました。玩具・備品点検チェック、午睡チェックセンサーの導入、チャイルドロックの取り付け等の保育環境の見直しや保育中の注意事項を職員同士で情報共有し、アクシデントに繋がらないよう努めました。

## ○災害対策(防災訓練)

実施日 時間	訓練内容						場所/実施方法	参加人数
	初期 消火	通報	避難	総合	BC P	その 他		
4月26日 10:00~10:15	○	○	○	○			キッチンからの火災を想定した避難誘導の訓練	利用者 10人 職員 4人
5月26日 14:35~14:45	○	○	○	○			午睡中の火災を想定した避難誘導の訓練	利用者 11人 職員 5人
6月30日 10:00~10:15	○	○	○	○			事務所からの火災を想定した避難誘導の訓練	利用者 10人 職員 5人
7月28日 10:05~10:15	○	○	○	○			保育室で地震発生後、キッチンからの火災、津波を想定した避難誘導訓練	利用者 11人 職員 5人
8月29日 3:30~16:00	○	○	○	○			地震発生後、保育室からの火災を想定した避難誘導訓練	利用者 10人 職員 4人
8月31日 16:30~16:45		○	○	○			不審者対応訓練	利用者 4人 職員 4人
9月29日 10:00~10:25	○	○	○	○	○		地震発生後、保育室からの火災を想定した避難誘導訓練	利用者 11人 職員 5人
10月30日 10:00~10:15	○	○	○	○			地震発生後、保育室からの火災を想定した避難誘導訓練	利用者 14人 職員 5人
11月27日 10:15~10:25	○	○	○	○			地震発生後、キッチンからの火災、津波を想定し避難誘導訓練	利用者 11人 職員 6人
12月26日 10:05~10:20		○		○			喉のつまり発生時の発見 通報 処置記録 緊急通報訓練	利用者 12人 職員 4人
12月27日 11:00~11:15	○	○	○	○			玄関口からの火災を想定した避難誘導の訓練	利用者 11人 職員 5人
1月30日 10:05~10:15	○	○	○	○			地震発生後、事務所コンセントからの火災を想定した避難誘導訓練	利用者 11人 職員 5人

2月26日 16:00~16:15	○	○	○	○	○		地震発生後、近隣ビルより火災発生を想定した避難誘導の訓練	利用者 6人 職員 4人
3月22日 10:00~10:30		○	○	○			不審者対応訓練	利用者 10人 職員 5人
3月22日 16:00~16:30	○	○	○	○			キッチンからの火災を想定した避難誘導の訓練	利用者 13人 職員 4人

## 大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

アクシデント 27 件、インシデント 17 件の報告がありました。今年度はこどもの噛みつき、怪我、オムツの取り違い等がありました。その他、職員要因のアクシデントが多かったため、対応訓練を行いました。インシデントに関しては、保育者によるこどもの行動予測が不十分なことによるリスクも多いため、保育中の危険予知トレーニングを行いました。

実施日 時間	訓練内容						場所/実施方法	参加人数
	初期 消火	通 報	避 難	総 合	BC P	その 他		
4月21日 10:05~10:20	○	○	○	○			地震発生後、ハローワークからの火災発生を想定した訓練	利用者 7人 職員 7人
5月22日 14:35~14:50	○	○	○	○			保育室内からの火災発生を想定した訓練	利用者 8人 職員 8人
6月22日 11:20~11:30	○	○	○	○			地震発生後、キッチンからの火災発生を想定した訓練、	利用者 5人 職員 5人
6月27日 11:00~11:30						○	不審者対応訓練 散歩帰園途中に不審者に遭遇したことを想定した訓練	利用者 5人 職員 5人
7月22日 16:10~16:30	○	○	○	○	○		BCP 訓練 震度6の地震発生後、駐輪場から火災発生、初期消火失敗後、第一避難所までの避難訓練 引取り訓練実施	利用者 5人 職員 5人
8月22日 16:00~16:20	○	○	○	○			地震発生後、隣接する建物からの火災発生、津波を想定し、階段にて屋上までの避難訓練	利用者 9人 職員 5人
9月22日 10:05~10:20	○	○	○	○			地震発生後、給湯器からの火災発生を想定した訓練	利用者 9人 職員 8人
10月23日 15:40~15:55	○	○	○	○			地震発生後、トイレより火災発生を想定した訓練	利用者 14人 職員 6人

11月22日 16:05~16:25	○	○	○	○	○	BCP訓練 震度6の地震発生後、給湯器から火災発生、初期消火失敗後、第一避難場所までの避難訓練 引き取り訓練実施	利用者 9人 職員 7人
12月22日 14:50~15:10	○	○	○	○		地震発生後、給湯器からの火災発生を想定した訓練	利用者 10人 職員 6人
12月26日 10:00~10:15					○	不審者対応訓練 不審者が窓から来訪しようとすることを想定した訓練	利用者 7人 職員 8人
1月22日 17:00~17:20	○	○	○	○		給湯器からの火災発生を想定し、第一避難所までの避難訓練	利用者 6人 職員 4人
2月22日 15:00~15:10	○	○	○	○		おやつ中の玄関口からの火災・ガス漏れを想定した訓練	利用者 12人 職員 8人
3月22日 9:55~10:05	○	○	○	○		地震発生後のトイレより火災発生を想定した訓練	利用者 8人 職員 8人

#### ④要望等解決(苦情解決)

##### 保育室サン御園

令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、受付の亚克力板がなくなり、綿密なコミュニケーションを取ることを意識したことで、相談5件、要望6件、苦情7件と昨年よりも多くの要望等をいただきました。相談では、こどもの成長発達で言葉や友だちとの関わりについて気になるというものがありませんでした。今年度は例年以上に苦情が多くなりましたが、リピーターの同じ保護者からのものが半数以上を占めています。改めて、職員同士での情報共有や相談をし、保護者への伝え方や配慮事項を共有しました。保護者へ丁寧に対応を行い信頼関係の構築を意識しました。

##### 大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

令和5年度は、相談が19件、要望が5件、苦情が3件でした。洋服等の居れ間違いの苦情もありましたので、職員間で袋の中身を確認して入れるよう周知を行いました。要望の内容は予約の取りづらさに関するものが多く、受付時の混雑緩和に関する内容もあったため、職員間で周知や改善策について話し合いを行いました。改善策を意識した受付を行うことにより、その後混雑に関する要望も受けることはなくなりました。相談内容の割合としては一時預かり保育・定期利用保育ともに食事・排泄・こどもの行動に関する発達過程で出てくる悩みが多くありました。複数回利用される方に対しては、その後の様子について尋ねたり、保育室での様子について伝えたりしたことで利用者との信頼関係を築くことができました。

## ⑤情報管理（個人情報保護・情報開示・セキュリティ）

### 保育室サン御園

個人情報保護法改正に伴い、法に基づいた適切な情報の取扱いの学習と保育室独自に扱っている利用者の情報の取扱いについて学習を改めて行いました。また、保育室内外での情報漏洩の危険性について学び、情報漏洩に対する危機意識を高めました。人権尊重・情報開示を意識した文章表現では保育室の日誌、連絡帳等の記録と適切な表現方法を比較しながら学習を行い、適切な文章表現で記録するよう努めました。

### 大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

一時保育室では情報管理規定や個人情報保護マニュアルの学習をすることで、個人情報の適切な取り扱い方法やパソコンを使用する際のルールを学びました。個人情報の漏洩しやすい環境や会話について、実際にあった利用者家族との会話をもとにロールプレイを行う等学習しました。人権尊重、情報開示を意識した文章表現の学習では、自施設の記録内容をピックアップして正しい表現文章の検討をし、適切な記録となるように努めることができました。

## (3)総務委員会

### 保育室サン御園

#### ○建物・設備維持管理（保守・点検）

実施日	項目	点検の種類
4月14日	設備清掃	床ワックス
18日	設備点検	自動ドア保守点検
27日	設備工事	機械式駐車場設備修理工事
5月3日	設備点検	
～5日	設備清掃	照明器具、吸出口他
12日	設備清掃	床ワックス
6月9日	設備清掃	床ワックス
23日	設備点検	特定建築物定期調査
7月3日	設備点検	自動ドア保守点検
14日	設備清掃	床ワックス 窓清掃
14日	害虫駆除	害虫駆除
13日	設備点検	自家用電気工作物定例月次点検
8月11日	設備清掃	床ワックス
9月4日	設備点検	自動ドア保守点検

8日	設備清掃	床ワックス・エアコンフィルター
25日	設備清掃	貯水槽清掃
10月13日	設備清掃	床ワックス
20日	設備工事	門扉交換
27日	設備点検	自動ドア保守点検
10日	設備清掃	床ワックス、吸出口
12月6日	設備点検	自動ドア保守点検
8日	設備清掃	床ワックス・エアコンフィルター
18日	設備点検	消防用設備法定点検
1月12日	設備清掃	床ワックス
12日	害虫駆除	害虫駆除
28日	設備点検	電気設備点検(法定点検)
2月7日	設備工事	正面玄関自動ドアセンサー交換工事
9日	設備清掃	床ワックス
3月9日	設備清掃	床ワックス、エアコン
6日	設備点検	建築設備定期検査
14日	設備点検	自動ドア保守点検

## ○保健衛生

今年度も継続して毎月のおたよりと一緒に保健だよりの発行と年4回のすこやかだよりの掲示を行い、利用者の食育や保健衛生の向上を図りました。また、感染症マニュアルの見直しを行い、感染症に関する理解を深め、適切な対応を行えるよう周知しました。玩具消毒、換気等の感染症予防対策や受け入れ時の視診・触診、保護者と情報共有を密に行い、感染防止に努め、こどもが健康に過ごせる環境づくりを行いました。

## ○健康管理(乳幼児)

月日	内容	参加人数
3月31日	入園前健康診断	入園前児童 1人
4月26日	入園前健康診断	入園前児童 1人
6月8日	健康診断	定期利用保育児 5人
8月23日	入園前健康診断	入園前児童 1人
9月13日	入園前健康診断	入園前児童 1人
11月16日	健康診断	定期利用保育児 3人
2月14日	健康診断	定期利用保育児 1人
2月28日	健康診断	定期利用保育児 1人
11月9日	入園前健康診断	入園前児童 1人

大田区子ども家庭支援センター大森 一時保育室

○建物管理(保守・点検)

実施日	項目	点検の種類
4月11日	定期清掃	床清掃
18日	非常通報装置	定期保守点検
5月9日	定期清掃	床清掃
13日	特別清掃	窓ガラス、網戸、格子柵、空調機フィルター
15日	電気設備点検	定期保守点検
6月13日	定期清掃	床清掃
24日	害虫駆除	定期保守点検
26日	エレベーター点検	定期保守点検
7月11日	定期清掃	床清掃
18日	電気設備点点検	定期保守点検
30日	空調機清掃作業	空調機清掃
8月8日	定期清掃	床清掃
9月3日	消防用設備点検	定期保守点検
6日	電気設備点検	定期保守点検
12日	定期清掃	床清掃
26日	エレベーター点検	定期保守点検
10月1日	排水管清掃	定期保守点検
10日	定期清掃	床清掃
16日	非常通報装置	定期保守点検
11月11日	特別清掃	窓ガラス、空調機フィルター、照明、ブラインド
14日	定期清掃	床清掃
19日	電気設備点検	定期保守点検
12月8日	エレベーター点検	定期保守点検
10日	空調機清掃作業	空調機清掃
12日	定期清掃	床清掃
1月9日	定期清掃	床清掃
22日	電気設備点検	定期保守点検
2月13日	定期清掃	床清掃

3月3日	消防用設備点検	定期保守点検
6日	電気設備点検	定期保守点検
8日	エレベーター点検	定期保守点検
12日	害虫駆除	定期保守点検
12日	定期清掃	床清掃
23日	特別清掃	庇、カーペット

## ○保健衛生

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、昨年度に引き続き頻繁に触れる箇所の消毒を徹底して行いました。12月末、利用児にウイルス性胃腸炎が蔓延し、保健所への報告、玩具や保育室内の消毒、オムツ交換時の感染予防や配慮などを徹底して行いました。食育や健康については、昨年度に引き続き月のおたよりやすこやかだよりの配布と掲示を行うことで働き掛け、保育室で育てた野菜を持ち帰る等、家庭と連携して食育に取り組むことができました。

### ○健康管理(乳幼児)

月 日	内 容	参 加 人 数
6月20日	健康診断	定期利用保育児 3人
6月28日	入園前健康診断	入園前児童 1人
7月7日	健康診断	定期利用保育児 1人
7月28日	入園前健康診断	入園前児童 1人
12月4日	健康診断	定期利用保育児 6人
3月26日	入園前健康診断	入園前児童 5人

2023(令和5)年度

# 事業報告

自 2023(令和5)年 4月 1日(土)

至 2024(令和6)年 3月31日(日)

社会福祉法人 大洋社

ファミリー・サポート・センター事業

# VI ファミリー・サポート・センター事業

(第2種社会福祉事業)

## 【事業概要】

施設名	ファミリー・サポート・センター事業	
事業開始	平成 25 年 3 月 1 日	
所在地	大田区大森北 4-16-5	
連絡先	Tel 03-5753-1152 Fax 03-3763-0191	
対象者	利用会員	大田区在住、もしくは在勤の方 対象年齢は生後 4 か月から、おおむね 12 歳までのお子さんをお持ちの方
	提供会員	大田区在住の 20 歳以上の心身ともに 健康な方で、 地域の子育て支援に熱意のある方 (提供会員養成講座を受講後の登録 となります)
	両方会員	上記の利用会員・提供会員のどちらに も該当で、 希望のある方

# 1 総括

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことから様々な緩和があり、行事等も通常通りの実施をすることができました。

利用会員の登録方法においては、登録説明会に参加しなくても、いつでも登録ができるようになり、より利用しやすいサービス提供ができるようになりました。一方で、必要時に登録する方が増え、直前に依頼される方が増加しました。

提供会員の方々においては、自身の仕事状況が感染症流行以前に戻ってきたため多忙となったことから活動を休会される方も増えてきました。

## (重点事項実施状況)

令和5年度の事業計画の重点事項のうち、危機管理において事故予防の強化を挙げ、一年を通して職員のダブルチェック等に取り組んだ結果、前年度よりもインシデント報告が減少しました。

職員全員が、会員との会話の中で、相手の状況を理解・配慮することに努め、福祉的視点を持つ対応ができるようスキルアップを図る取組みを委員会活動を通して実施しました。

# 2 良質なサービスの提供

## (1) サービス内容

### ① 提供会員に関する業務

年4回計画していた提供会員養成講座を全て開催することができ、61名の方が新たに登録をされました。年2回の地域交流会では、7月にグッド・トイや遊び方の紹介をし、様々な玩具での様々な遊び方を知る事ができたと提供会員の方々から好評でした。2月にはクレヨン・セラピー体験を行い、自分の状態を知る楽しい機会となったとの声を聴くことができました。また交流時間では、活動に関する困りごとや工夫点等の意見交換を行う等、会員同士の交流を図る事ができました。7月は17名、2月は25名の参加がありました。

フォローアップ講習会では救急救命講習を実施し18名が参加しました。受講者の意識も高く、一生懸命に取り組んでいました。

### ② 利用会員に関する業務

令和5年度は利用会員の登録方法を大きく変更し、Webで動画を観ていただき、必要書類を提出すると登録ができるようになりました。利用会員登録説明会は各会場で毎月1回ずつに減らして実施しました。最終的には年間登録数423名となり、前年度より減少しました。いつでも登録可能な為、必要時に登録する傾向になった結果と思われます。利用会員にとってはスムーズな登録方法になりました。

### ③その他の業務

会報誌は全会員向け 2 回(6・10 月)、提供会員向け 2 回(8・1 月)発行しました。取材内容は、事前打合せの場面の取材やご夫婦登録の提供会員への取材等を行いました。

#### プログラムの実施状況

4 月	—
5 月	—
6 月	提供会員養成講座、会報誌発行
7 月	地域交流会
8 月	会報誌発行
9 月	提供会員養成講座
10 月	提供会員養成講座、会報誌発行
11 月	フォローアップ講習会
12 月	—
1 月	会報誌発行
2 月	提供会員養成講座、地域交流会
3 月	更新手続き

## (2)事業の普及及び会員拡大

### ①事業の普及

今年度も提供会員養成講座を大森地区と蒲田地区で各 2 回ずつ開催しました。感染症予防のための開催における人数制限等もなくなり、最大人数での受講者の受け入れを行い、定員人数以上の希望があった場合にはキャンセル待ちでの対応もしました。しかし、希望者が以前よりは減少傾向にある為、今後の広報活動の強化が課題となります。

## (3)利用状況

### ①サービスの提供

令和 5 年度の利用総延べ人数は 10,044 名です。前年度同様、預かりを含まない送迎のみの活動が一番多く、預かりの活動は全体的に減少傾向になり、朝の預かり及び送迎の活動は激減しています。これらは依頼の傾向にもよりますが、預かり可能な提供会員が減少してきた事も一因と考えられます。数年増加傾向にあった習い事や産前産後の送迎活動は減少しました。依頼数は前年度をわずかに上回る 485 件でした。事前打ち合わせの件数は 289 件、書類追記対応は 81 件でどちらも増回傾向です。

## ②利用者の状況

### (利用児童の傾向)

利用児童の年齢は、例年通り乳幼児が多くを占めており、2～4歳児は増加傾向です。小学1年生の活動は減少しましたが、小学2～4年生の活動は増加しています。療育に通っているお子さんの送迎活動の依頼が増加傾向にあります。

### (提供・両方会員の傾向)

提供・両方会員の傾向としては、50～60代の方が多く在籍しており、40代が100人を切る形となりました。20～40代の方は区外転居等による退会や本格的に仕事復帰をして多忙による退会等も多く、全体的に人数は減少傾向にあります。

### ○提供会員年齢別人数

20代	3人
30代	12人
40代	75人
50代	198人
60代	186人
70代以上	96人

### ○利用児童年齢別人数

0歳	127人
1歳	575人
2歳	1,644人
3歳	1,471人
4歳	1,257人
5歳	975人
6歳	1,282人
7歳	1,352人
8歳	730人
9歳	410人
10歳	163人
11歳	58人
12歳	0人
13歳	0人
未振分け	0人
合計	10,044人

## ○活動利用人数

保育施設の送り(預かりを含まない)	2,022人
保育施設の迎え(預かりを含まない)	2,534人
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	53人
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	823人
子どもの習い事等の預かりや送迎	1,990人
保護者等のリフレッシュのための預かり	44人
小学生の預かりや送迎	1,326人
学童保育施設の迎え及び帰宅後の預かり	300人
産前(出産)産後の兄弟姉妹の預かりや送迎	90人
子どもの病気後の預かり	0人
保育所・学校等の休み時の預かり	52人
保育所等施設入所前の預かり	39人
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の預かり	139人
保護者等の求職活動中の預かり	15人
保護者等の冠婚葬祭による外出及び学校行事の場合の預かり	35人
保護者等の買い物等外出の場合の預かり	163人
保護者等の病気、急用などの場合の預かり	65人
その他	354人
マスターにない項目	0人
合計	10,044人

## ③危機管理(事故・災害等)

アクシデント 5 件、インシデント 8 件の報告がありました。アクシデントについては、職員の新型コロナウイルス感染症の罹患や会報誌の誤送、利用児の名前間違い等がありました。活動時については、提供会員による利用会員の物品紛失があり、保険適用をしました。細々とした業務上の処理ミスが多い為、一つひとつ丁寧に作業を行うよう職員間にて度々確認をいたしました。

インシデント報告は、職員のケアレスミスによるものが多かったので、ダブルチェックや注意を払うことで前年度よりミスを防ぐことができました。

## ○災害対策(防災訓練)

実施日 ／時間	訓練内容						場所／実施方法	参加人数
	初期 消火	通報	避難	総合	BC P	その他		
実施なし								

#### ④要望等解決（苦情解決）

令和5年度は、相談0件、要望1件、苦情0件でした。内容は、提供会員からの兄弟姉妹2人同時活動に関する謝礼金の金額の値上げについての要望で、大田区にも情報共有しました。今年度は件数が全体的に少なかった為、汲み取り切れていない内容もあるかと思えます。次年度は適正に汲み取りができるよう職員間の意識向上を目指します。

#### ⑤情報管理（個人情報保護・情報開示・セキュリティ）

令和5年度は、情報管理に関する目標を掲示し、職員会議でも確認する等、職員一人ひとりが意識できるよう働きかけました。また、書類等の情報の取扱い方法に留意し、適切な処理が行われるよう確認をしました。

### (4)総務委員会

#### ○建物・設備維持管理（保守・点検）

実施日	項目	点検の種類
4月11日	定期清掃	床清掃
18日	非常通報装置	定期保守点検
5月9日	定期清掃	床清掃
13日	特別清掃	窓ガラス、網戸、格子柵、空調機フィルター
15日	電気設備点検	定期保守点検
6月13日	定期清掃	床清掃
24日	害虫駆除	定期保守点検
26日	エレベーター点検	定期保守点検
7月11日	定期清掃	床清掃
18日	電気設備点検	定期保守点検
30日	空調機清掃作業	空調機清掃
8月8日	定期清掃	床清掃
9月3日	消防用設備点検	定期保守点検
6日	電気設備点検	定期保守点検
12日	定期清掃	床清掃
26日	エレベーター点検	定期保守点検
10月1日	排水管清掃	定期保守点検
10日	定期清掃	床清掃
16日	非常通報装置	定期保守点検
11月11日	特別清掃	窓ガラス、空調機フィルター、照明、ブラインド
14日	定期清掃	床清掃

19日	電気設備点検	定期保守点検
12月8日	エレベーター点検	定期保守点検
10日	空調機清掃作業	空調機清掃
12日	定期清掃	床清掃
1月9日	定期清掃	床清掃
22日	電気設備点検	定期保守点検
2月13日	定期清掃	床清掃
3月3日	消防用設備点検	定期保守点検
6日	電気設備点検	定期保守点検
8日	エレベーター点検	定期保守点検
3月12日	害虫駆除	定期保守点検
3月12日	定期清掃	床清掃
3月23日	特別清掃	庇、カーペット

## ○修繕

ファミリー・サポートの事務局は大田区子ども家庭支援センター内の一室にある為修繕等は建物内全体で行われます。

## ○保健衛生

今年度は感染症予防の消毒徹底を行い、行事開催時も区や会場の方針に合わせて対策をとり、対策の緩和も徐々に行いました。また、夏季は例年を超える気温の高さから、熱中症予防のための注意喚起の通知を全会員に郵送する等、安全な活動となるよう働き掛けを行いました。

令和5年度

事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

社会福祉法人 大洋社

大森保育園

)

)

## 目 次

1. 運営のあらまし	1
「一年を振り返って」	
2. 保育事業実施実績	2
① 名称及び所在地	2
② 実施事業の内容	2
③ 利用児童数実施実績	2
④ 延長保育利用児童数実施実績	2
3. 保育内容、年間指導計画、環境	3
4. 職員関係	3
① 職員配置数	3
② 採用・退職	4
③ 各部分担の反省・感想	4
④ 職員会議実施実績	7
⑤ 保育会議実施実績	8
⑥ 職員研修実施実績	10
⑦ 細菌検査実施実績	11
⑧ 職員健康診断実施実績	12
5. 児童処遇関係	12
① 健康管理実施実績	12
② 健康診断実施実績	12
③ 歯科検診実施実績	12
④ 健康指導実施実績	13
⑤ ヒヤリハット・ケガ簿	13
⑥ 事故影報告書	13
⑦ 給食実施実績	13
⑧ 年間行事実施実績	13
6. 安全管理関係	17
① 災害・防犯訓練実施実績	17
② その他の訓練実施実績	18
③ 設備等点検実施実績	18
7. 保護者の関係	19

① 保護者懇談会実施実績	19
8. 自主事業関係	21
① パートナー保育登録実施実績	21
② 緊急一時保育実施実績	21
③ 一時保育実施実績	21
④ 体験保育実施実績	21
⑤ 年末保育実施実績	22
⑥ 育児講座実施実績	22
⑦ 老人ホーム交流会実施実績	22
9. 実習生・ボランティア・小中高大学生等受入関係	22
① 実習生受入実施実績	22
② ボランティア受入実施実績	23
③ 中学生・高校生職場体験受入実勢実績	23
10. 中長期計画・施設設備整備関係	23
① 学校110番非常通報装置入替	23
11. 苦情解決・対応について	23
① 利用者からの苦情解決の取り組み	23
② 苦情の件数	23
12. 東京都福祉サービス第三者評価	23
① 東京都福祉サービス第三者評価受審	23

## 1・運営のあらまし「一年を振り返って」

令和4年度末、園長、保育士5名、栄養士2名の合計8名が退職した事を受け、大田区役所こども家庭部保育サービス課に相談し、0歳児の入園を一時募集の入園申込者数で一度、募集停止して頂き、一時の募集終了時点で6名の入園申し込みがございましたので、0歳児の取り扱い定員数を6名へと変更する議案を3月の理事会にて審議して頂き、令和5年度は0歳児を定員6名としてスタートする運びとなりました。その間に新卒保育士1名、非常勤保育士2名、保育アシスタント1名、栄養士2名を採用して4月を迎えました。

ここ数年、新卒の保育士を採用してもなかなか定着せず、一年ないしは二年での退職が続いておりました。前年度の新卒4名が一年で退職した事もあり、今までの業務内容を抜本的に見直し、働き方改革を進める必要性が有ると考え、職員皆で話し合い、これまでに増大した仕事の一つ一つの内容を精査、検討し、必要性の優先順位を考え、子ども達が最優先となるような業務の取り組みへと改革を進めました。その結果として、日々の残業が殆ど必要なくなり、職員の心にもゆとりが生まれ子ども達との関りがより深くなったように感じられます。それは年間の大きな行事にも顕著に現れており、今までだったら前日の準備にはかなりの時間を要し遅くまでかかっていたものを全ての行事で定時には完了することが出来、しかも、コロナ過で縮小していた内容を以前と同等に戻し、更に充実させた形で行う事が出来ております。各行事に参加した子ども達とその保護者からアンケートの回答に「とても楽しかった」「ありがとうございました」など評価の声を多く頂きました。また、卒園児とそのご家族からも「楽しみにしていた」「楽しく参加出来た」と好評に終わられました。

日常の保育現場におきましても、ここ数年の自由保育から少し変え、主体性を大切にしながらも協調性や規範意識を育てるように活動を展開してまいりました。子ども達の様子も例年にないほど落ち着きを見せておりました。その事から、毎年、受け入れております養成校の実習生が行う責任自習の際、落ち着いて集中している姿から、とても充実した実習となったように思われます。

令和5年度末において退職する保育士は無く、調理師が一名退職となりましたが、4名の応募があり、その中から1名採用致しました。また、保育士におきましても新卒者の応募はございませんでしたが、経験者3名を採用する事が出来、次年度へ向けての体制もしっかりと確保することが出来ております。更に保育内容を充実させ、子ども達にとってより良い環境を整備し、未来を担う大切な子ども達を保護者とともに育ててまいります。

## 2・保育事業実施実績

### ① 名称及び所在地

社会福祉法人 大洋社 大森保育園  
 東京都大田区大森南4丁目10番4号  
 TEL 03-3741-7645

### ② 実施事業の内容

- ・保育所事業、定員56名
- ・延長保育事業、定員20名
- ・年末保育事業

### ③ 利用児童数実施実績（定員数：もも16名・さくら20名・うめ20名）

0歳児定員数を6名へと変更した。5歳児は昨年度より1名欠員の9名から年度途中での入園は無かった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
もも	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	16	192
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	10	10	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10	119
さくら	18	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	235
2歳児	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	116
3歳児	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119
うめ	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
4歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
5歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
合計	53	54	54	54	55	54	55	55	55	55	55	55	655

### ④ 延長保育利用児童数実施実績（定員数：20名）

延長保育定期利用を申請する児童が年々減少している傾向にあります。また、臨時利用児童も少なく、働き方改革の影響もあり、延長保育を利用する児童は全体的に減少傾向にある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施 日数	20 日間	20 日間	22 日間	20 日間	22 日間	20 日間	21 日間	20 日間	20 日間	19 日間	19 日間	20 日間	243 日間
申請児	6	4	7	4	5	10	9	9	12	9	7	11	93

臨時	8	15	9	2	5	1	4	5	3	9	6	8	75
合計	14	19	16	6	10	11	13	14	15	18	13	19	168
一日平均	0.7名	0.9名	0.7名	0.3名	0.4名	0.5名	0.6名	0.7名	0.7名	0.9名	0.6名	0.9名	0.7名

### 3・保育内容、年間指導計画、環境

保育所保育指針を根底に登園の保育の理念、方針を基に年間指導計画案、月案、週案を作成した。子ども達一人ひとりに寄り添い、主体性を大切にしながらも協調性、規範意識が育まれるように時には一斉保育も取り入れて活動を展開させてきた。その結果、落ち着いた姿が見られていた。

【\*各クラスカリキュラム・記録等参照】

### 4・職員関係

#### ① 職員配置数

職 種	国定数	都・区加算		基準外配置	合 計
		常勤	非常勤		
計 算 上 の 職 員 数 ( 必 要 数 )					
園 長	1				1
保 育 士	9	1	1		11
調 理 員 等	2	1	1		4
看 護 師	1				1
嘱 託 医				1	1
嘱 託 歯 科 医				1	1
合 計	13	2	4		19
在 籍 職 員 数					
園 長	1				1
幼児部主任保育士	1				1
乳児部主任保育士	1				1
幼児部副主任保育士	1				1
乳児部副主任保育士	1				1
保 育 士	5	1	1	1	8
栄 養 士	2				3
看 護 師	1				1

調理員等		1	1		1
保育アシスタント				3	3
嘱託医			1		1
嘱託歯科医			1		1
会計士				1	1
社労士				1	1
合計	13	2	4	6	25

## ② 採用・退職

採用は、保育士3名、栄養士1名、調理員1名、となる。退職者は、調理員1名、保育アシスタント1名、転職により退職となった。

区分	職種	人数	日付
採用	保育士	2名	令和5年4月1日
	栄養士	1名	令和5年4月1日
	調理師	1名	令和5年4月1日
	保育士	1名	令和5年8月1日
退職	調理員	1名	令和6年3月31日
	アシスタント	1名	令和6年3月31日

## ③ 各部分担の反省・感想

各部署の担当は一年を振り返り、新年度の担当へ引き継ぎ・申し送りができるよう以下のように総評を行なう。

部署名	目 標	反省・感想
地域交流部 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 保護者、地域の方々、職員の交流を深め、皆が楽しめる行事計画をする。</li> <li>☆ 行事やその準備が、円滑に進むように、全職員に分かりやすく知らせ、協力し合って作り上げていく。</li> <li>☆ 多くの保護者にたたえる賞を授与できるよう企画・運営をする。</li> <li>☆ 地域の方が参加しやすい行事を企画運営し、子育て支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 早め早めに計画を立てたので準備が早くから着手出来た。終了後にはアンケートを配布、集計し結果報告、回答することが出来た。</li> </ul>

<p>子育て支援部</p> <p>3名</p>	<p>部と連携する。</p> <p>☆ 地域で子育てをしている家庭が気軽に保育園を利用したり、親子で講座に参加したり出来るように計画をする。</p> <p>☆ 育児講座では、保護者に子育ての楽しさを伝えていけるようにする。また、企画・計画に当たっては、連絡会議等でこまめに進捗状況等を報告し、計画性を持って取り組み、全職員で準備が出来るようにする。</p> <p>☆ 保護者や地域の方々との交流を深め、気軽に相談できる雰囲気を作ったり、環境を工夫したりする。また、社会資源の活用、アドバイス等ができるように職員が学び、共有し支援に努める。</p>	<p>☆ 今年度は大幅に削減した事で余裕ができた。育児講座は早めに講師を決め、連絡を取って進めて行けた。当日も沢山の方が参加したので良かった。また、パートナー保育登録者が1組増えたのと、行事等に遊びに来てくれたので良かった。</p>
<p>研修部</p> <p>3名</p>	<p>☆ 保育園の理念・方針、また、保育所保育指針から、自身や園の役割を理解する。</p> <p>☆ 一人ひとりが積極的に意見を出せる会議を目指す。</p> <p>☆ 職員同士の意見を積極的に交換しながら、子ども理解に繋がる会議を目指す。</p> <p>☆ 研修会に参加したり、学びを深めたりしながら、保育の質を高め、保育士としての意識の向上を図る。</p>	<p>☆ 救命講習が今年度で全ての常勤職員が参加出来る予定になっている。キャリアアップ研修については未実施のものがあるため、新年度に早急に着手して行きたい。</p>
<p>災害・防犯対策部</p>	<p>☆ 非常災害時に落ち着いて速やかに避難行動できるよう、</p>	<p>☆ 防犯研修が行えず、他園の防犯研修に参</p>

<p>3名</p>	<p>常日頃から、様々な想定をした訓練を実施する。</p> <p>☆ 各職員が、災害や防犯への意識を高く持ち、日々の職務につけるよう働きかける。</p> <p>☆ 防犯訓練では、不審者対応の様々な知識を深めていく為、訓練が実施できるよう、計画性を持って準備を行なっていく。</p>	<p>加した。来年度は自園で行えるように計画して行きたい。備蓄品の期限が近くなっている物が多く、事前に確認しておけばよかった。</p>
<p>環境美化部</p> <p>3名</p>	<p>☆ 日々子ども達が、清潔で安全な環境の中で過ごせるように、職員一人一人が取り組めるように働きかけていく。</p> <p>☆ 年間を通して、季節に合った自然や身近なもの等、家庭的な雰囲気となるような装飾を、園内外に取り入れていく。</p> <p>☆ 子どもと一緒に、身近な野菜や、四季折々の植物を育てたり、生き物の世話をしたり出来るよう、職員同士協力していく。また、知識を身に付け、わかりやすく伝えていく。</p>	<p>☆ 清掃箇所の分担を行い、今年度は非常勤職員にも協力して貰って、環境整備をしていくことが出来た。花壇や駐輪場に関しては、幼児部等にほぼ任せきりになってしまった。絵本コーナーの絵本の修繕は、日々進めて行けた。古くなっている人気絵本の発注などもして行けると良かった。階段窓の装飾を季節に合わせて定期的に変更して行き、子ども達に楽しんでもらえた。</p>
<p>写真管理・ホームページ部</p> <p>2名</p>	<p>☆ 写真販売方法を前年度に変更した。写真販売がスムーズに行えるよう進めて行く。</p> <p>☆ 気軽に楽しんで見る事ができる、分かりやすいホームペ</p>	<p>☆ 写真は保護者への声掛けが遅くなり、野口カメラさんにも指摘され、迷惑をかけてしまった。</p>

	ージ作成を心掛ける。	☆ ホームページは、園だより記載に当たり、園長に更新してもらった。
--	------------	-----------------------------------

④ 職員会議実施実績

全職員が自分の意見を発言できるように進め、一つ一つ話し合いで決めて行った。また、次年度の職員配置についても職員の話し合いのもと、最終、主任職員で確定させた。そうする事により、一人ひとりが保育園運営に係わっている自覚が芽生え、好循環している。【\*職員会議録参照】

日付	会議名	内容	人数
4月4日	職員会議	令和5年度事業計画について 業務目標制度等について 自衛消防計画・災害時避難経路確認 その他連絡事項	15
5月13日	職員会議	業務目標設定シート各自目標発表 保健研修 保育参加・試食会について その他連絡事項（プール遊びについて）	14
6月10日	職員会議	保育参加、試食会の振り返り 防犯研修 園内研修（BCP・安全計画） 法人事業内容について その他連絡事項	15
7月1日	職員会議	初期消火研修 夕涼み会について その他連絡事項	14
9月9日	職員会議	防災研修 ファミリースポーツデーについて 処遇改善等加算手当について その他連絡事項	14
10月14日	職員会議	保健研修 ファミリースポーツデー振り返り 冬季賞与について その他連絡事項	13

11月11日	職員会議	園内研修 活動展、もちつきについて 冬季賞与について その他連絡事項	12
12月2日	職員会議	もちつき大会、活動展振り返り 環境美化研修 その他連絡事項（ゴミ分別の具体例）	14
1月13日	職員会議	新年度クラス配置について 生活発表会について 業務目標設定シートについて その他連絡事項	14
2月3日	職員会議	業務目標・各部署より振り返り 新年度計画案（クラス配置、担当部署） その他連絡事項	14
3月2日	職員会議	新年度計画について 規程改定について その他連絡事項	18

⑤ 保育会議実施実績

事業計画を基に研修部が企画・実行。特に子どもの姿や週案の振り返りの時間を多く持ち、職員間での共通理解に努め、子どもたちにより良い環境を提供する。

【\* 保育会議録参照】

日付	会議名	内 容	人数
4月20日	幼児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 安全管理マニュアル内容確認 その他連絡事項	7
4月27日	乳児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 安全管理マニュアルの確認 その他連絡事項	7
5月18日	幼児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 各クラス現状報告 その他連絡事項	6
5月25日	乳児部保育会議	現状報告 振り返り	9

		その他連絡事項	
6月15日	幼児部保育会議	週案の振り返り 水遊び、プール遊びについて ヒヤリハットの振り返り 夕涼み会について	6
6月22日	乳児部保育会議	子どもの理解と保育の振り返り その他連絡事項	9
7月20日	幼児部保育会議	週案の振り返り 夕涼み会の振り返り ファミリースポーツデーについて ヒヤリハットについて 園児の怪我について	6
7月27日	乳児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り その他連絡事項	7
9月21日	幼児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り ファミリースポーツデーについて その他連絡事項	7
9月27日	乳児部保育会議	保育の振り返り ヒヤリハットについて その他連絡事項	8
10月19日	幼児部保育会議	各クラス現状報告 ヒヤリハットについて その他連絡事項	9
10月26日	乳児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 監査報告 9月のヒヤリハット振り返り	8
11月16日	幼児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 育児アンケートについて ヒヤリハット その他連絡事項	8
11月24日	乳児部保育会議	週案の振り返り 育児アンケートについて ヒヤリハットについて その他連絡事項	10

12月21日	幼児部保育会議	週案振り返り 人権擁護のためのセルフチェックリスト ヒヤリハット	7
12月28日	乳児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 人権擁護について ヒヤリハット その他連絡事項	9
1月18日	幼児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り 書類の見直しについて 研修報告 その他連絡事項	9
1月25日	乳児部保育会議	3期の振り返り 書類の見直しについて 週案の振り返り その他連絡事項	7
2月15日	幼児部保育会議	子どもの理解と保育の振り返り 巡回相談報告 今年度各クラスの振り返り その他連絡事項	8
2月22日	乳児部保育会議	子ども理解と保育の振り返り クラス目標振り返り その他連絡事項	7
3月15日	幼児部保育会議	新年度申し送り 2月のヒヤリハット その他連絡事項	13
3月21日	乳児部保育会議	新入園児申し送り 進級児申し送り その他連絡事項	10

⑥ 職員研修実施実績

前年度、保育士の退職により保育士不足の中、外部研修を受講する事が難しかった。また、キャリアアップ研修が必要な職員へ順次、受講出来るようにして行くようにしているが、保育士不足により受講が一人となった。

【\*研修報告書参照】

各団体研修会

日付	内容	開催	参加者
6月29日	新人保育者スタートアップセミナー	日本保育協会	1名
9月20日	幼児の運動機能を促す 楽しく体を動かそう	大田区大森東一丁目保育園	1名
11月29日	2歳児の保育環境と保育者の 関り 令和に生まれた子供の興味に 合わせて	大田区立富士見橋保育園	1名
11月30日	2歳児の保育環境と保育者の 関り 令和に生まれた子供の興味に 合わせて	大田区立富士見橋保育園	1名

#### キャリアアップ研修

日付	内容	開催	参加者
9月8日 オンライン	マネジメント	日本保育協会	1名

#### ⑦ 細菌検査実施実績

・通常細菌検査

対象（栄養士、調理員、看護師、乳児担任職員他）

検査項目：赤痢菌・サルモネラ・腸管出血性大腸菌 O-157・腸管出血性大腸菌 O-26・腸管出血性大腸菌 O-111

日付	4/5	4/19	5/16	6/12	7/20	8/7	9/13	10/10	11/13	11/27	12/5	1/17	2/7	3/7	合計
人数	12	3	15	15	15	14	15	15	15	1	16	15	15	15	181

・調理従事者細菌検査

11月より3月の冬季期間 検査項目：ノロウイルス

【\*細菌検査結果報告書参照】

日付	10/	11/	12/	1/	2/	2/	3/	合計
	/	/	/	/	/	/	/	

	26	29	27	24	21	22	28	計
人数	4	5	4	4	3	1	3	24

⑧ 職員健康診断実施実績

検査項目：胸部X線直接撮影・血液検査・心電図検査・生化学検査・オーディオメーターによる聴力検査（1名産休取得中の為未実施）

【\*職員健康診断結果参照】

一般財団法人 産業保健協会	10月12日	19名
一般財団法人 産業保険協会	10月31日	2名

## 5・児童処遇関係

① 健康管理実施実績

年間保健計画に沿って園児の健康管理、衛生管理、手洗い指導、歯磨き指導、うがい指導を実施した。またヒヤリハットの集計を行い、事故の未然防止に努めるよう、職員は周知をした。

② 健康診断実施実績：人数

もも組0、1歳児は毎月1回、さくら組2、3歳児・うめ組4、5歳児は4月・10月に実施。

【\*保健記録表、保健日誌、0歳児健康日誌、施設日誌等参照】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
もも	16	15	14	15	12	11	14	13	15	16	11	14	166
さくら	15		1				15	4					35
うめ	16						17	2					35
合計	47	15	15	15	12	11	46	19	15	16	11	14	236

③ 歯科検診実施実績：人数

年2回実施。検診時フッ素添付実施。

【\*保健記録表、保健日誌、0歳児健康日誌、施設日誌等参照】

月 日	もも	さくら	うめ	合計
6月29日	12名	19名	16名	47名
11月30日	14名	15名	16名	45名

合 計	26名	34名	32名	92名
-----	-----	-----	-----	-----

④ 健康指導実施実績

月 日	ク ラ ス	指導内容	人 数
5月31日	さくらぐみ	手洗い指導	8名
5月31日	うめぐみ	手洗い指導	17名
6月9日	さくらぐみ	うがい指導	8名
6月9日	うめぐみ	歯磨き指導	16名
11月6日	さくらぐみ	手洗い指導	9名
11月6日	うめぐみ	手洗い指導	17名
11月16日	さくらぐみ	歯磨き指導	8名
11月16日	うめぐみ	歯磨き指導	19名

⑤ ヒヤリハット・ケガ簿

各クラスから報告書を提出してもらい毎月集計をし、会議等で報告・周知。

【\*ヒヤリハット集計報告・ケガ簿参照】

⑥ 事故怪我報告書

【\*園児事故記録簿参照】

・発生件数 1 件

クラス	年 齢	事故発生日	事故内容
うめ組 4 歳児	4 歳 10 ヶ月	6 月 16 日	左肘捻挫

⑦ 給食実施実績

事業計画を基に毎日、楽しみになるように献立を工夫していった。また、喫食の状況を配膳時に確認しながら、調理方法や材料の量等、微調整をして行った。また、アレルギー児への対応を間違えの無いように慎重に全職員が把握出来るようにした。

今年度は、食育の一環として、ジャム作り、ジュース作り、たこ焼きパーティー、ピザ作りを実施した。

【\*食育計画・献立表・検食簿・保育日誌等参照】

⑧ 年間行事実施実績

新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行となり、例年通りの行事として開催した。各行事、実施にあたり職員でよく話し合い、アイディアを出し合い、今までにないほど、順調に準備を進めることが出来、ほぼ残業をせずに終えられた事は収穫であった。また、コロナ前の行事内容になり、在園児はもちろん、卒園児とその家族もとても楽しみに参加していた。

			るほど、子ども達の印象に残っている。
10月27日	秋の遠足	園児16名 うめ組4.5歳児	神奈川県厚木市の畑でサツマイモの芋掘り体験を洗足池保育園の4歳児、5歳児と合同で行った。昼食をぼうさいの丘公園にていただき、公園にて遊んだ。
11月1日	焼き芋作り	園児54名	4歳児、5歳児が秋の遠足で収穫してきたサツマイモを園児皆で調理して午後のおやつとして焼き芋を食べた。何個も何個も食べる子どももいた。また、お迎えの保護者にも試食して頂いた。
11月11日	育児講座 「おやこでたのしむいろあそび」	園児10名 保護者10名 地域2名	コミュニケーションアーティストの講師より水彩絵の具を使った講座を実施。参加保護者も子ども達と一緒に絵具遊びを行う。
11月15日	七五三参拝	園児52名	浦森稻荷神社へ全園児で七五三の参拝に行く。記念撮影をし、千歳あめをもらう。
12月2日	もちつき大会 活動展	園児48名 保護者72名 兄弟22名 地域5名	例年通りに開催をする。もち米も28キログラムをお手伝いのお父さん達とつきあげる。ここ数年、実施していなかったので、おもちつきを知っているお父さんがほぼいなく、初めから教えて行く。久しぶりのおもちの試食に皆、喜んでたくさん食べていた。
12月22日	クリスマス会	園児40名	乳児は二階にて実施する。

		保護者 2 名 保護者 (サンタ) 2 名	幼児は一階にて行い、サンタクロースから一人一人プレゼントをもらい、記念撮影をする。給食はクリスマスにちなんだ献立を提供。
1月13日	観劇会 劇団すぎのこ 「たのきゅう のうわばみた いじ」	園児 31 名 保護者 33 名 兄弟 8 名 地域 2 名	例年通りの実施をする。本物の人形劇を親子で楽しんで鑑賞する。
2月2日	節分・豆まき	園児 50 名	もも組 1 歳児、0 歳児、2 歳児の順に豆まき開始する。 3 歳児、4 歳児、5 歳児は子どもの鬼役も作り、職員と一緒に鬼役を演じ行う。
3月2日	生活発表会	園児 54 名 保護者 86 名 兄弟他 21 名 地域 18 名	今年度も二部開催として実施した。乳児、幼児と分けることで、会場が広く使えて良かったが、参加人数が多かった。内容も職員が良く検討し、だらだらと長くならず、コンパクトだが内容のあるものとなった。
3月23日	卒園式	園児 18 名 保護者 18 名 家族 7 名	例年同様に卒園児を送る会として、卒園式が行えた。

## 6・安全管理関係

非常災害時に備え、火災、地震、防犯訓練を実施した。また、非常災害時の連絡網としてセコム緊急連絡網システムを利用し緊急時連絡を毎年行っている。

【\*自衛消防計画・任務と編成・災害訓練記録簿・各種マニュアル参照】

### ① 災害・防犯訓練実施実績

日付	訓練種別	園児	職員	他	合計
4/27	火災・初期消火・通報	47	18	0	65

5/11	津波発生時避難	54	14	0	68
5/11	地震・初期消火・通報	49	16	0	65
6/9	火災・初期消火・通報	44	16	0	60
7/13	地震・初期消火・通報	42	16	0	58
8/10	火災・初期消火・通報	34	14	0	48
8/29	洪水・避難	45	17	0	62
9/14	地震・初期消火・通報・引渡し	34	14	39	87
10/12	火災・初期消火・通報・避難誘導	40	20	0	60
11/9	地震・初期消火・通報・避難誘導	51	17	0	68
11/9	津波発生避難誘導	51	17	0	68
12/14	地震・火災・初期消火・通報	43	16	0	59
1/11	地震・初期消火・通報	48	18	0	66
2/14	火災・初期消火・通報	45	19	1	65
3/21	地震・初期消火・通報	50	17	0	67
合 計	合計 15 回	677	249	40	966

② その他の訓練等実施実績

緊急連絡テストメールの実施、引き渡し訓練に接続。

【\*非常災害訓練実施記録】

日 付	内 容	時 間	参加者数
9月14日	・緊急連絡テスト メール配信 ・引渡し訓練	16:00~19:15	保護者 39名

③ 設備等点検実施実績

通常の設定点検を、随時日程を調整しながら行なう。

【\*各種記録簿参照】

日 付	点 検 事 項	実 施 者
毎 月	昇降機 ブレーキの安全性確保に関する検査	日本オーチス・エレベータ株式会社
4月6日	非常/火災通報装置保守点検	テルウェル東日本(株)
6月9日	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検	(株) 奥島産業

7月6日	非常/火災通報装置保守点検	テルウェル東日本(株)
10月15日	給水設備保守点検	富士水質管理(株)
10月6日	非常/火災通報装置保守点検	テルウェル東日本(株)
11月6日	建築設備定期検査	(株) よつばメンテナンス
12月20日	防火設備	(株) 奥島産業
12月20日	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検	(株) 奥島産業
1月24日	非常/火災通報装置保守点検	テルウェル東日本(株)

## 7・保護者の関係

### ① 保護者懇談会実施実績

対面式とオンライン式の双方を利用し実施した。また、当日、対面式での参加が出来なくなった保護者にはオンライン式も利用し参加出来るように併用した事により全員参加が実現できた。【\*各クラス懇談会・説明会記録参照】

月日・方法	懇談会名	参加人数	内 容
4月6日 オンライン	ももぐみ 1歳児 14時00分から	保護者8名 職員5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・職員紹介</li> <li>・園規則の読み合わせ</li> <li>・入園のしおり読む合わせ</li> <li>・連絡事項</li> <li>・園長挨拶</li> </ul>
4月10日 対面式	ももぐみ 0歳児	保護者6名 職員5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・慣れ保育の様子報告</li> <li>・連絡事項</li> <li>・園長挨拶</li> </ul>
4月14日 オンライン	さくらぐみ 2歳児 3歳児	保護者14名 職員6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員紹介</li> <li>・自己紹介</li> <li>・園長挨拶</li> <li>・園規則について</li> <li>・入園のしおりについて</li> <li>・連絡事項</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
4月21日	うめぐみ	保護者17名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員紹介</li> </ul>

オンライン	4歳児 5歳児	職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者自己紹介</li> <li>・園長挨拶</li> <li>・園規則の読み合わせ</li> <li>・入園のしおり読み合わせ</li> <li>・連絡事項</li> <li>・行事予定表について</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
6月30日 対面式 一部オンライン	うめぐみ 5歳児	保護者 9名 園児 9名 ボランティア 4名 職員 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林間保育説明会</li> </ul>
9月5日 対面式	さくらぐみ 2歳児 3歳児	保護者 19名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの様子</li> <li>・子どもの興味ある事や悩み事について、保護者懇談</li> <li>・ファミリースポーツデーについて</li> </ul>
9月8日 オンライン	ももぐみ 0歳児 1歳児	保護者 13名 職員 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの様子</li> <li>・保護者懇談</li> <li>・その他連絡事項</li> <li>・園長挨拶</li> </ul>
9月15日 対面式	うめぐみ 5歳児 卒園懇談会	保護者 8名 職員 3名 実習生 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの様子</li> <li>・就学に向けて</li> <li>・ファミリースポーツデーについて</li> <li>・子どもの興味関心のある事、就学について懇談</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
9月12日 対面式	うめ組 4歳児	保護者 10名 職員 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの様子</li> <li>・ファミリースポーツデーについて</li> <li>・お子様や家庭について保護者懇談</li> <li>・質疑応答</li> </ul>
1月19日	うめぐみ	保護者 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けた防犯や交通ル</li> </ul>

対面式	5歳児 卒園懇談会	職員3名 大森警察1名	ールについて（警察より） ・卒園式について ・保育所児童保育要録について ・その他連絡事項
3月8日 対面式	ももぐみ 0歳児 1歳児	保護者11名 職員9名	・一年を振り返って ・保護者挨拶 ・職員挨拶 ・園長挨拶 ・新年度に向けて ・質疑応答
3月12日 対面式	さくらぐみ 2歳児 3歳児	保護者16名 職員5名	・クラスの様子 ・保護者挨拶 ・職員挨拶 ・園長挨拶 ・新年度に向けて ・質疑応答
3月15日 対面式 一部オンライン	うめぐみ 4、5歳児	保護者19名 職員4名	・クラスの様子 ・保護者挨拶 ・職員挨拶 ・園長挨拶 ・各学年連絡事項 ・質疑応答

## 8・自主事業関係

業務内容の見直しにより、子育て講座、情報誌の発行等、一部削減をした。

【\*各種子育て支援関係書類参照】

- ① パートナー保育登録事業実施実績
  - ・登録者数4世帯4名
- ② 緊急一時保育実施実績
  - ・利用実績なし
- ③ 一時保育実施実績
  - ・利用実績なし
- ④ 体験保育実施実績

・利用実績なし

⑤ 年末保育実施実績

・29日に2名、30日に1名、園児の申込みあり。園児外の申込みはなかった。

日付	うめ組	さくら組	もも組	園児外	合計
12月29日	0名	1名	1名	0名	2名
12月30日	0名	0名	1名	0名	1名

⑥ 育児講座実施実績

親子で楽しめる講座を考え絵の具を使って親子で楽しく学べる講座を実施した。

【\*育児講座、録参照】

日付	内容	参加人数
11月11日	育児講座 「おやこでたのしむいろあそび」	園児10名 保護者10名 地域2名

⑦ 老人ホーム交流会実施実績

・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施実績なし

## 9・実習生・ボランティア・小中高大学生等受入関係

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、実習生等の受入れを再開した。

【\*各受入簿参照】

① 実習生受入実施実績

大学、短期大学、養成校より実習生の受入れ、指導。

期間	日数	人数
5月9日～5月30日	4日間	1名
6月6日～6月27日	4日間	1名
9月4日～9月15日	11日間	1名
9月4日～9月16日	12日間	2名
9月4日～9月16日	12日間	1名
10月3日～10月31日	4日間	1名

11月7日～11月28日	4日間	1名
1月15日～1月26日	11日間	1名
2月2日～2月16日	12日間	1名

② ボランティア受入実施実績

受入実績なし

③ 中学生・高校生職場体験等受入実施実績

期 間	日 数	人 数
9月27日～29日	3日間	4名

## 10・中長期計画、施設設備整備関係

① 学校110番非常通報装置入替

期 間	内 容
8月 4日	非常通報装置

## 11・苦情解決・対応について

① 苦情解決・対応については、入園オリエンテーション時や4月の懇談会時に入園のしおりを用いて説明する。また、玄関先等に投書箱の設置やホームページ内に掲示板を設置し、広く受付を実施している。

・苦情等を解決するための体制

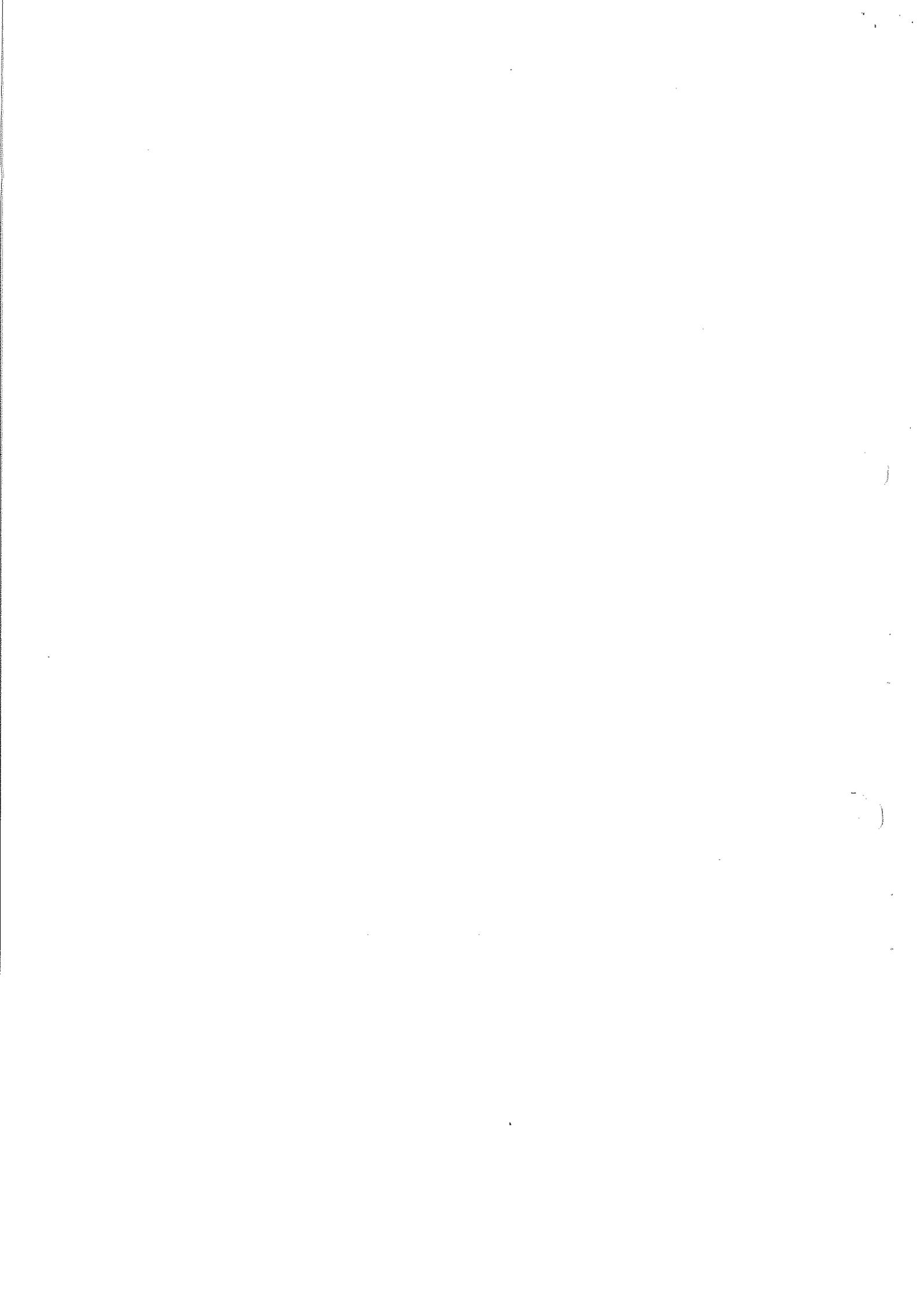
- ・苦情等解決責任者 園長
- ・苦情等受付担当者 主任
- ・第三者委員 2名

② 苦情の申し出件は無く、日々の送迎時等に保護者とは良く各担任職員が会話をしている。

苦情の件数	0件
-------	----

## 12・東京都福祉サービス第三者評価

受審実績なし



令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

社会福祉法人 大洋社

洗足池保育園



## 目 次

1. 運営のあらまし	1
「一年を振り返って」	
2. 事業の概要	2
① 名称及び所在地	3
② 実施事業の内容	3
3. 保育内容・年間指導計画・環境	3
4. 給食関係	3
5. 職員関係	3
① 職員配置数	3
② 採用、退職	3
③ 各部分担の反省・感想	4
④ 職員会議実施実績	6
⑤ 保育会議実施実績	8
⑥ 職員研修実績	10
⑦ 細菌検査実績	11
⑧ 職員健康診断実績	11
6. 児童処遇関係	12
① 利用児童数実績	12
② 延長保育利用児童数実績	12
③ 健康診断実施実績	12
④ 歯科検診実施実績	12
⑤ 年間行事実施実績	13
⑥ 保護者懇談会実施実績	14
7. 安全管理関係	15
① 災害訓練実施実績	16
② その他の訓練等実施実績	17
③ 設備等点検実施実績	17
8. 自主事業関係	17
① パートナー保育登録事業実績	17
② 緊急一時保育実績	17
③ 年末保育実施実績	17
④ 育児講座実施実績	17

9. 実習生・ボランティア・小中学生受入関係	・ 18
① 実習生受入実績	・ . . . . . 18
10. 中長期計画、施設設備整備関係	・ . . . . . 18
11. 苦情解決・対応について	・ . . . . . 18
12. 危機管理、ヒヤリハットについて	・ . . . . . 19

## 1. 運営のあらまし「一年を振り返って」

令和5年度は、1歳児9名の新入園児を迎え、その後は変動なく44名で過ごし、3月には、9名の卒園児を無事に送り出すことができました。職員は、非常勤職員が5月末に出産の為、常勤職員は持病の治療の為1名ずつ退職し、育児休暇取得職員1名おりましたが、各職員が協力しながら無事に1年を終えることができました。

今年度は、新型コロナウイルスが5月に5類へ移行したことにより、保育についてや、行事の開催も一つひとつ職員同士で話し合い、子ども達の健やかな成長と様々な経験ができるようにという想いを軸にし、行事や保育活動の制限を徐々になくし、活動もしやすく、本来の子ども達が経験するべき日々が戻ってきたように感じました。

利用者の皆様には、ご理解ご協力頂きながら、安心できる環境下で行い、行事アンケートでも「以前のように開催できてとてもよかったです。」「家族で楽しい一時を過ごすことができました。」等、良い感想を頂きました。3月の「発表会」では引き続きインターネットを利用した、ライブ配信も行い、遠方の親族の方も観覧して頂くことができたり、子ども達の成長を皆で共有できたりすることで本来の保育園の形を取り戻してきたように思います。

改めて、子ども達が興味を持っていることに耳を傾け、それに対してどのように考えを持っているのかを汲み取りながら、各クラス担任同士で話し合う機会を多く設けるような工夫をしたりし、保育者が少し先の未来を予測し、想像して活動に取り入れていき、子ども達一人ひとりが多くのことを経験し、学びが深くなるように寄り添い、共に日々の生活を楽しみながら過ごしてまいりました。

当園の理念・方針に沿いながら、今の時代にあった乳幼児期からの発達や学びの連続性、小学校との接続に向けて等、幼児教育の在り方は、今後もそれらを踏まえて、子ども達にとっての人格形成の大切な時期を担っていることをよく理解して職員も成長できる職場環境を整えながら、努めていきたいと思えます。

地域の方々との交流も再開し、在園児はもちろん地域全体に目を向け、今後も、社会福祉法人で運営している保育園という専門機関として、地域貢献に引き続き力を注いでいきたいと思えます。

## 2. 事業の概要

### ①名称及び所在地

社会福祉法人 大洋社 洗足池保育園  
東京都大田区南千束3丁目24番15号  
TEL 03-3748-7088

### ②実施事業の内容

- ・ 保育所事業、定員 45 名
- ・ 延長保育事業、定員 15 名
- ・ 年末保育事業
- ・ 緊急一時保育事業
- ・ 体験保育事業
- ・ 育児相談事業
- ・ 地域活動事業

## 3. 保育内容・年間指導計画・環境

各クラス、理念・方針、保育目標等を基に年間指導計画・月案・週案・発達記録・ポートフォリオ・ドキュメンテーション・おたより等を用いて、園児一人ひとりに丁寧に関わり、振り返り、たいわを重ねて保育を行う。また、研修で得た学びを職員間で共有し、実践する。日々子ども達が楽しめる環境構成に取り組んだ。

※各クラスカリキュラム、記録等参照

## 4. 給食関係

食育を見据え、年間指導計画を作成。様々な食材や行事食に触れられるように栄養士会議や献立、給食会議を行い、企画・実行した。年一回の保護者参加の試食会を実施し、給食の味付けを知ってもらった。

食物アレルギーを持つ子どもを対して、個別の献立を作成。保護者にも確認を取り発行する。提供の際のマニュアルを複数人で共有し、写真付きトレーや食器や机を分け、提供している。

今年度は食や食材に興味を持つ子どもが多く、ジャム作りやシロップ作りピザ作り等の子ども達が興味を持った物を作り、試食した。

※食育計画、各企画書等 参照

## 5.職員関係

### ①職員配置数

職 種	国定数	都・区加算		基準外配置	合 計
		常勤	非常勤		
計 算 上 の 職 員 数 (必 要 数)					
園 長	1				1
保 育 士	6	1	1		8
調理員・栄養士	2				2
嘱 託 医			1		1
嘱託歯科医			1		1
合 計	9	1	3		13
在 籍 職 員 数					
園 長	1				1
副園長(保育士)				1	1
主任保育士	2				1
副主任保育士	1				1
保 育 士	4	1	1	3	9
副主任栄養士	1				1
栄養士・調理員	1		1	1	3
嘱 託 医			1		1
嘱託歯科医			1		1
事務兼保育士				1	1
会 計 士				1	1
社 労 士				1	1
合 計	9	1	4	7	22

### ②採用・退職

区 分	職 種	人 数	日 付
退職	保育士(非常勤)	1名	令和5年5月31日
退職	保育士(常勤)	1名	令和5年11月30日

① 各部分担の反省・感想

各部署の担当が一年を振り返り、次年度の担当へ引き継ぎが円滑に行える。

部署名	目 標	反省・感想
<p>地域交流部 4名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 保護者と共に行事を盛り上げていけるよう、当日までの雰囲気作りを充実させる。</li> <li>☆ 地域の方々が、様々な行事を楽しみにし、園児や職位運と交流できる場となるようにする。</li> <li>☆ 保護者・地域の方々と行事を通して積極的に交流し「共育て」の関係を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 各クラスドキュメンテーションを配布したり、行事の様子を掲示したりし、クラスの様子を伝えられてよかった。</li> <li>☆ 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、地域との交流の場を持てなかったため、ホームページ等を通して伝えられるとよかった。</li> <li>☆ 部内では仕事の分担がうまくできた。</li> <li>☆ 掲示板の装飾は毎月季節感のあるものに変えることができた。</li> <li>☆ 新型コロナウイルスが5類に移行し、制限なく行事を企画、実行できた。</li> <li>☆ 地域の方を行事へ招待することを再開し、ご好評頂いた。</li> </ul>
<p>子育て支援部 2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 保護者の悩みや疑問を把握し、相談しやすい環境を作り、子育てについて共有する。</li> <li>☆ 内容が伝わるような魅力的なポスター作りをし、子育て支援の活動内容を多くの方に知ってもらう。</li> <li>☆ 参加者が増えるよう、地域の方に合わせた魅力的な講座内容にする。また、保育園ならではの玩具で遊べる機会も多く設ける。</li> <li>☆ 子ども一人ひとりの現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 育児強化月間の際に育児講座やアンケートを通して保護者の悩みや疑問を共有できたので良かった。</li> <li>☆ 育児講座はパートナー保育登録者数が減少しているが、ZOOMでなく来園して参加いただける形でできれば良い。</li> <li>☆ パートナー保育登録者への行事の案内を見直していく。</li> </ul>

	<p>状を把握し、主体的な保育ができるようにする。</p> <p>☆ 職員一人ひとりがきちんと考え、学びある会議内容にする。</p> <p>☆ 保育所保育指針を基に自園の理念や保育目標に合わせた保育が行えるようにする。</p>	
<p>研修部 2名</p>	<p>☆ 各年齢の発達段階をきちんと捉え、一人ひとりが意欲的に活動できる保育を目指す。</p> <p>☆ 職員一人ひとりがきちんと考え、積極的に意見を出すことの出来る会議を実施する。</p> <p>☆ 実践的な研修を重ね、保育の質を高める。</p>	<p>☆ 子ども一人ひとりの現状の把握は「子どもの姿」から引き続き、把握することができた。</p> <p>☆ 職員が少ない年度であった分お互いの顔をしっかりと見て話し合うことができた。コミュニケーションが例年より多く取れたと思う。</p> <p>☆ 外部研修に参加できるよう情報提供を行えると良かった。</p> <p>☆ 研修報告ができていなかったことを反省する。</p>
<p>災害・防犯 対策部 2名</p>	<p>☆ 地震、火災、水害等様々な想定での実践的な訓練を重ね、災害時に迅速に対応できるようにする。</p> <p>☆ 園児の安全確保のために、日頃から各部屋の点検をし、災害防止に努める。</p> <p>☆ 様々な状況に応じた、不審者や侵入者への対処方法を身に付け、防犯に努める。</p>	<p>☆ 起震車や煙体験を取り入れることができた。</p> <p>☆ 非常食の買い替えを行った。</p> <p>☆ 災害備蓄品の補充ができた。</p> <p>☆ 災害訓練はもっとさまざまな時間帯・状況で行えると良かった。</p> <p>☆ 災害だけでなく、防犯対策の訓練も子どもがいる状況で行えると良かった。</p> <p>☆ 災害防止の点検を毎月行えていなかったもので、反省する。</p>
<p>環境美化部</p>	<p>☆ テーマに則した季節感のある装飾を行う。</p> <p>☆ 四季折々の花を子ども</p>	<p>☆ テーマに沿った装飾を毎月行えた。乳児クラスが作品を階段に展示することで華やかになっ</p>

2名	<p>と一緒に育て、園舎内外に咲かせる。</p> <p>☆ 野菜や果物、草花を子ども達と一緒に育て、育つ過程や命の大切さを伝える。</p> <p>☆ 園内を清潔・安全に保つ。</p>	<p>た。</p> <p>☆ 部内で園舎内外に花を植えることはできたが、各クラスへの働きかけができなかった為、反省する。</p> <p>☆ 掃除チェックリスト見直し、わかりやすくなった。</p> <p>☆ 砂場の消毒を定期的に行えるとよかった。</p>
ホームページ 写真部  2名	<p>☆ 園の特色、雰囲気伝わるようなホームページを作成する。</p> <p>☆ 多くの方に見て貰えるようなブログを作成する。</p> <p>☆ 園での活動内容を、写真掲示を用いて保護者へ伝え、理解を深める。</p> <p>☆ 販売写真は、速やかに掲示し、渡せるようにする。</p>	<p>☆ 園の様子や行事の様子など少し更新が遅れることがあったが、更新できた。</p> <p>☆ 作業計画表は必要に応じて見直し、進められた。</p> <p>☆ 写真の販売についてスムーズに行えた。</p> <p>☆ ホームページ点検、更新を行えるようにする。</p>

#### ④職員会議実施実績

研修部により企画立案。職員が働く上で必要な社会人としての現任訓練や研修報告の計画、職員同士の質を上げる会議を行う事を目的とする。

※職員会議録参照

日付	会議名	内容	人数
4月1日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現任訓練「電話対応」「来客対応」</li> <li>・ 令和4年度事業計画</li> <li>・ 自衛消防計画、災害時避難経路について</li> <li>・ 親子遠足について</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	9
5月13日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務目標各自発表</li> <li>・ 震災火災対策について</li> <li>・ 親子遠足について</li> <li>・ 保育参観・試食会について</li> <li>・ 実践研修「職員コミュニケーション」につい</li> </ul>	10

		て ・その他連絡事項	
6月10日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント研修「食中毒」</li> <li>・プール遊びについて</li> <li>・夕涼み会について</li> <li>・令和4年度事業報告</li> <li>・実践研修「共通点探しゲーム」について</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	11
7月1日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火・通報訓練</li> <li>・夕涼み会について</li> <li>・その他、連絡事項</li> </ul>	10
9月9日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント研修「不審者・運動会」</li> <li>・ファミリースポーツデーについて</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	11
10月7日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修「子育て支援自主事業」</li> <li>・園内研修「虐待予防について」「電話相談について」</li> <li>・各部前期の振り返り</li> <li>・実践研修「この人誰だ」</li> <li>・もちつき大会作品展について</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	9
11月11日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント「散歩について」</li> <li>・衛生美化研修について</li> <li>・もちつき大会・作品展について</li> <li>・実践研修「雑談力を身に付ける」について</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	9
12月9日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観劇会について</li> <li>・実践研修「16タイプ別性格診断」</li> <li>・実践研修「保育指針の理解を深める」</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	9
1月13日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会について</li> <li>・業績評価について</li> <li>・職員の意見・要望アンケートについて</li> <li>・その他連絡事項</li> </ul>	9
2月3日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度職員配置発表</li> <li>・発表会について</li> <li>・各部分担今年度反省・感想と新年度担当決め</li> </ul>	7

		・ その他連絡事項	
3月2日	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務目標成果報告</li> <li>・ 新年度計画</li> <li>・ 規程の改正点報告</li> <li>・ 実践研修「保育指針の理解を深める」</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	9

⑤保育会議実施実績

幼児部、乳児部で行ない、年2回合同で行う。保育について理解を深めること、実践研修や事例研修を通して、より細分化した議題で話し合う

※保育会議記録参照

日付	会議名	内容	人数
4月13日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラス年間指導計画について</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
4月20日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラス年間指導計画について</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	7
5月11日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践研修</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
5月18日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ 乳児部の休憩の回し方</li> <li>・ 実践研修「睡眠の援助・トイレトレーニング」</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	7
6月15日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水遊び・プール遊び</li> <li>・ 感染症について</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
6月30日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラス現状報告</li> <li>・ 水遊び、感染症について</li> <li>・ 実践研修</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5

7月7日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ プール遊びについて</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
7月12日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
9月14日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラス前期反省</li> <li>・ 自己の保育の振り返り</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
9月21日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラス前期反省</li> <li>・ 自己の保育の振り返り</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 月の姿、目標の決め方</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	6
10月18日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 実践研修「幼児期の保育について」</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
10月26日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 実践研修「幼児期の保育について」</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	6
11月9日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 実践研修「手洗い・嘔吐処理」</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
11月15日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 実践研修「手洗い・嘔吐処理」</li> <li>・ 施設見学報告</li> </ul>	5

12月14日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
12月21日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
1月19日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ 人権擁護のためのセルフチェック</li> <li>・ 書類見直し</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
1月18日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 各クラス現状報告</li> <li>・ 人権擁護のためのセルフチェック</li> <li>・ 書類見直し</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	7
2月8日	幼児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の保育の振り返り</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	4
2月14日	乳児部 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の保育の振り返り</li> <li>・ クラス現状報告</li> <li>・ ヒヤリハット</li> <li>・ 研修報告</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	5
3月25日	合同 保育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒヤリハット年間総括</li> <li>・ 今年度反省と新年度計画</li> <li>・ 新入園児面接内容報告</li> <li>・ コーナー遊び担当者決め</li> <li>・ その他連絡事項</li> </ul>	7

#### ⑥職員研修実績

様々なテーマを自主的に受講するように促し、また、園より推奨し、園の保育、個人の質の向上を目的として受講しできるようにした。

日付	内 容	主 催	参加者
5月22日	特定給食施設指導連絡会	大田区保健所 調布地	1名

		域健康課	
5月24日	令和5年度幼児期運動指導リーダー保育者養成研修会	大田区立幼児教育センター	1名
6月21日			
6月24日	モンテッソーリ教育実技講習会	公益財団法人才能開発教育研究財団日本モンテッソーリ教育総合研究所	1名
7月3日	2023年度保育プラザ研修 2歳児の発達と保育	一般社団法人保育プラザ JAPAN	1名
7月27日	保幼小連携合同研修会	大田区立幼児教育センター	1名
7月15日	じょうずに食べるー食べさせるー ～喫食機能と発達とその援助～	らく相談室まなえだ	1名
9月14日 10月26日 11月30日 1月22日	給食研究会（集合型）	東社協保育部会	1名
12月1日	特定給食施設講習会	大田区保健所 調布 地域健康課	1名

⑦細菌検査実施実績：人数（栄養士、調理員、主任保育士等）

検査項目：赤痢菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌 O-157、腸管出血性 O-26  
腸管出血性大腸菌 O-111

実施日	4 27	5 26	6 30	7 27	8 31	9 29	10 26	11 24	12 22	1 25	2 26	3 22	合計
人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

⑧職員健康診断実施実績

検査項目：胸部 X 線触接撮影、血液検査、心電図検査、オージオメーターによる聴力検査、生化学検査

財団法人 産業保健協会	10月24日	14名
-------------	--------	-----

## 6. 児童処遇関係

### ① 利用児童数実績 (定員数：ふたば9名・みつば9名・わかば9名・あおば18名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ふたば	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
みつば	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
わかば	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
あおば	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
合計	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	527

### ② 延長保育利用児童数実績 (定員数：15名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施 日数	20 日間	20 日間	22 日間	20 日間	22 日間	20 日間	21 日間	19 日間	20 日間	19 日間	19 日間	20 日間	242 日間
定員内	32	36	32	35	24	33	39	36	45	31	42	34	419
臨時	24	29	25	42	33	19	32	35	18	16	29	32	334
合計	56	65	57	77	57	52	71	71	63	47	71	66	753
一日 平均	3 名	1 名	1 名	1.6 名	1.6 名	1.2 名	1.6 名	1.6 名	1.6 名	1.7 名	0.4 名	1.4 名	1.2 名

### ③ 健康診断実施実績：人数 (嘱託医)

月 日	ふたば	みつば	わかば	あおば	合計
4月19日	7	4	9	16	33
10月18日	9	8	8	15	40
3月8日	2	3	0	0	5
3月14日	0	0	1	2	3
合計	18	15	18	34	85

### ④ 歯科検診実施実績：人数 (嘱託歯科医)

月 日	ふたば	みつば	わかば	あおば	合計
6月2日	8	9	8	16	41
11月9日	9	8	9	16	42
合計	17	17	17	32	83

② 年間行事実施実績

各行事、地域交流部を中心に園全体、利用者と作り上げる行事を行えることを目指した。行事終了後には保護者にアンケートをとり、集計結果を掲示、また、次年度の企画に反映している。※行事記録参照

月 日	行 事 名	参加者数	内 容
4月1日	入園式	園 児 25名 保護者 17名	・ 職員紹介 ・ 新入園児紹介 ・ プレゼント贈呈 ・ パネルシアター ・ 在園児より歌
5月19日	親子遠足	園 児 25名 保護者 33名	・ 野毛山動物園
6月10日	保育参観	園児 40名 保護者 61名	・ 普段の保育の様子を参観頂く ・ 保育園の給食の試食
7月7日	七夕まつり	園 児 40名	・ 歌 ・ 職員劇 ・ 短冊願い事発表
7月22日	夕涼み会	園児 41名 保護者 58名 その他 109名	・ 夏祭りの雰囲気を感じる ・ 卒園児や地域の方参加
8月2日 ～4日	妙義山 林間保育	園 児 8名 卒園児 2名 外部 1名	・ 年長児お泊り保育 (群馬県妙義山) ・ ポニーとの触れ合い ・ 畑での野菜収穫 ・ キャンプファイヤー ・ 妙義神社参拝
	老人デーサービス 施設交流会	中止	
10月14日	ファミリースポーツデー	園児 44名 保護者 66名 その他 61名	・ 運動会
10月27日	あおば組遠足	園 児 16名	・ 芋ほり遠足
10月31日	ハロウィン	園 児 39名	・ ハロウィン仮装 ・ 歌 ・ 職員劇 3～5 歳児近隣を回り

			菓子を貰う
11月8日	焼き芋作り	園児 44名	・ 芋洗いからの焼き芋準備 ・ おやつで食べる
11月15日	七五三参拝	園児 44名	・ 千束八幡神社にて参拝
11月2日	ポニー触れ合い体験	園児 44名	・ ポニーにブラッシングやえさやりをする
12月9日	もちつき大会・ 作品展	園児 43名 保護者 57名 その他 25名	・ 作品鑑賞 ・ もちつき
12月22日	クリスマス会	園児 42名	・ パネルシアター ・ キャンドルサービス ・ 歌 ・ 年長児ハンドベル演奏 ・ 職員劇 ・ サンタクロース登場 ・ プレゼント
1月13日	観劇会	園児 34名 保護者 11名 その他 3名	・ 劇団による観劇
2月2日	節分・豆まき	園児 38名	・ 歌、手遊び ・ 職員劇 ・ 鬼登場・豆まき
3月2日	発表会	園児 44名 保護者 65名	・ おゆうぎ
3月15日	お別れピクニック	園児 17名	・ 4. 5歳児遠足
3月23日	卒園式	園児 17名 保護者 18名 その他 5名	・ 卒園式 ・ 在園児代表 4歳児出席

#### ⑥ 保護者懇談会実施実績

子ども達の成長や発達について読み合わせ、行事等の説明を行った。

月 日	懇談会名	参加人数	内 容
4月19日	みつば組	保護者 8名	・ 園の決まり、与薬について

4月21日	わかば組	職員 4名 保護者 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園のしおり</li> <li>・ 年間行事予定について</li> <li>・ 親子遠足について</li> <li>・ 連絡事項・質疑応答</li> </ul>
4月26日	ふたば組	職員 3名 保護者 7名	
4月28日	あおば組	職員 4名 保護者 12名 職員 4名	
7月1日	年長児 林間保育	保護者 5名 園児 9名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林間保育について説明</li> <li>・ 「林間保育のしおり」読み合わせ</li> <li>・ 緊急連絡簿について</li> <li>・ 持参する薬について</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
9月5日	あおば組 4歳児	保護者 6名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスの様子</li> <li>・ 就学について</li> <li>・ ファミリースポーツデーについて</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
9月12日	わかば組	保護者 9名 職員 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスの様子</li> <li>・ 子どもの姿</li> <li>・ グループ討議</li> <li>・ ファミリースポーツデーについて</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
9月14日	ふたば組	保護者 7名 職員 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスの様子</li> <li>・ 子どもの姿</li> <li>・ 思いやりについて</li> <li>・ ファミリースポーツデーについて</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
9月15日	みつば組	保護者 7名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスの様子</li> <li>・ 1歳児の発達について</li> <li>・ ファミリースポーツデーについて</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
9月20日	わかば組	保護者 8名 職員 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介</li> <li>・ 子どもの姿</li> <li>・ 4歳の発達について</li> <li>・ ファミリースポーツデーについて</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>
1月19日	年長児 卒園	保護者 8名 職員 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯対策、交通ルールについて</li> <li>・ 就学前に準備しておいた方がよい</li> </ul>

			事 ・ 保育所児童保育要録について
2月21日	みつば組	保護者 8名 職員 3名	・ 1年を振り返って ・ 進級について ・ 発表会について
2月28日	ふたば組	保護者 7名 職員 4名	・ 1年を振り返って ・ 進級について
3月6日	あおば組	保護者 11名 職員 4名	・ 1年を振り返って ・ お別れピクニックについて ・ 進級について ・ 卒園式について
3月7日	わかば組	保護者 7名 職員 3名	・ 1年を振り返って ・ 進級について

## 7.安全管理関係

月一回の災害・消火訓練を行った。その他にも引渡し訓練や紙芝居、毎回子どもたちに「おかしもち」の確認を行い、防災意識を高め、習慣化する。

### ①災害訓練実施実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	／ 13	／ 11	／ 8	／ 13	／ 10	／ 1	／ 12	／ 9	／ 14	／ 11	／ 8	／ 14	
訓練 種別	地震 ・ 初期 消火	火災 ・ 初期 消火	火災 ・ 初期 消火	火災 ・ 地震 ・ 初期 消火	地震 ・ 初期 消火	地震 ・ 初期 消火	火災 ・ 初期 消火	地震 ・ 初期 消火	火災 ・ 地震 ・ 初期 消火	地震 ・ 初期 消火	地震 ・ 初期 消火	火災 ・ 初期 消火	
園児	41	41	40	44	25	37	15	35	18	39	39	40	438
職員	16	14	12	13	12	16	5	12	6	9	9	12	142
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	57	55	52	57	37	53	20	47	24	48	48	52	580

②その他の訓練等実施実績

緊急連絡テストメールを行う。園庭へ避難し、保護者への引渡し訓練を行った。

※災害記録簿、自衛消防計画、任務と編成参照

日付	内容	時間	参加者数
9月1日	保護者引渡し訓練	16:00~16:30	園児37名

③設備等点検実施実績

日付	点検事項	実施者
8月10日	消防設備点検	大渡防災設備
2月8日	消防設備点検	大渡防災設備

8.自主事業関係

① パートナー保育登録事業実績

昨年と比べ登録者数はあまり変わらず、継続して頂けた。育児講座の参加や参加者同士のコミュニティーの場となってきている。

登録者数 6世帯
----------

② 緊急一時保育実施実績（出産等での利用）

利用者なし

③ 年末保育実施実績

日付	ふたば	みつば	わかば	あおば	園児外	合計
12月29日	0名	0名	0名	0名	0名	0名
12月30日	0名	0名	0名	0名	0名	0名

④ 育児講座実施実績

新規登録者も増えたが、リピーターの方が多く参加頂けた。参加者同士で親交を深める姿があり、地域に貢献できている。

日付	内容	参加人数
11月1日	講演 「幼児期の食卓で出来る声掛けと好き嫌いの克服～キッズ食育トレーナー体験講座～」 石井 千賀子氏	保護者園内参加 10名 ZOOM参加 5名

## 9.実習生・ボランティア・小中学生受入関係

### ①実習生受入実績

期 間	日 数	人 数
5月15日～5月25日	10日	1名
7月4日～7月14日	10日	1名
9月4日～9月15日	10日	2名
2月5日～2月19日	10日	1名

## 10.中長期計画、施設設備整備関係

- ①プリンターリースの更新・・・継続更新
- ②食洗器・冷凍庫の交換

## 11.苦情解決・対応について

利用者とその保護者からの苦情等を解決するための体制を整備することにより、利用者の権利を擁護するとともに、利用者の満足感の向上を図り、利用者が本園の保育サービスを適切に利用できるよう支援します。

また、苦情等を密室化せず、社会性或客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑かつ円満な解決の促進や、本園事業への信頼性の確保、適正性の確保に努めます。

苦情解決・対応について4月の懇談会時に資料（入園のしおり）配布し説明する。また、玄関先に投書箱の設置やホームページ内に掲示板を設置し、広く受付を実施している。

（対象とする苦情等の範囲）

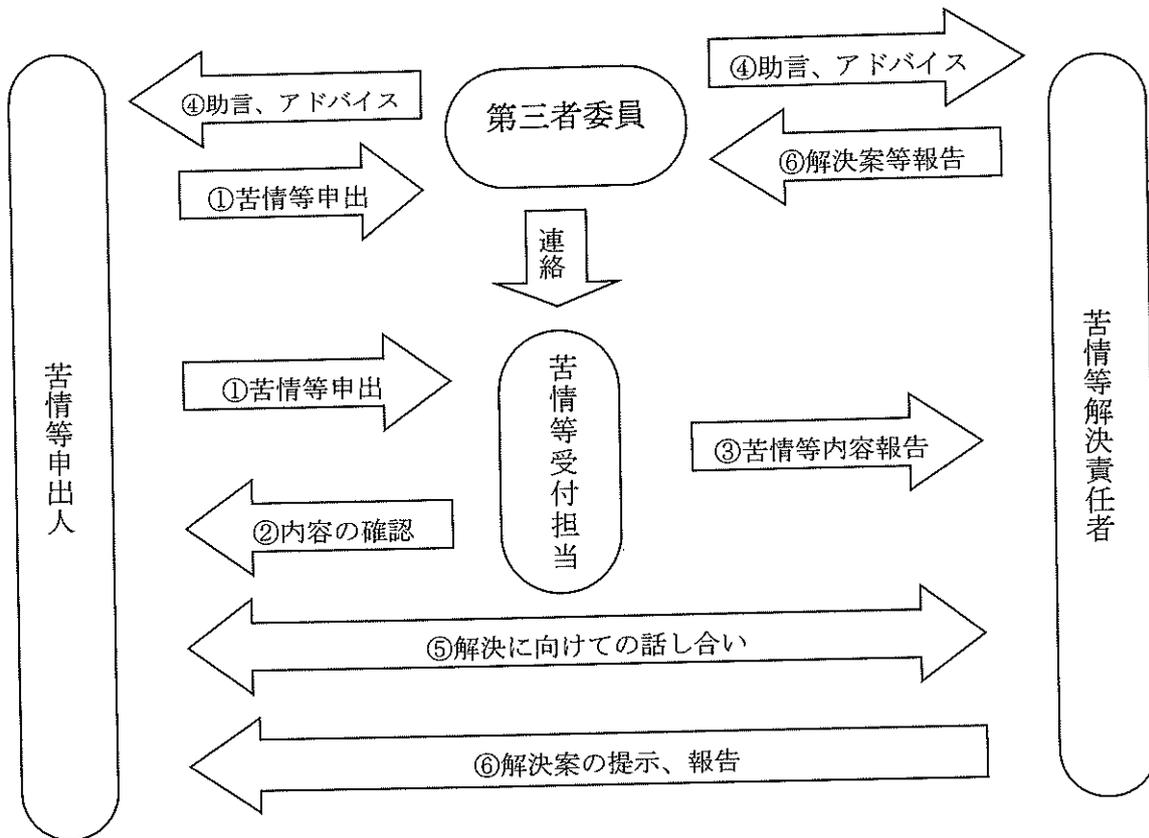
- ・保育サービスの内容等に関する事項

（苦情等の申出人の範囲）

- ・現在利用している利用者、利用者の保護者とその代理人

（苦情等を解決するための体制）

- ・苦情等解決責任者 園長
- ・苦情等受付担当者 副園長  
主任保育士
- ・第三者委員 2名



苦情の件数	0件
-------	----

## 12.危機管理、ヒヤリハットについて

各クラスで月1回集計。職員会議や各部会議でのまとめ、振り返る。

※ヒヤリハット集計表参照

